

市民ニーズの把握

① 市民アンケートの実施概要

各務原市全域を対象に公共交通に関する実態調査（アンケート）を実施し、ふれあいバスを始めとする公共交通の利用実態及び利用意向、買物や通院に対する現況等を把握した。

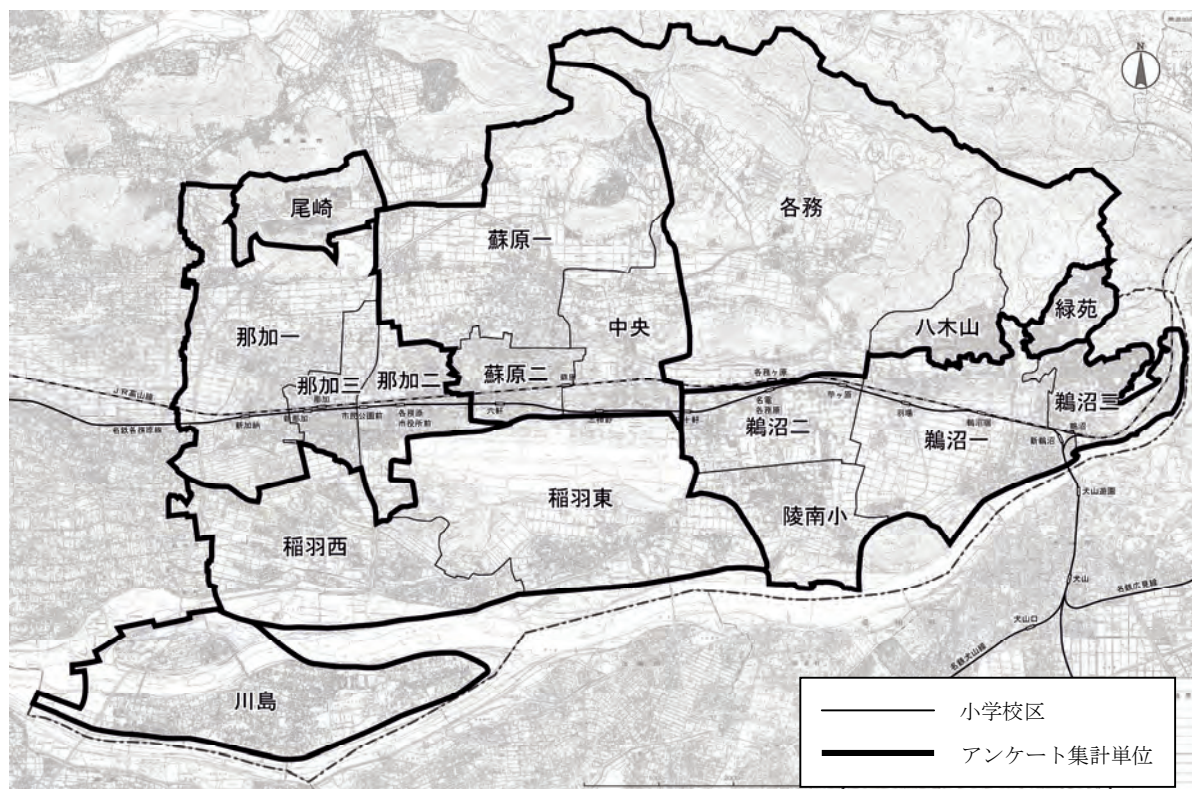
表 調査概要

調査実施日	平成 25 年 10 月
調査対象者	各務原市内に居住の方を対象に住民基本台帳より無作為抽出
調査方法	配布、回収ともに郵送方式
調査内容	ふれあいバスを始めとする公共交通の利用実態及び利用意向、買物及び通院に対する現況の把握
配布票数	3,000 票
回収票数	1,228 票
回収率	40.9%

② 市民アンケート調査票

住民アンケートに用いた調査票を次ページに示す。

図 各務原市内小学校区



公共交通に関する市民アンケートへの協力をお願い

皆様には、日頃から各務原市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

現在各務原市では、市民の皆様の日常生活における買物、通院、通学などの移動手段を効率的、効果的に確保するための計画となる「各務原市地域公共交通総合連携計画」の策定を進めています。

計画策定に向けた調査として、ふれあいバスや市内を運行する民営路線バスを含め、バス利用に関する問題点や課題を抽出し、より良い公共交通サービスの提供を図るため、皆さまの交通行動や公共交通の利用に関する意向などを調査させていただきたいと思っております。

ご多忙のところ誠にご面倒とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひともご協力くださいますよう、よろしく申し上げます。

なお、調査にあたりましては、市内にお住まいの方3,000人を住民基本台帳より無作為に抽出させていただきました。

ご回答の内容につきましては、無記名でご回答いただくとともに、すべて統計的に処理し、この目的以外に利用することは一切ございません。

平成25年9月

各務原市長 浅野 健司

○このアンケートは、できる限り、あて名の方ご本人がご記入ください。

○ご回答はアンケート用紙に直接お書きください。

- ・ ご回答はあてはまる数字に○印を付けたり、枠内にご記入ください。
- ・ 理由記入欄のある回答を選ばれた時は、（ ）内に具体的にご記入ください。

○ご記入いただいた回答用紙は、同封の返信用封筒に入れて、10月15日（火）までにお近くの郵便ポストに投函していただくようお願いいたします。

○不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

各務原市 産業文化部 商工振興課
電話 058-383-1111（内3513）

問1. あなた自身についておたずねします

1-① あなたの性別・年齢について、該当する番号に1つに○をつけてください。

性別	1. 男性		2. 女性	
年齢	1. 20歳未満	2. 20歳代	3. 30歳代	
	4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60～64歳	
	7. 65～69歳	8. 70～74歳	9. 75歳以上	

1-② あなたがお住まいの地区はどちらですか。該当する番号に1つに○をつけ、町名を記入してください。

住所	1. 那加 (町)	2. 尾崎 (町)	3. 金属団地
	4. 入会町	5. 小野町	6. 小佐野町
	7. 三井町	8. 三井 (町)	9. 上戸町
	10. 山脇町	11. 下切町	12. 前渡 (町)
	13. 松本町	14. 上中屋町	15. 大佐野町
	16. 下中屋町	17. 神置町	18. 成清町
	19. 蘇原 (町)	20. 東山	21. 川崎町
	22. 須衛	23. 須衛稲田	24. 須衛町
	25. テクノプラザ	26. 各務	27. 各務 (町)
	28. 鶉沼	29. 鶉沼 (町)	30. 松が丘
	31. 緑苑 (町)	32. 新鶉沼台	33. 鶉沼台
	34. つつじが丘	35. 川島 (町)	36. その他 ()

1-③ あなたの職業等について、該当する番号に1つに○をつけてください。

職業	1. 勤め人 (会社員・会社役員・公務員等)	2. 自営業
	3. パート・アルバイト	4. 学生
	5. 主婦・主夫・家事手伝い	6. 無職
	7. その他 ()	

1-④ 普通自動車運転免許および自家用車の有無について、該当する番号に1つに○をつけてください。

普通自動車運転免許	1. 有	2. 無
普段ご自身が自由に使うことができる自家用車	1. 有	2. 無

※免許がある人のみお答えください。

1-⑤ あなたのお住まいと最寄りの公共交通(バス停や鉄道駅)はどれくらい離れていますか。該当する番号に○をつけてください。

最寄りの公共交通の種類 (複数回答可)	1. JR高山本線 () 駅	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">最も近い バス停や鉄道駅 番号を記入</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">[]</td> </tr> </table>	最も近い バス停や鉄道駅 番号を記入	[]	
	最も近い バス停や鉄道駅 番号を記入				
	[]				
	2. 名鉄各務原線 () 駅				
	3. 岐阜バス・名鉄バス () バス停				
4. ふれあいバス () バス停					
5. その他 ()					
お住まいの場所から 最も近いバス停や鉄道駅 までのおおよその距離 (1つに○)	1. 500m未満	2. 500m～1km	3. 1～2km	4. 2～5km	5. 5km以上

※目安：成人男性の歩く速度 約80m/分 (5分で約400m)

2-③ 日頃の主な自動車の利用状況(送迎を含む)について、該当する番号に○をつけ、必要事項を記入してください。

自動車の利用頻度 (1つに○)	1. 休日も含めてほぼ毎日 2. 平日のみほぼ毎日 3. 週に3~4日 4. 週に1~2日 5. 月に2~3日 6. 月に1日 7. 休日のみ
目的 (複数回答可)	1. 通勤 2. 通学 3. 通院・検診 4. 業務 5. 買物 6. 飲食・娯楽 7. 会合 8. 親戚・友人訪問 9. 習い事・趣味 10. その他 ()
目的地 (複数回答可)	<各務原市内> 1. 那加地区(施設名; _____) 2. 稲羽地区(施設名; _____) 3. 蘇原地区(施設名; _____) 4. 鶉沼地区(施設名; _____) 5. 川島地区(施設名; _____) <市外> 6. 名古屋市 7. 岐阜市 8. 関市 9. 犬山市 10. 一宮市 11. 江南市 12. 岐南町 13. 美濃加茂市 14. その他 ()

2-④ 日頃の生活用品や食料品等の買物の状況について、該当する番号に○をつけ、必要事項を記入してください。

買物に出かける頻度 (1つに○)	1. 休日も含めてほぼ毎日 2. 平日のみほぼ毎日 3. 週に3~4日 4. 週に1~2日 5. 月に2~3日 6. 月に1日 7. 休日のみ 8. ほとんど出かける⇒理由 ()
買物先 (複数回答可)	<各務原市内> 1. 那加地区(施設名; _____) 2. 稲羽地区(施設名; _____) 3. 蘇原地区(施設名; _____) 4. 鶉沼地区(施設名; _____) 5. 川島地区(施設名; _____) <市外> 6. 名古屋市 7. 岐阜市 8. 関市 9. 犬山市 10. 一宮市 11. 江南市 12. 岐南町 13. 美濃加茂市 14. その他 ()
買物の交通手段 (複数回答可)	1. 鉄道(JR・名鉄) 2. 路線バス 3. ふれあいバス 4. イオン各務原ショッピングセンターシャトルバス 5. タクシー 6. 自動車(自分で運転) 7. 自動車(送迎) 8. バイク 9. 自転車 10. 徒歩 11. その他 ()
よく買物に出かける時間帯 (平日・休日それぞれ1つに○)	<平日> 1. 朝10時~11時頃 2. お昼前後 3. 午後3時~4時頃 4. 夕方5時以降 5. その他 () <休日> 1. 朝10時~11時頃 2. お昼前後 3. 午後3時~4時頃 4. 夕方5時以降 5. その他 ()

宅配・通販サービス(※3)の利用(1つに○)	1. よく利用する 2. 時々利用する 3. あまり利用しない 4. 全く利用しない
日頃の買物で困った点や不便な点(1つに○)	1. お店が自宅から遠い 2. 自動車でしか買物に行けない 3. 買った品物を自宅まで運べない 4. 欲しい商品が揃っていない 5. その他() 6. 困っていない
最も利用したい買物サービス(1つに○)	※日頃自動車で行かれる方は、将来自動車が利用できなくなった時のことを想像してお答えください。 1. 電話・インターネット等で注文すると、品物を直接自宅まで届けてくれる 2. お店で買った品物を自宅まで無料で配達してくれる 3. 定期的に御用聞きが回ってきて、注文した品物を届けてくれる 4. 自動車等で品物を販売しに来てくれる(移動スーパー等) 5. 自宅近くの空き地等で定期的に朝市や夕市が開催される 6. その他()

※3 お店まで買物に行かず、電話やインターネット等で品物を注文し、自宅まで届けてもらうシステムをいいます。

2-⑤ 日頃の通院の状況について、該当する番号に○をつけ、必要事項を記入してください。

通院に出かける頻度(1つに○)	1. 休日も含めてほぼ毎日 2. 平日のみほぼ毎日 3. 週に3～4日 4. 週に1～2日 5. 月に2～3日 6. 月に1日 7. 休日のみ 8. 病気になったときのみ
通院先(複数回答可)	<各務原市内> 1. 那加地区(病院名; _____) 2. 稲羽地区(病院名; _____) 3. 蘇原地区(病院名; _____) 4. 鵜沼地区(病院名; _____) 5. 川島地区(病院名; _____) <市外> 6. 名古屋市 7. 岐阜市 8. 関市 9. 犬山市 10. 一宮市 11. 江南市 12. 岐南町 13. 美濃加茂市 14. その他()
通院の交通手段(複数回答可)	1. 鉄道(JR・名鉄) 2. 路線バス 3. ふれあいバス 4. タクシー 5. 自動車(自分で運転) 6. 自動車(送迎) 7. バイク 8. 自転車 9. 徒歩 10. その他()
よく通院に出かける時間帯(平日・休日それぞれ1つに○)	<平日> 1. 朝10時～11時頃 2. お昼前後 3. 午後3時～4時頃 4. 夕方5時以降 5. その他() <休日> 1. 朝10時～11時頃 2. お昼前後 3. 午後3時～4時頃 4. 夕方5時以降 5. その他()

問3. 公共交通手段の満足度と重要度についておたずねします

3-① それぞれの公共交通手段について、あなたが感じている現状の満足度と、今後利用していくうえでの重要度の程度を教えてください。

各設問で満足度と重要度にそれぞれ1つだけ○をつけてください。

※「鉄道」については、JR高山本線、名鉄犬山線・各務原線のうち、あなたが最も利用される路線についての満足度、重要度について、ご記入ください。

はじめに、あなたが最もよく利用する路線に○をつけてください。(1つだけ)

<input type="checkbox"/>	JR高山本線
<input type="checkbox"/>	名鉄犬山線（新鵜沼駅から犬山駅方面）
<input type="checkbox"/>	名鉄各務原線（新鵜沼駅から名鉄岐阜駅方面）

上記の鉄道 について	判断 できない	現状の満足度					重要度				
		とても 満足	満足	どちら ともい えない	やや 不満	不満	とても 重要	重要	どちら ともい えない	あまり 重要で はない	重要 ではな い
記入例:運行本数	0	5	4	3	②	1	⑤	4	3	2	1
0. 利用の有無	1. 利用したことがある						2. 利用したことはない				
1. 運行本数	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2. 始発の時間	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3. 最終の時間	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4. 乗り継ぎの利便性	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5. 車両の快適性	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6. 車内の混雑状況	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7. 自宅から駅までの利便性	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8. 駅の自動車駐車場	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9. 駅の自転車駐車場	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10. 駅の待合環境	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11. 運賃	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12. 時刻表や乗り継ぎの情報案内	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13. 上記鉄道を総合的にみて	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

路線バス について	判断 できない	現状の満足度					重要度				
		とても 満足	満足	どちら ともい えない	やや 不満	不満	とても 重要	重要	どちら ともい えない	あまり 重要で はない	重要 ではな い
記入例:運行本数	0	5	4	3	②	1	⑤	4	3	2	1
0. 利用の有無	1. 利用したことがある					2. 利用したことはない					
1. 運行本数	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2. 始発の時間	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3. 最終の時間	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4. 定時性(時刻通りの運行)	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5. 目的地までの所要時間	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6. 行きたい方向とバスルート の整合性	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7. 乗り継ぎの利便性	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8. 車両の快適性	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9. 車内の混雑状況	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10. バス停までの利便性	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11. バス停の待合環境	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12. 運賃	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13. 時刻表や乗り継ぎの情報案内	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14. 路線バスを総合的にみて	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

ふれあいバス について	判断 できない	現状の満足度					重要度				
		とても 満足	満足	どちら ともい えない	やや 不満	不満	とても 重要	重要	どちら ともい えない	あまり 重要で はない	重要 ではな い
記入例:運行本数	0	5	4	3	②	1	⑤	4	3	2	1
0. 利用の有無	1. 利用したことがある					2. 利用したことはない					
1. 運行本数	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2. 始発の時間	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3. 最終の時間	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4. 定時性(時刻通りの運行)	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5. 目的地までの所要時間	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6. 行きたい方向とバスルート の整合性	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7. 乗り継ぎの利便性	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8. 車両の快適性	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9. 車内の混雑状況	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10. バス停までの利便性	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11. バス停の待合環境	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12. 運賃	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13. 時刻表や乗り継ぎの情報案内	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14. ふれあいバスを総合的にみて	0	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

3-② あなたは、3-①で掲げる公共交通の利用環境が整備・改善された場合、今後、公共交通の利用頻度は増加しますか。

各々の公共交通について、以下の〈選択肢〉のうち、該当する番号を記入してください。また、利用増加につながる具体的な改善内容をご記入ください。

〈選択肢〉

1. 現在利用している以上に、積極的に利用する。
2. 現在利用している頻度程度は利用する。
3. 現在は利用していないが、今後は積極的に利用する。
4. 現在は利用していないが、今後はできるだけ利用する。
5. 今のところ利用する必要がないので、今後も利用しない。
6. 利用環境が整備・改善されても自家用車などの方が便利だから利用しない。
7. その他

上記1. ~7. のうち、該当する番号を記入してください。

今後の公共交通の利用頻度について	番号	具体的な改善内容
記入例：ふれあいバス	1	1時間に1本程度運行していれば利用する
記入例：名鉄犬山線	7	自動車が運転できなくなったら利用する
JR高山本線		
名鉄犬山線		
名鉄各務原線		
路線バス		
ふれあいバス		

問4. ふれあいバスのあり方についておたずねします

お読みください

公共交通を取り巻く状況は厳しく、全国各地でバス路線が縮小・廃止される中、それぞれの自治体では、バス事業者に補助金を支出したり、自治体独自のバス路線を創設するなど、地域住民の生活の足の確保に努めています。

各務原市では、路線バスの廃止代替として公共交通空白地区の解消を図るために、3年間の社会実験の後、平成15年7月より公共施設や駅を結ぶワンコインバス（どこまで乗っても100円）として「ふれあいバス」の本格運行を開始しました。



現在では、年間1億1千万円程度の公費（税金）を投入し、市民1人あたり約750円、1世帯あたり約2,000円の費用負担で運行しております。平日は3路線（西部・鵜沼線、東部・南部線、北部・川島線）でそれぞれ往復6便、休日は平日路線（往復3便）に循環休日線（右回り3便、左回り3便）を加えた4路線を運行しており、年間15万人のみなさんに利用されています。

4-① 以上を踏まえ、バス交通の運営に対する公費（税金）投入のあり方についてお尋ねします。設問ごとに該当する番号に1つ○をつけてください。

ふれあいバス交通の運営に対する公費（税金）投入のあり方	強くそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない
1. 利用者を増やすことで収入を増やし、公費による負担を減らすべきだ。	5	4	3	2	1
2. 運行本数や経路の効率化を図り、公費による負担を減らすべきだ。	5	4	3	2	1
3. 運賃を値上げすることで収入を増やし、公費による負担を減らすべきだ。	5	4	3	2	1
4. 利用していない人も含め、地域住民が運行経費の一部を負担し、公費による負担を減らすべきだ。	5	4	3	2	1
5. 高齢者などの交通不便者の移動手段の確保のためなら、今と同程度の公費で負担してもよい。	5	4	3	2	1
6. 公共交通をより便利にするために、公費による負担額を増やしてもよい。	5	4	3	2	1
7. 利用者の運賃収入だけでまかなえないのであれば、運行すべきではない。	5	4	3	2	1

4-② 将来の交通施策の充実に向け、公共交通が果たす役割は、今後ますます重要になると考えられます。そうしたことを踏まえ、以下の設問にお答えください。

- 1) ふれあいバスが果たすべき役割の「重要度」を5段階で評価し、設問ごとに該当する番号に1つ○をつけてください。
- 2) これらの役割について、ふれあいバスの「達成度」を3段階で評価し、設問ごとに該当する番号に1つ○をつけてください。なお、ふれあいバスを利用したことがないなど、「達成度」が分からない場合は「判断できない」に○をつけてください。

ふれあいバスが果たすべき役割と達成度	1)重要度					2)達成度			
	とても重要である	重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	果たしている	どちらともいえない	果たしていない	判断できない
1. 通勤や通学などの日常の移動手段	5	4	3	2	1	3	2	1	0
2. 通院や買い物などの日常の移動手段	5	4	3	2	1	3	2	1	0
3. 市役所などの公共施設へ行くための移動手段	5	4	3	2	1	3	2	1	0
4. 最寄りの鉄道駅へ行くための移動手段	5	4	3	2	1	3	2	1	0
5. 高齢者や子供など車を運転できない交通不便者にとっての移動手段	5	4	3	2	1	3	2	1	0
6. 路線バスが走っていない地域の方々にとっての移動手段	5	4	3	2	1	3	2	1	0
7. 必要に応じていつでもバスを利用できるという安心感を与える役割	5	4	3	2	1	3	2	1	0
8. 隣接市町と接続し、市外施設への移動を容易にする役割	5	4	3	2	1	3	2	1	0
9. 観光施策や商業振興施策等と連携し、まちを活性化させる役割	5	4	3	2	1	3	2	1	0
10. 自動車交通を抑制し、環境負荷の低減や道路の混雑・交通事故等を減らす役割	5	4	3	2	1	3	2	1	0

ふれあいバスについて

◆こんなバスです。

36人乗り（座席は12席）の比較的小型なバスで、乗降口が低く、乗り降りが便利で、車椅子の利用にも対応した“低床バス”を採用しています。

◆こんなところを走っています。

運行路線（主な停車場所）

- 西部・鵜沼線 産業文化センター ⇄ 名鉄那加駅 ⇄ 市役所 ⇄ 三柿野駅 ⇄ 市民プール ⇄ JR鵜沼駅
- 東部・南部線 新鵜沼駅 ⇄ 緑苑 ⇄ 市民会館 ⇄ 日毛前 ⇄ 航空宇宙科学博物館 ⇄ 産業文化センター
- 北部・川島線 おがせ町1丁目 ⇄ 東山 ⇄ 三柿野駅 ⇄ 市役所 ⇄ 河川環境楽園 ⇄ 内藤記念くすり博物館 ⇄ 産業文化センター
- 循環休日線 新鵜沼駅 ⇄ 犬山城 ⇄ 航空宇宙科学博物館 ⇄ 産業文化センター ⇄ 新那加駅 ⇄ 市民会館 ⇄ 自然遺産の森 ⇄ 新鵜沼駅



問5. 高齢社会に備えるという観点からおたずねします

お読みください

今後、各務原市では急速に高齢化が進み、平成32年には市人口の約27%が65歳以上になるものと予想されています。こうした状況を踏まえ、以下の設問にお答えください。

【自動車の免許をお持ちの方にお尋ねします】

5-① あなたは何歳位から車の運転が難しくなると思いますか。該当する番号に1つ○をつけてください。

- | | | | | | |
|--------|-------------------|----------|-----------------|--------|--------|
| 1. 50歳 | 2. 55歳 | 3. 60歳 | 4. 65歳 | 5. 70歳 | 6. 75歳 |
| 7. 80歳 | 8. その他 (_____ 歳) | 9. わからない | 10. できる限り乗り続けたい | | |

5-② 運転が難しい年齢に達したらあなたは免許証を返上しますか。

- | | |
|---------|----------|
| 1. 返上する | 2. 返上しない |
|---------|----------|

【回答者全ての方にお尋ねします】

5-③ 高齢者の方の移動環境をどのようにすれば良いと思われますか。該当する番号に1つ○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 公共交通を利用する | 2. 家族や友人などが送迎する |
| 3. 周辺地域のみんなで移動を助け合う | 4. 分からない |
| 5. その他 (_____) | |

問6. 各務原市の交通将来像をおたずねします

6-① あなたが考える各務原市の交通将来像を教えてください。該当する番号に3つまで○をつけてください。

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 名古屋や岐阜などの都市間を鉄道で移動しやすいまち |
| 2. 名古屋や岐阜などの都市間を自動車で移動しやすいまち |
| 3. 岐阜市や犬山市などの隣接市町へバスで便利に移動できるまち |
| 4. 岐阜市や犬山市などの隣接市町へ自動車で円滑に移動できるまち |
| 5. お住まいの地域から鉄道駅や中心市街地へバスで便利に移動できるまち |
| 6. お住まいの地域から鉄道駅や中心市街地へ自動車で円滑に移動できるまち |
| 7. 自転車で安全に移動できるまち |
| 8. 徒歩で安全に移動できるまち |
| 9. その他 (_____) |
| 10. わからない |

③ 市民アンケートの調査結果

③-1. アンケート回答者について (問1 1-①~⑤)

ア. アンケート回答者の属性 (問1 1-①~④)

- 男性が約31%、女性が約45%
- 「鵜沼1、鵜沼2、鵜沼3、陵南小学校区」約27%

回答者の居住地区は、「鵜沼1、鵜沼2、鵜沼3、陵南小学校区」が約27%「那加1、那加2、那加3小学校区」及び「蘇原1、蘇原2小学校区」がそれぞれ約21%となっている。

図 回答者の性別構成

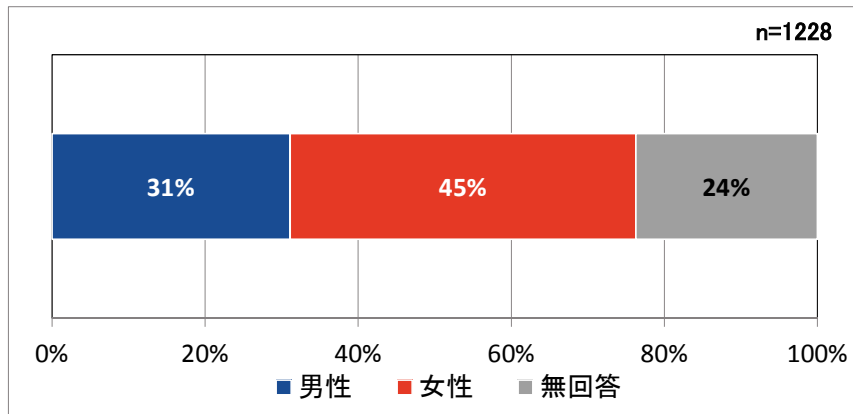


図 回答者の居住地区構成

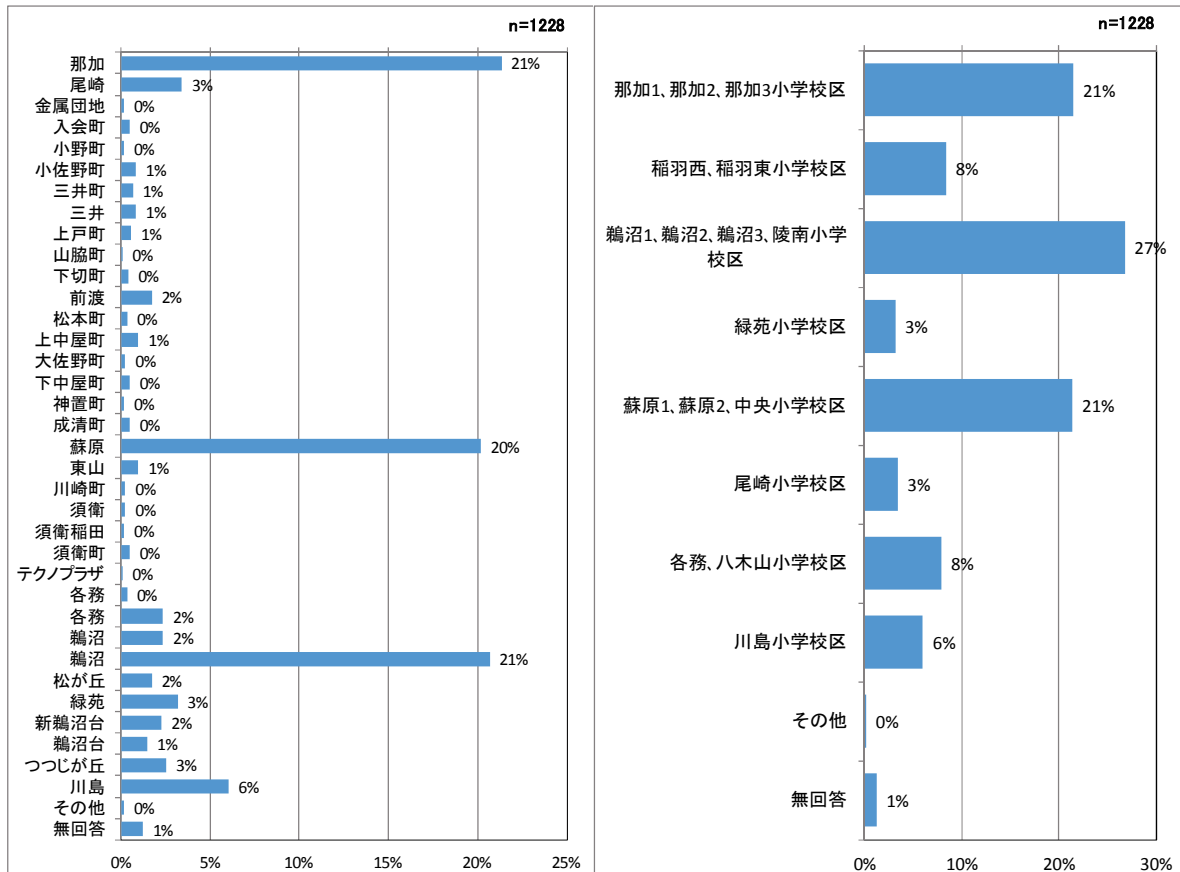


表 回答者の属性

		那加1 那加2 那加3 小学校区	稲羽西 稲羽東 小学校区	鵜沼1 鵜沼2 鵜沼3 陵南 小学校区	緑苑 小学校区	蘇原1 蘇原2 中央 小学校区	尾崎 小学校区	各務 八木山 小学校区	川島 小学校区	その他	無回答	合計
回答者数(人)		264	103	329	39	263	42	97	74	2	15	1,228
性別 (人)	男性	77	31	111	13	78	11	40	21	0	0	382
	女性	127	54	144	14	118	18	40	39	1	0	555
	無回答	60	18	74	12	67	13	17	14	1	15	291
年齢 (人)	20歳未満	8	3	4	0	2	2	3	3	0	0	25
	20歳代	24	8	25	0	27	2	5	5	0	0	96
	30歳代	29	15	37	4	34	5	10	16	0	0	150
	40歳代	35	14	45	2	43	4	11	6	0	0	160
	50歳代	38	12	43	6	45	4	10	14	0	0	172
	60～64歳	22	9	51	11	28	5	11	6	2	1	146
	65～69歳	37	17	54	4	27	5	12	6	0	0	162
	70～74歳	27	11	26	8	21	10	17	8	0	0	128
	75歳以上	43	14	44	4	34	5	18	10	0	0	172
	無回答	1	0	0	0	2	0	0	0	0	14	17
職業 (人)	勤め人	61	28	97	15	96	9	18	24	1	0	349
	自営業	14	7	22	0	13	3	5	3	0	1	68
	パート・ アルバイト	38	9	43	3	43	7	14	12	1	0	170
	学生	14	3	8	0	5	1	4	4	0	0	39
	主婦・主夫・ 家事手伝い	66	26	64	12	48	10	22	16	0	0	264
	無職	69	28	85	9	58	12	32	14	0	0	307
	その他	2	2	7	0	0	0	1	1	0	0	13
	無回答	0	0	3	0	0	0	1	0	0	14	18
免許証の 有無 (人)	有	220	82	271	32	207	30	78	63	2	1	986
	無	42	20	54	7	48	10	17	11	0	0	209
	無回答	2	1	4	0	8	2	2	0	0	14	33

●65 歳以上が約 38%

回答者の年齢構成は、65 歳以上人口が約 38%を占める。

●勤めが人約 28%、主婦・無職が約 46%

回答者の職業構成は、勤労者が約 48%、非勤労者が約 49%と、勤労者と非勤労者の割合がほぼ同程度となっている。

図 回答者の年齢構成

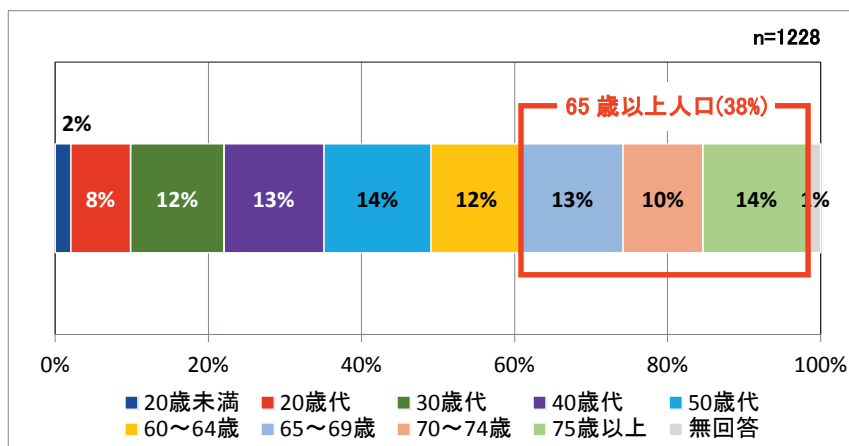
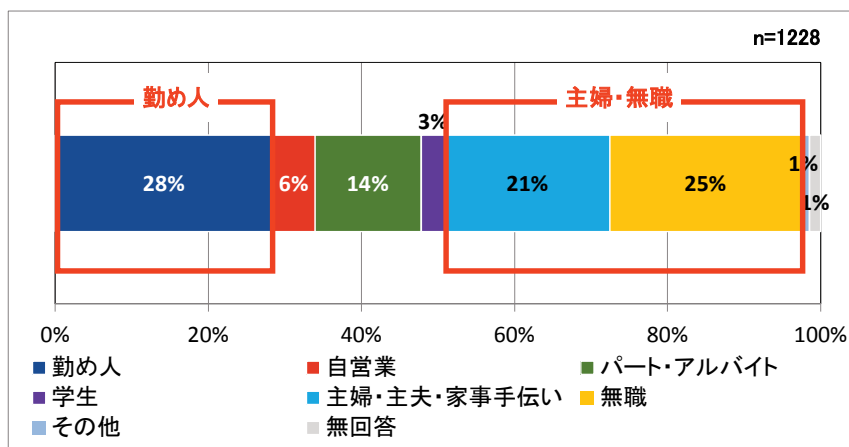


図 回答者の職業構成



●免許保有率 約 80%、自家用車保有率 約 74%

回答者のうち、普通自動車運転免許の保有者は約 80%、自家用車保有者は約 74%となっており、ほぼ 8 割の回答者が運転免許及び自家用車を保有している。

図 普通自動車運転免許の有無

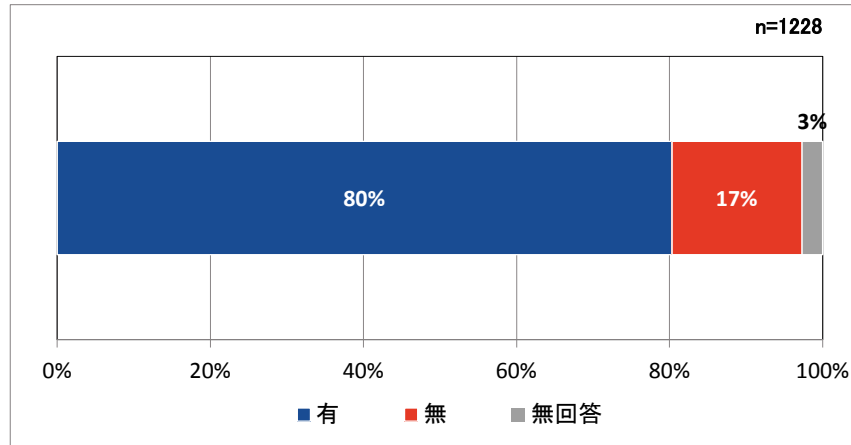
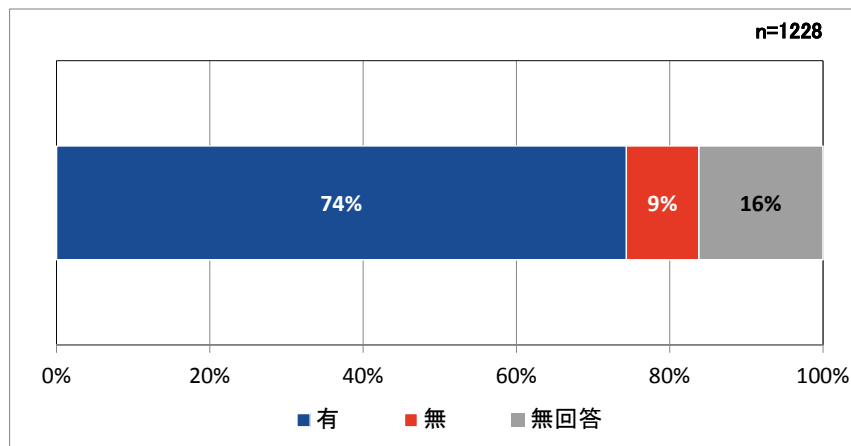


図 自家用車の有無



イ. 回答者の最寄り公共交通（問1 1-⑤）

- 小学校区によって最寄り駅や最寄バス停は異なっているが、鉄道駅では、JR 鶉沼駅・名鉄新鶉沼駅、JR 那加駅とする人が多く、バスではふれあいバスのバス停を挙げる人が多い

小学校区によって最寄り駅や最寄バス停は異なっているが、鉄道駅では、JR 鶉沼駅・名鉄新鶉沼駅、JR 那加駅とする人が多く、バスではふれあいバスのバス停を挙げる人が多くなっている。

小学校区別にみると、緑苑小学校区は、JR 鶉沼駅・名鉄新鶉沼駅、岐阜バス・名鉄バスを最寄公共交通として挙げる人が多い。その他の小学校区では、稲羽西、稲羽東小学校区でふれあいバスが約59%、鶉沼1、鶉沼2、鶉沼3、陵南小学校区でJR 鶉沼駅・名鉄新鶉沼駅が約56%、蘇原1、蘇原2小学校区では、名鉄六軒駅が約55%、JR 蘇原駅が約51%、尾崎小学校区で岐阜バス・名鉄バスが約67%、ふれあいバスが約52%となっている。

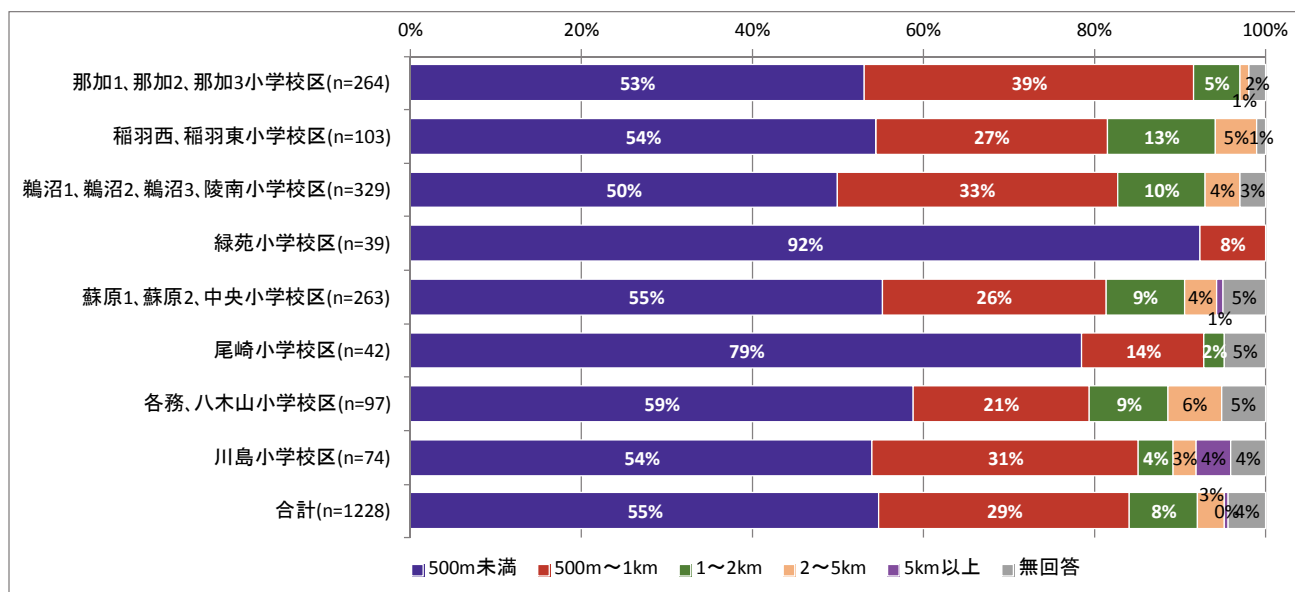
- 鉄道駅・バス停まで500m以内とする人が緑苑小学校区では約92%、尾崎小学校区では約79%

最も近いバス停や鉄道駅までの距離については、各小学校区で500m未満が50%以上であり、特に緑苑小学校区では約92%、尾崎小学校区では約79%となっている。また、那加1、那加2、那加3小学校区では500m以上1km未満が約39%と、他の小学校区に比べ若干高く、稲羽西、稲羽東小学校区及び各務、八木山小学校区では1km以上が15%以上と他の小学校区に比べ1km以上の占める割合が高くなっている。

図 最寄りの公共交通



図 最も近いバス停や鉄道までの距離



③-2. 日常の交通行動 (問2 2-①~④)

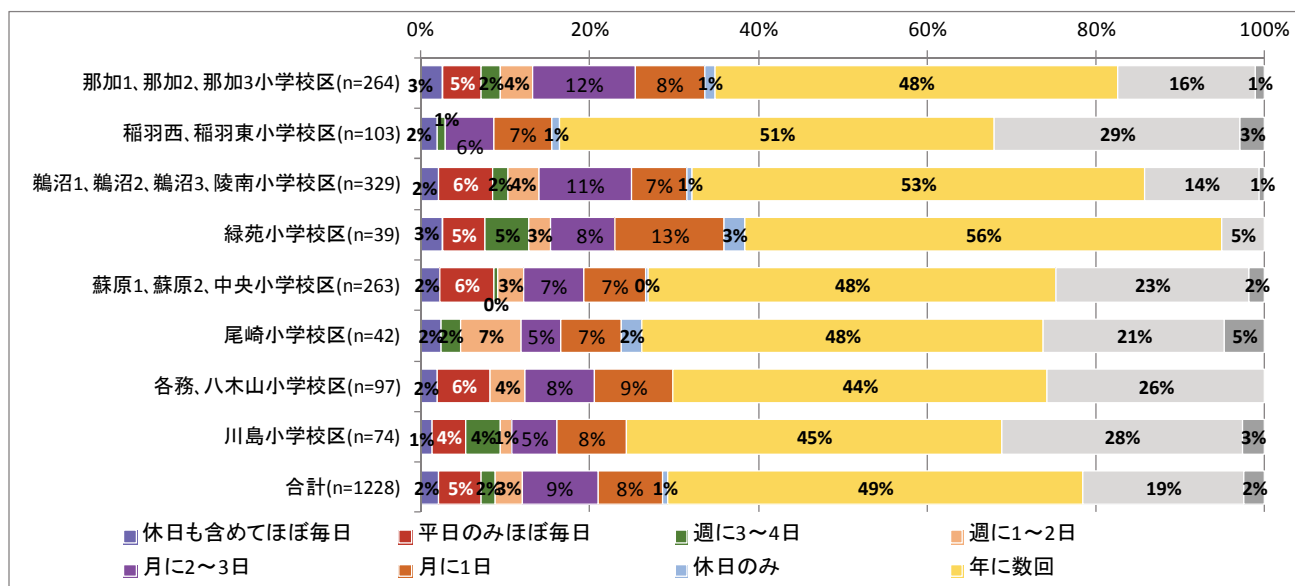
ア. 鉄道の利用状況 (問2 2-①)

●鉄道の利用頻度は、緑苑小学校区が高い

鉄道の利用頻度について、比較的利用頻度の高い「週に3~4日」以上に注目すると、緑苑小学校が合計で約13%と最も高い割合を示している。この他、那加1、那加2、那加3小学校区及び鵜沼1、鵜沼2、鵜沼3、陵南小学校区で約10%となっている。

また、「年に数回」の割合が各校区とも最も高くなっている。

図 鉄道の利用頻度

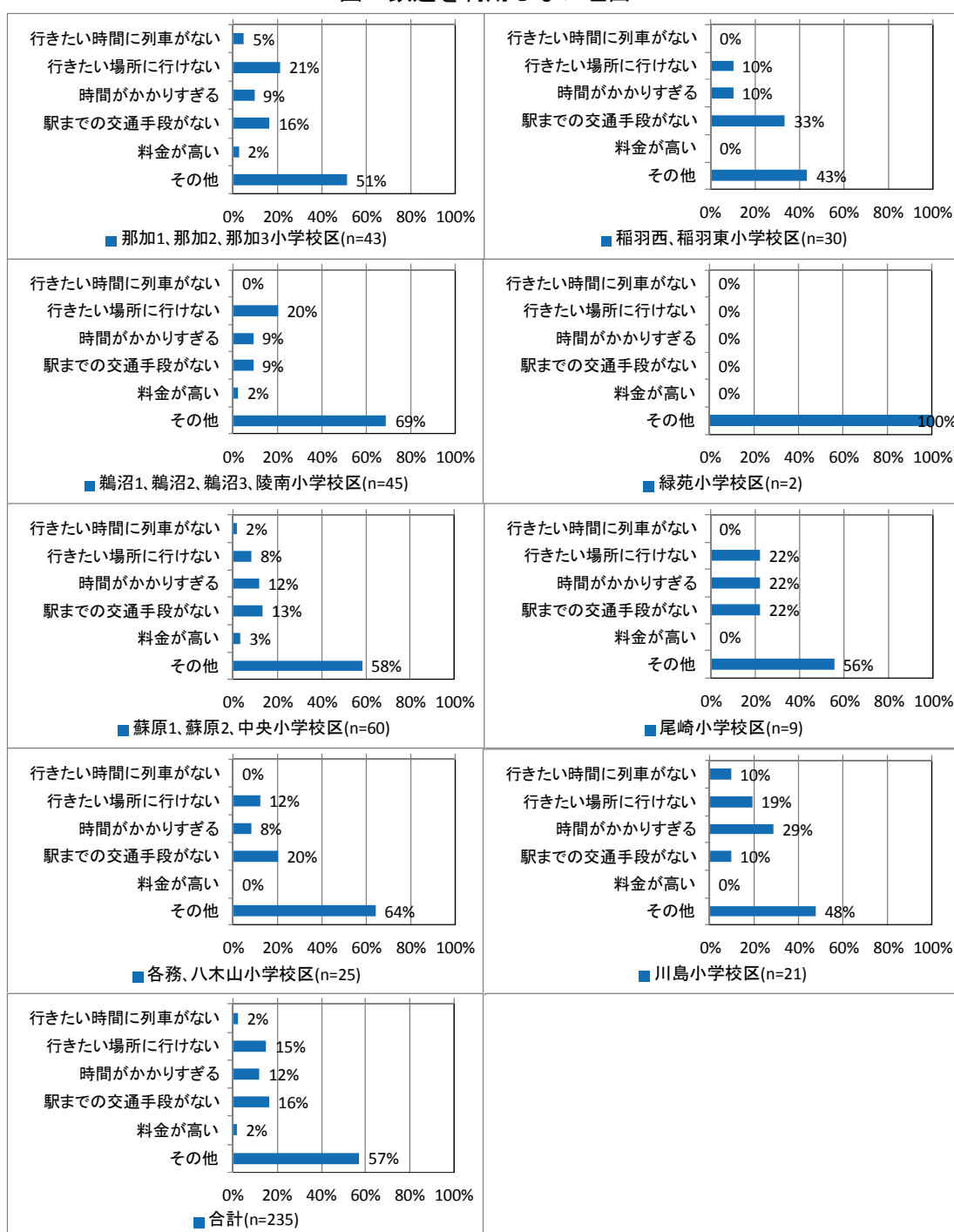


● 「行きたい場所に行けない」、「時間がかかりすぎる」、「駅までの交通手段がない」ため、鉄道を利用していない

鉄道を利用しない理由は、「行きたい場所に行けない」という回答が最も高い割合を占めたのは那加1、那加2、那加3小学校区の約21%、鵜沼1、鵜沼2、鵜沼3、陵南小学校区の約20%であった。

「時間がかかりすぎる」という回答が最も高い割合を占めたのは川島小学校区の約29%、「駅までの交通手段がない」という回答が最も高い割合を占めたのは稲羽西、稲羽東小学校区の約33%、蘇原1、蘇原2小学校区の約14%、各務、八木山小学校区の約20%、川島小学校区の約29%であった。

図 鉄道を利用しない理由

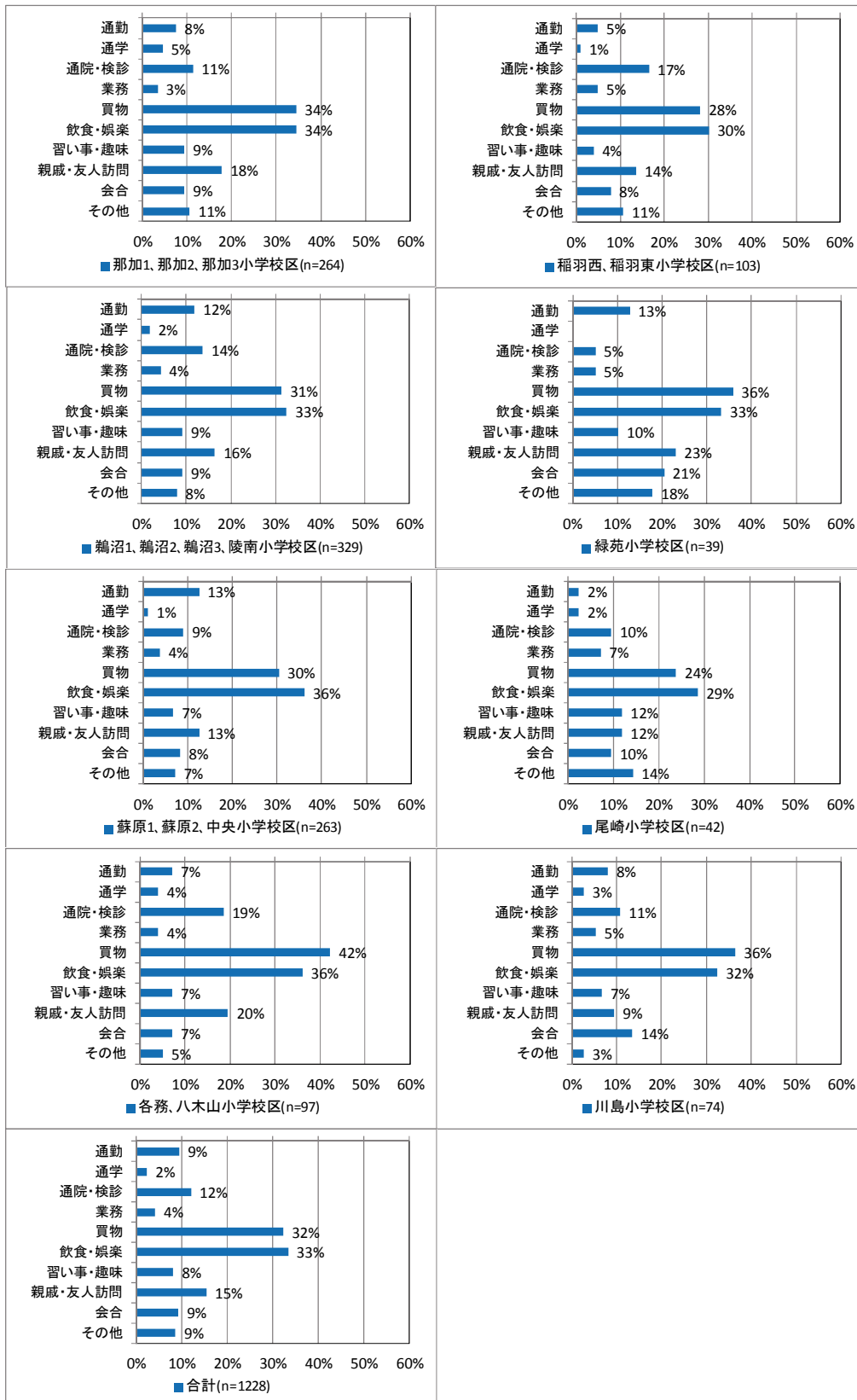


●各校区とも、「買物」「飲食・娯楽」目的の利用が多い

鉄道の利用目的については、各小学校区ともに、「買物」、「飲食・娯楽」の割合が20%以上と、他の項目に比べ高くなっている。

他の項目では、各務、八木山小学校区で「親戚・友人訪問」の割合が20%を占めている。

図 鉄道利用目的

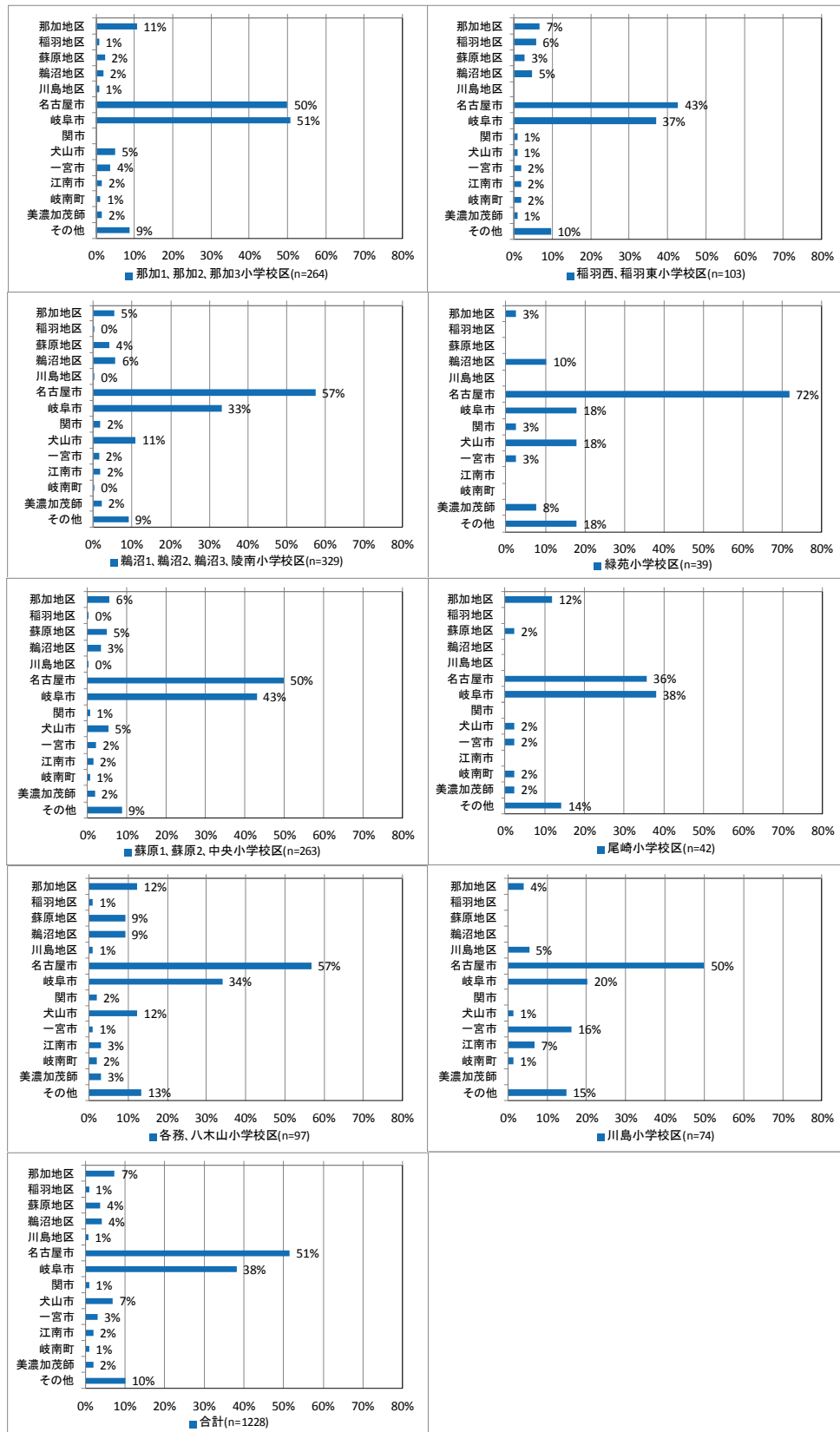


●各校区とも、「名古屋市」「岐阜市」を目的地としている

鉄道利用時の目的地については、各小学校区ともに、「名古屋市」「岐阜市」が多い。

他の目的地では、緑苑小学校区及び各務、八木山小学校区で「犬山市」、川島小学校区で「一宮市」を目的地とした利用が比較的高い割合で見られる。

図 鉄道利用時の目的地



●JR 那加駅、名鉄新那加駅、名鉄各務原市役所前駅、名鉄六軒駅、名鉄新鵜沼駅等が最寄り駅として利用されている

全体では、JR 那加駅、名鉄新那加駅、名鉄各務原市役所前駅、名鉄六軒駅、名鉄新鵜沼駅等が最寄り駅として利用されている。

小学校区別では、以下の利用が見られる。

那加 1、那加 2、那加 3 小学校区では名鉄新那加駅の利用が約 27%

稲羽西、稲羽東小学校区では名鉄各務原市役所前駅の利用が約 30%

鵜沼 1、鵜沼 2、鵜沼 3、陵南小学校区では名鉄名電各務原駅の利用が約 26%

緑苑小学校区では名鉄新鵜沼駅の利用が約 77%

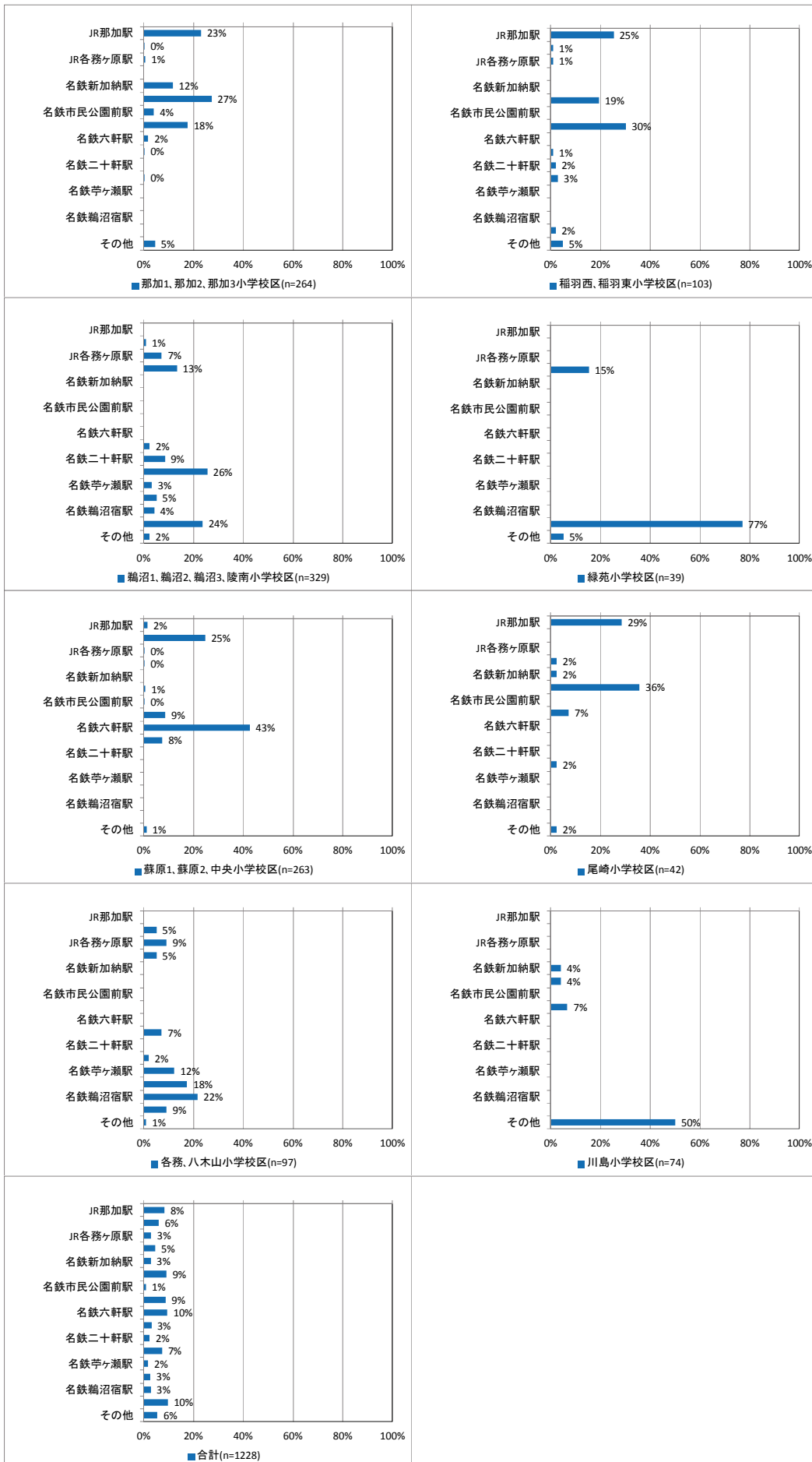
蘇原 1、蘇原 2、中央小学校区では名鉄六軒駅の利用が約 43%

尾崎小学校区では名鉄新那加駅の利用が約 36%

各務、八木山小学校区では名鉄鵜沼宿駅が約 22%

川島小学校区ではその他が約 50% (その他は、JR 木曾川駅、名鉄笠松駅、名鉄木曾川堤駅、名鉄一宮駅 等)

図 よく利用する駅

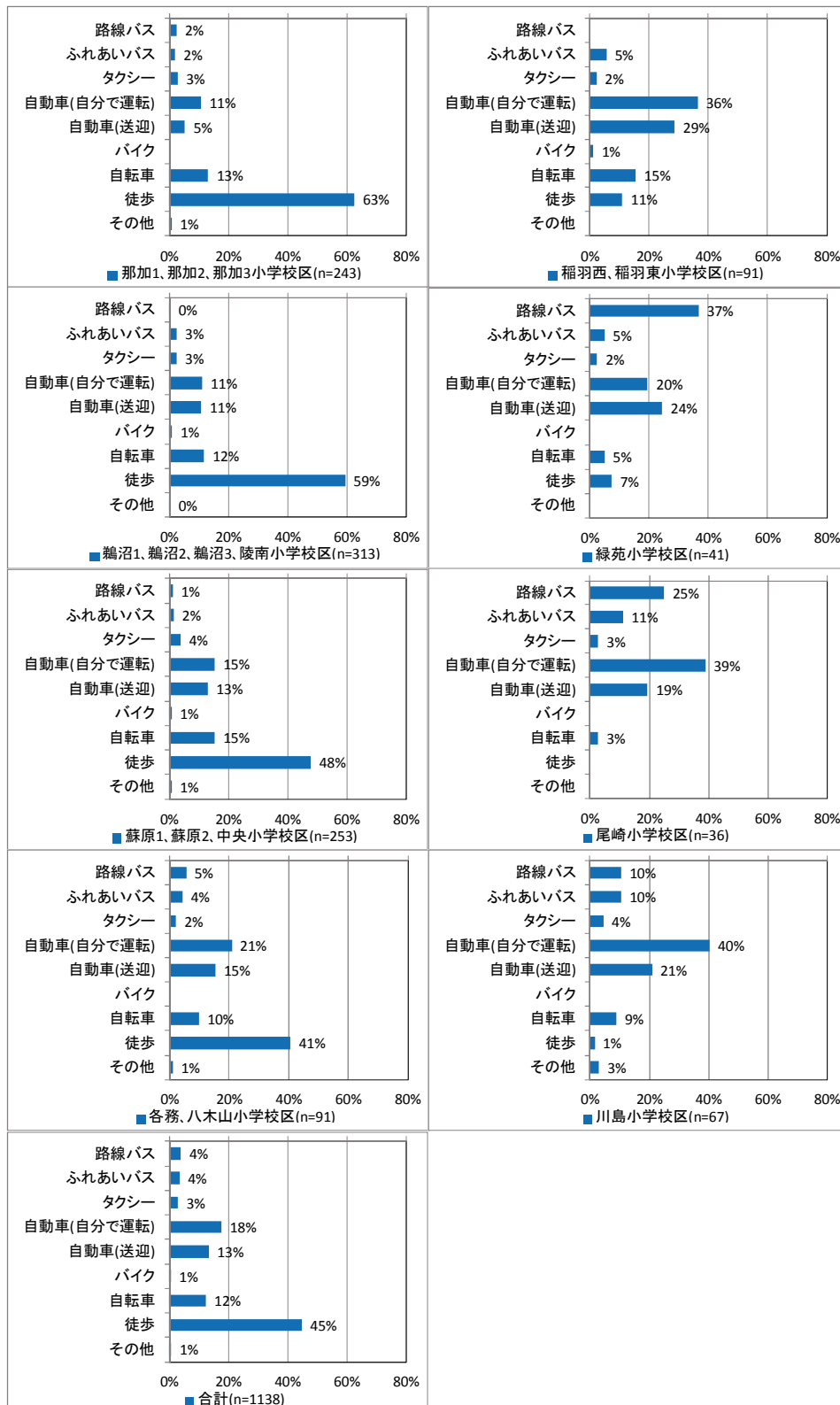


● 駅までの交通手段は、全体では、自動車、自転車、徒歩が多い

駅までの交通手段は、全体では、自動車（自分で運転）、自動車（送迎）、自転車、徒歩が多い。

小学校区別では、緑苑小学校区及び尾崎小学校区では路線バスの利用が他の小学校区に比べ高くなっている。

図 駅までの交通手段

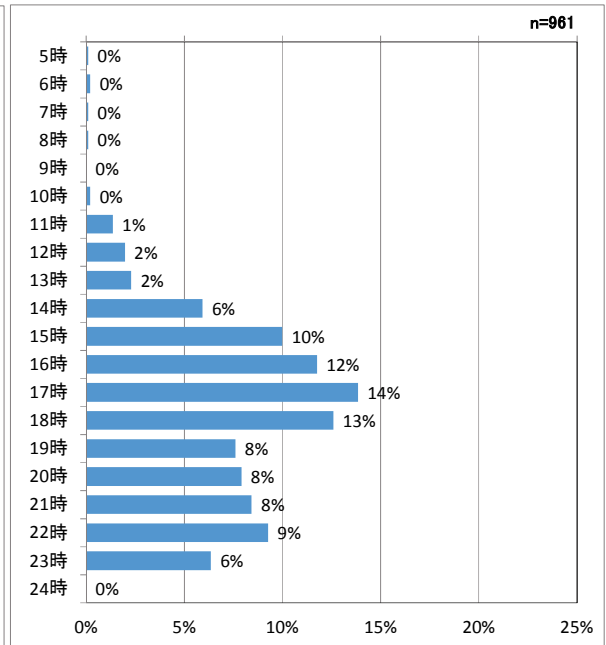
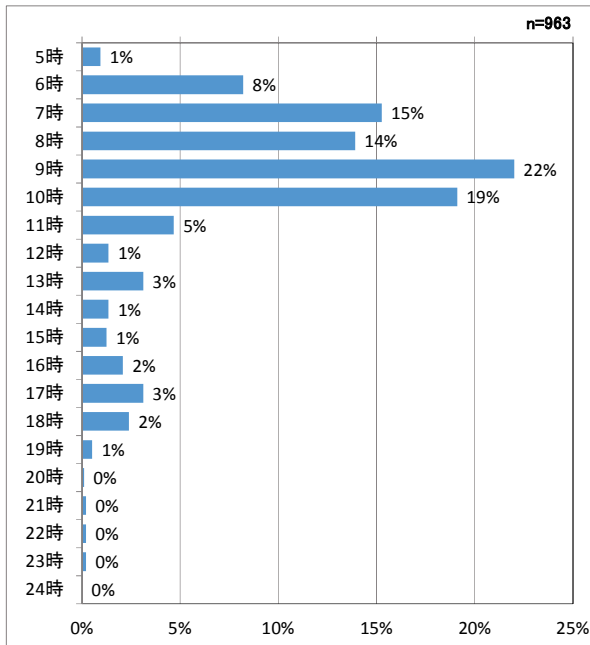


●鉄道利用のピークは、行きは9時（22%）、帰りは17時（14%）

最寄駅の利用時間帯については、行きは7時～10時の利用が多く、ピークは9時の22%、帰

図 最寄駅の利用時間帯（行き）

図 最寄駅の利用時間帯（帰り）



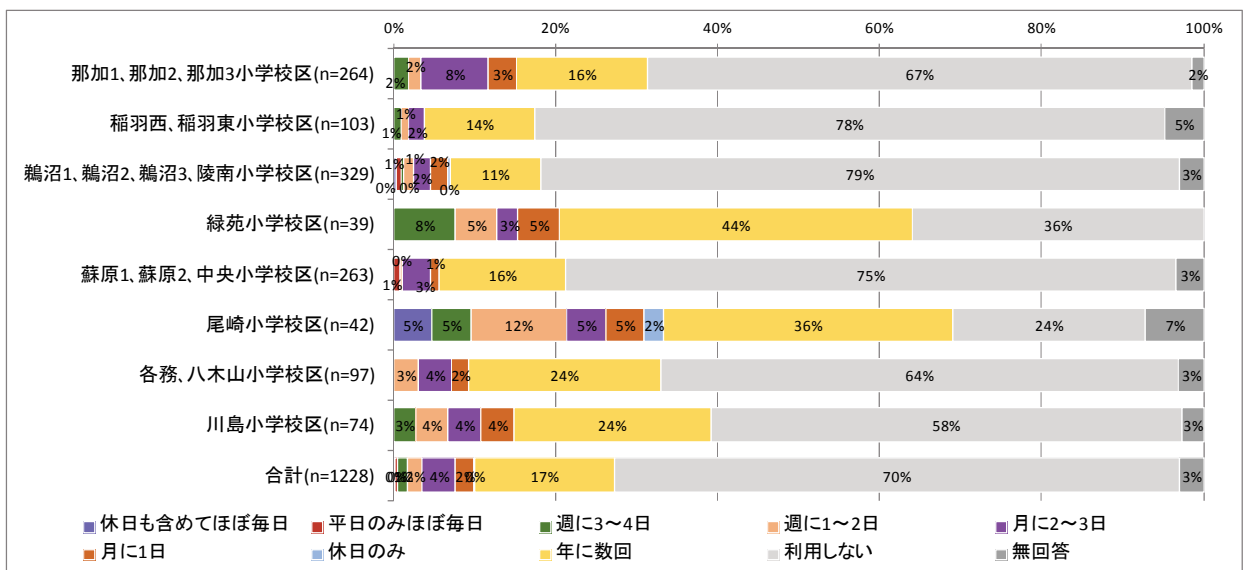
イ. バスの利用状況（問2 2-②）

●バスの利用頻度は、「年に数回」及び「利用しない」が大半を占める

バスの利用頻度について、比較的用頻度の高い「週に3～4日」以上に注目すると、尾崎小学校が合計で約10%と最も高い割合を示している。この他、緑苑小学校区で約8%である。

また、「年に数回」及び「利用しない」の割合が各校区とも最も高くなっている。

図 バスの利用頻度

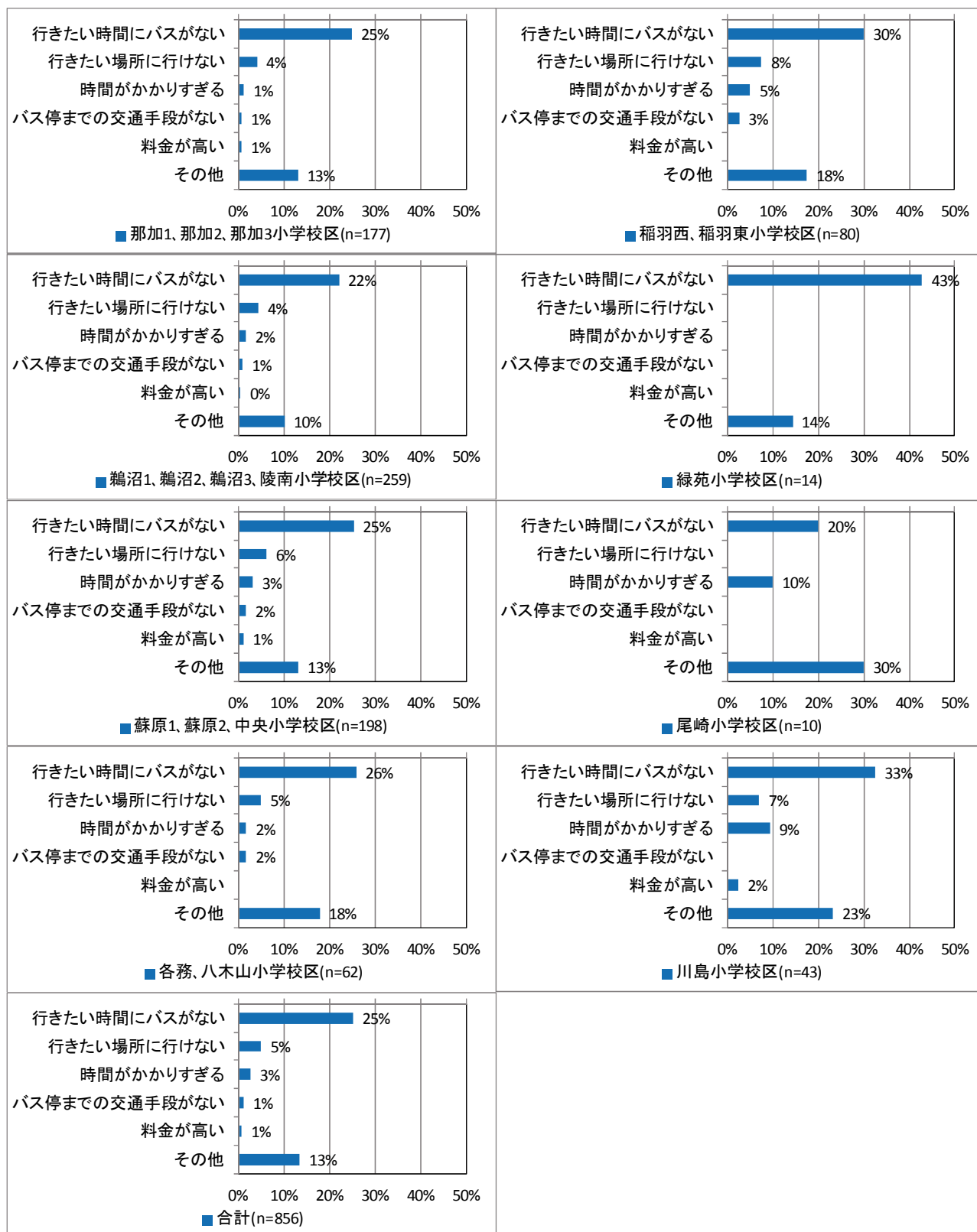


● 「行きたい時間にバスがない」ため、バスを利用していない

各小学校区とも、バスを利用しない理由として、「行きたい時間にバスがない」と回答した割合が高くなっている。

尾崎小学校区、川島小学校区では「時間がかかりすぎる」という回答も多くなっている。

図 バスを利用しない理由

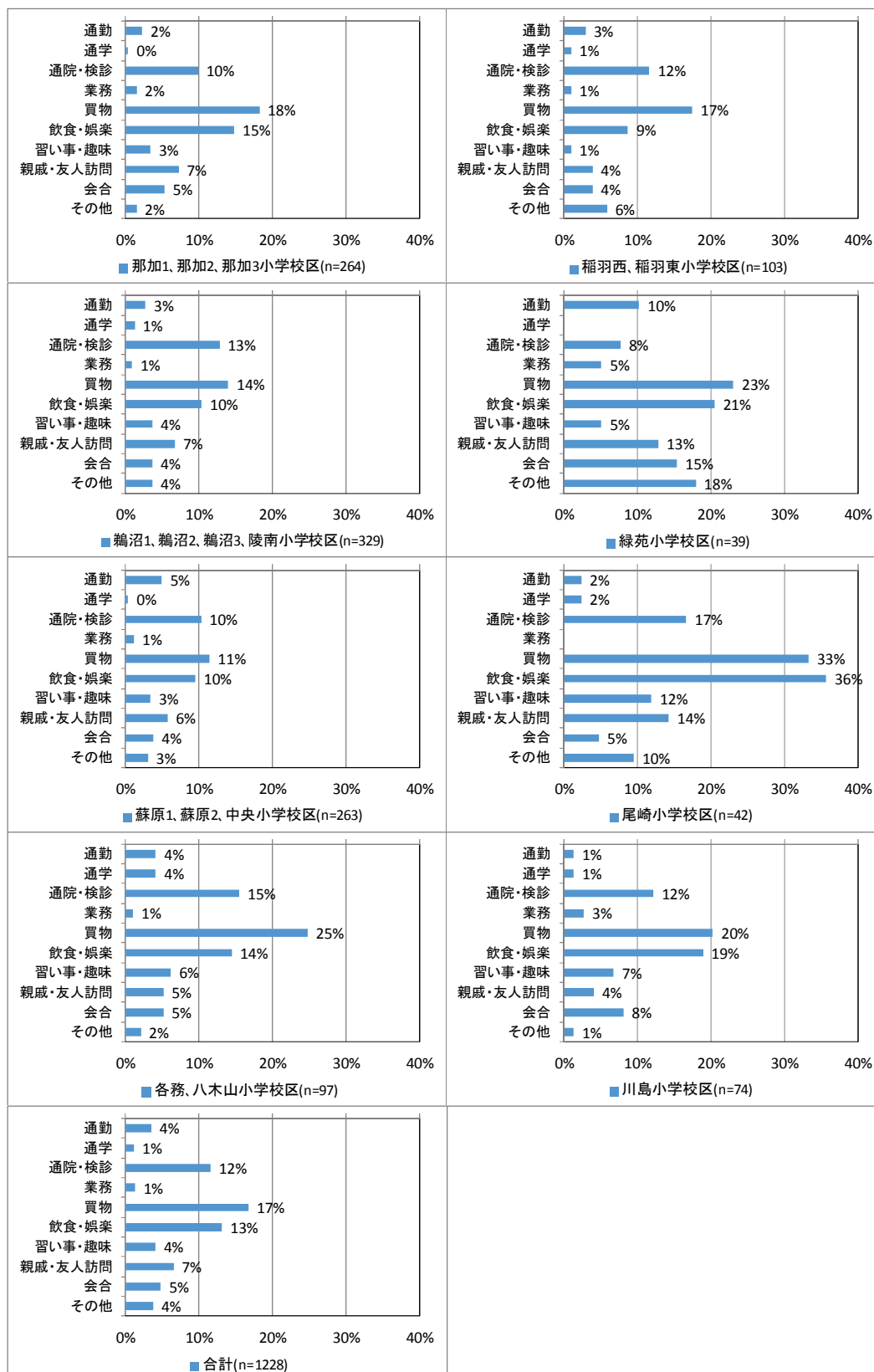


●各校区とも、「通院・検診」「買物」「飲食・娯楽」目的の利用が多い

バスの利用目的については、各小学校区ともに、「通院・検診」、「買物」、「飲食・娯楽」の割合が他の項目に比べ高くなっている。

特に、尾崎小学校区では「買物」及び「飲食・娯楽」の割合が30%以上となっている。

図 バス利用目的

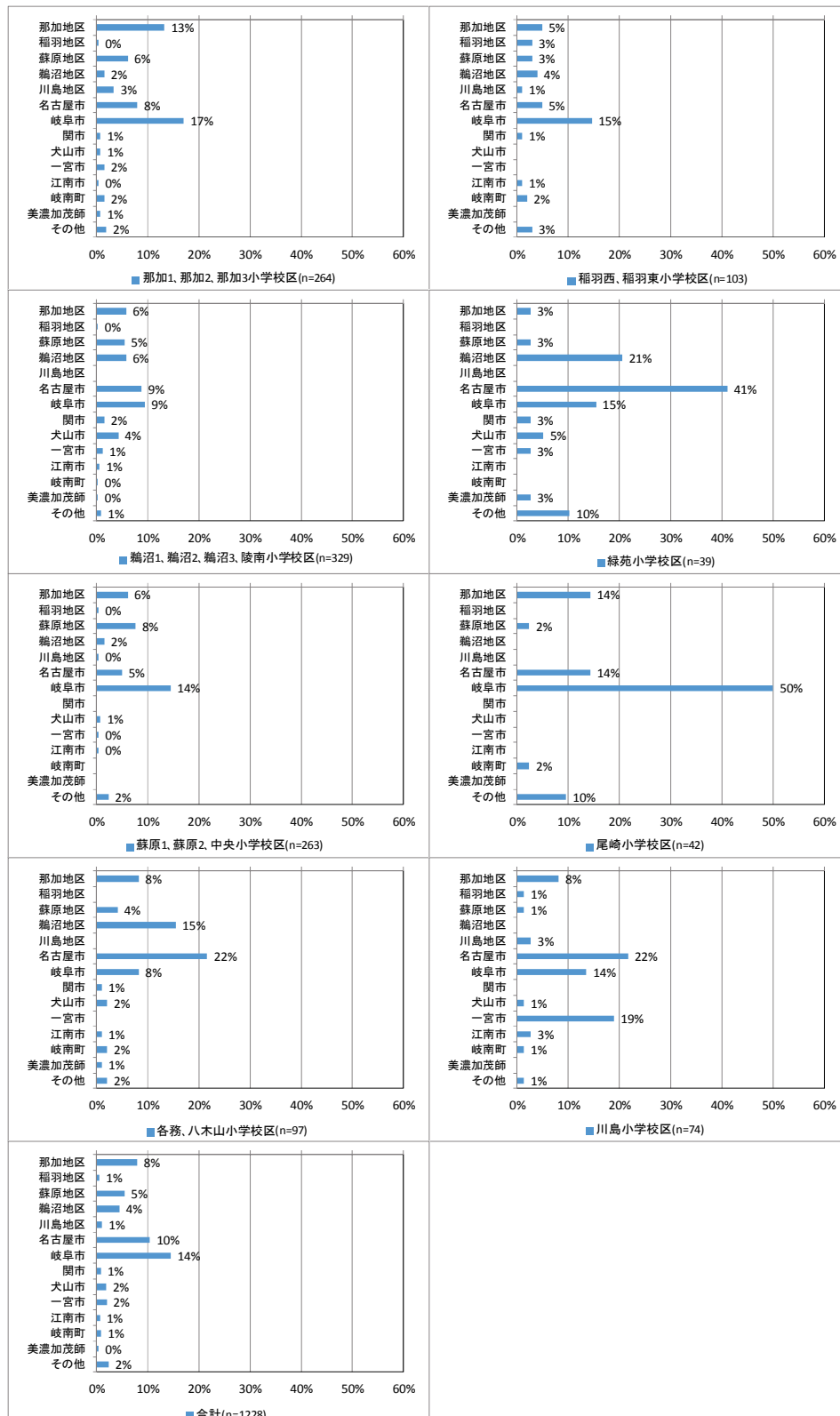


●全体では、「名古屋市」「岐阜市」を目的地とした利用が多い

バス利用時の目的地については、全体では「岐阜市」が約 14%、「名古屋市」が約 10%となっている。

小学校区別では、緑苑小学校区で「名古屋市」を目的地とした利用が約 41%、尾崎小学校区で「岐阜市」を目的地とした利用が約 50%と、特に多くなっている。

図 バス利用時の目的地

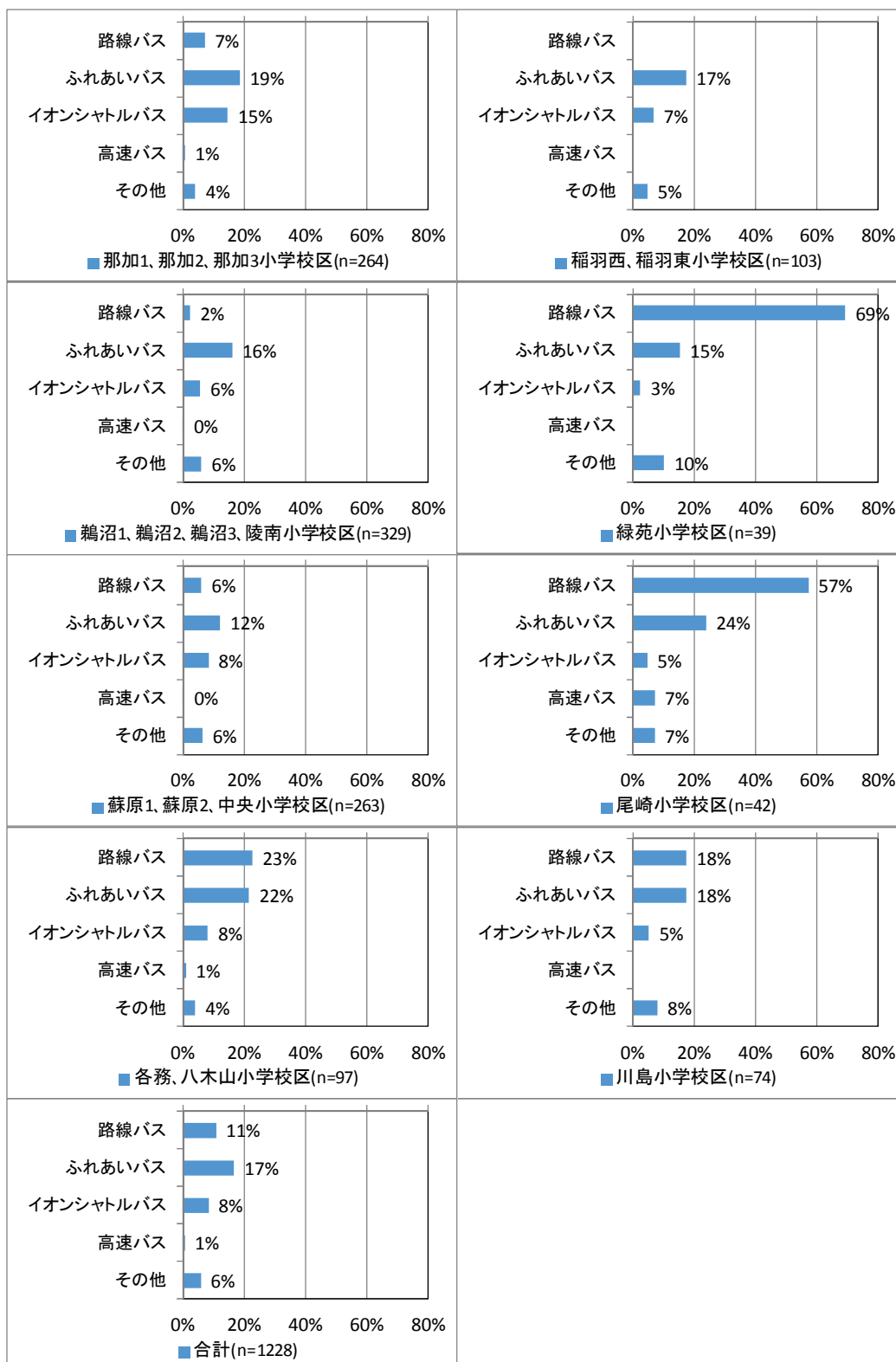


●日頃利用するバスは、全体ではふれあいバス 約17%、路線バス 約11%

日頃利用するバスは、全体では、ふれあいバスが約17%、路線バスが約11%、イオンシャトルバスが約8%となっている。

小学校区別では、緑苑小学校区、尾崎小学校区、各務、八木山小学校区では路線バスの利用が最も多く、その他の小学校区ではふれあいバスの利用が多くなっている。

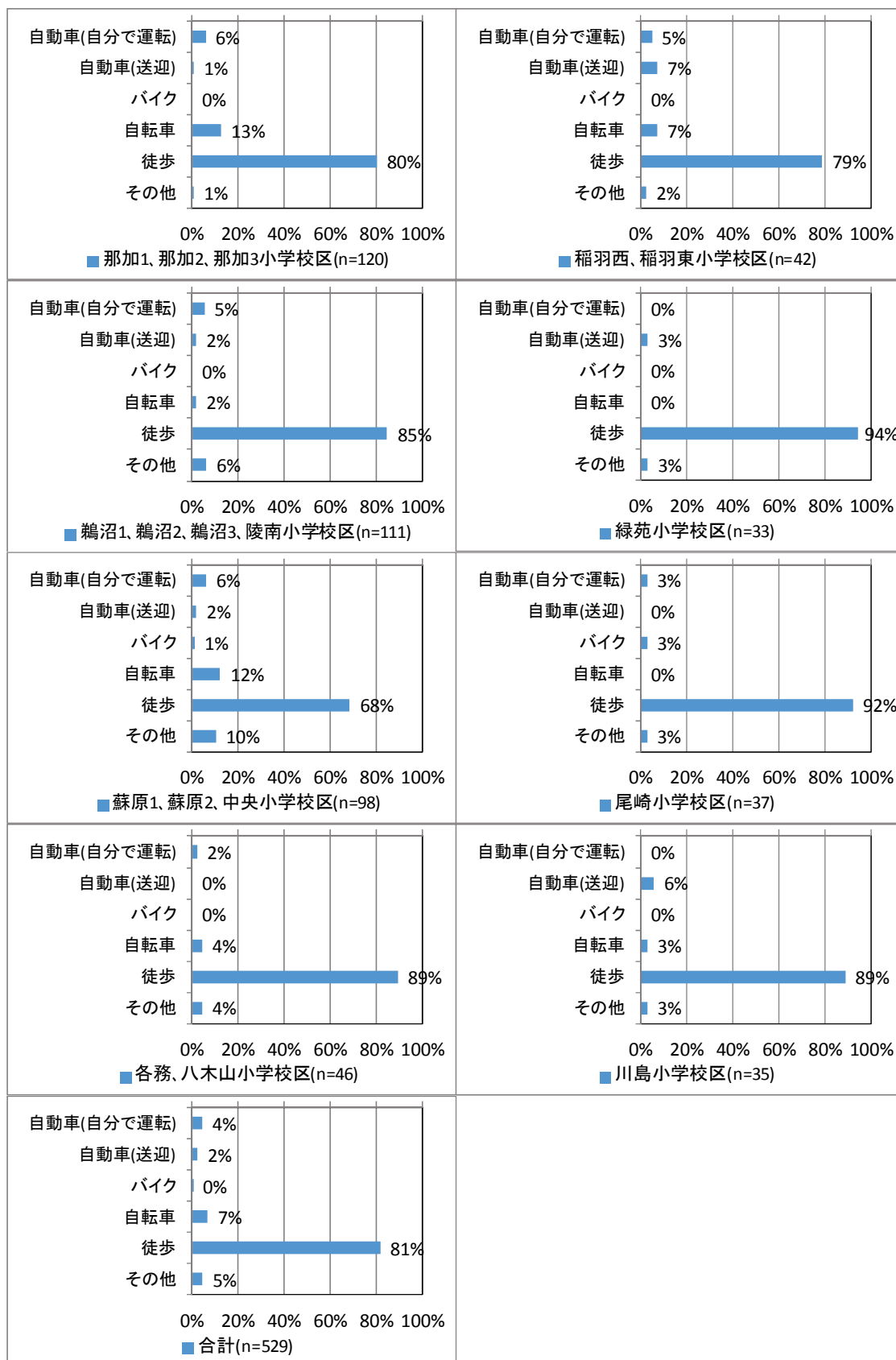
図 日頃利用するバス



●バス停までの交通手段は、全体では徒歩が約81%

バス停までの交通手段では、「徒歩」が中心となり、その他交通手段はほとんど見られない。

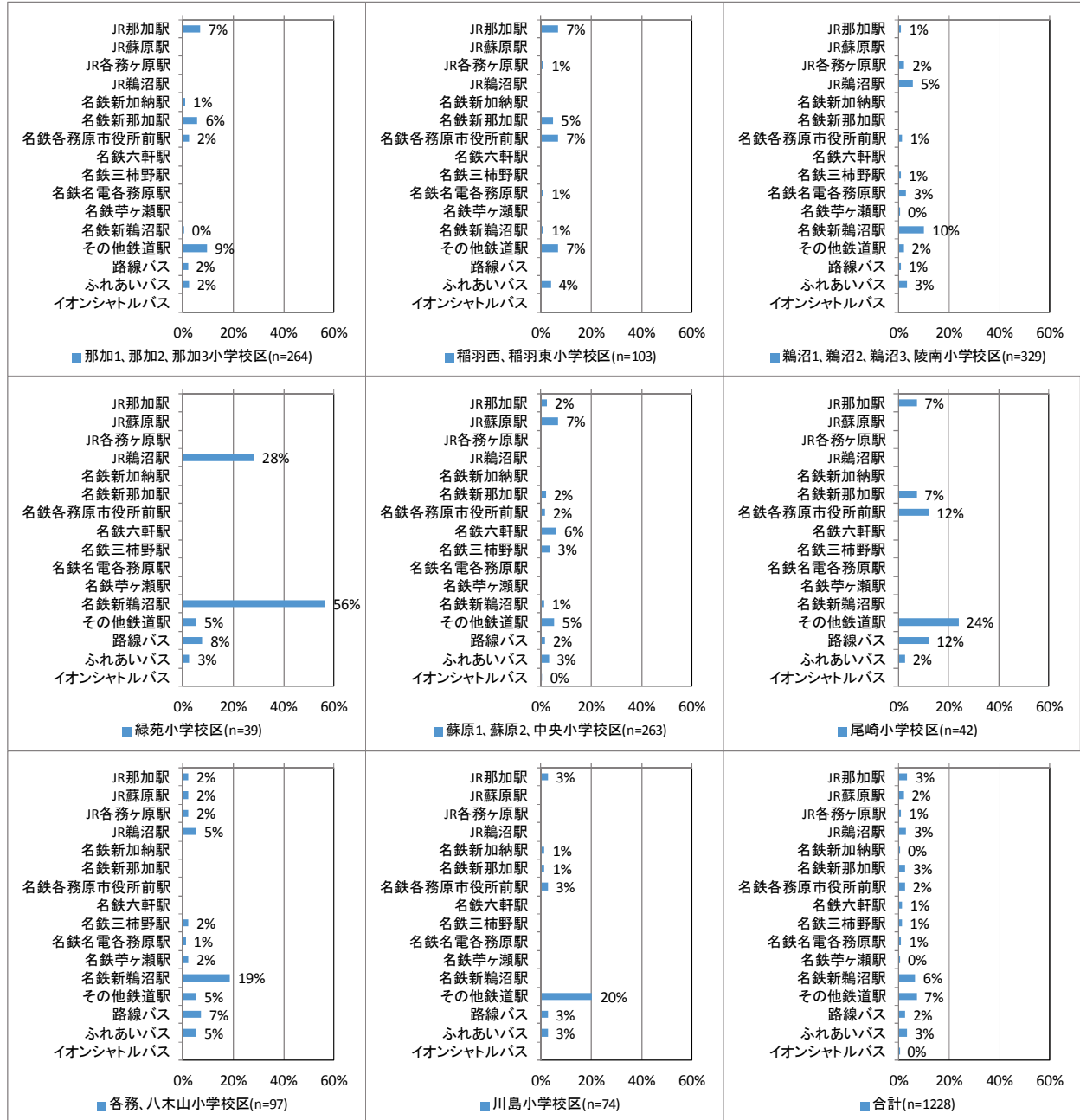
図 バス停までの交通手段



●バス停の主な乗り継ぎ先は、全体では名鉄新鵜沼駅

バス停の主な乗り継ぎ先は、名鉄新鵜沼駅が多く、特に緑苑小学校区では約56%を占める。
 その他鉄道路駅としてはJR岐阜駅、一宮駅等が見られる。

図 乗り継ぎ先



●バス利用のピークは、行きは10時（8%）、帰りは17時（14%）

バスの利用時間帯については、行きは8時～10時の利用が多く、ピークは10時の25%、帰りは15時～17時までの利用が多く、ピークは15時・16時の15%となっている。

図 バスの利用時間帯（行き）

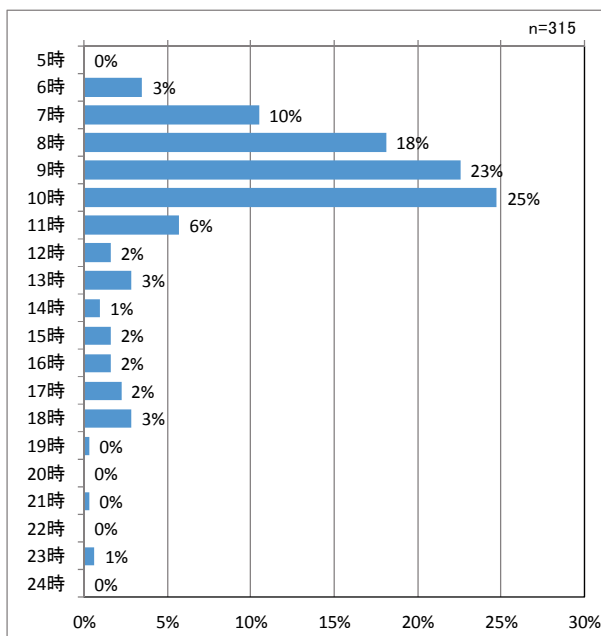
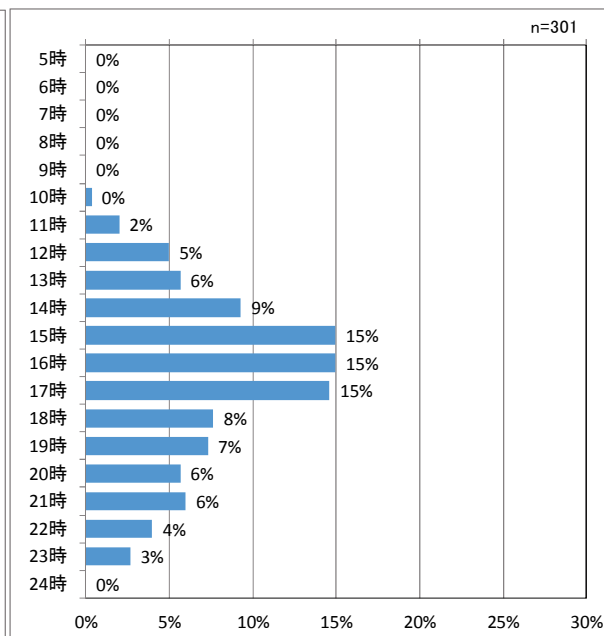


図 バスの利用時間帯（帰り）

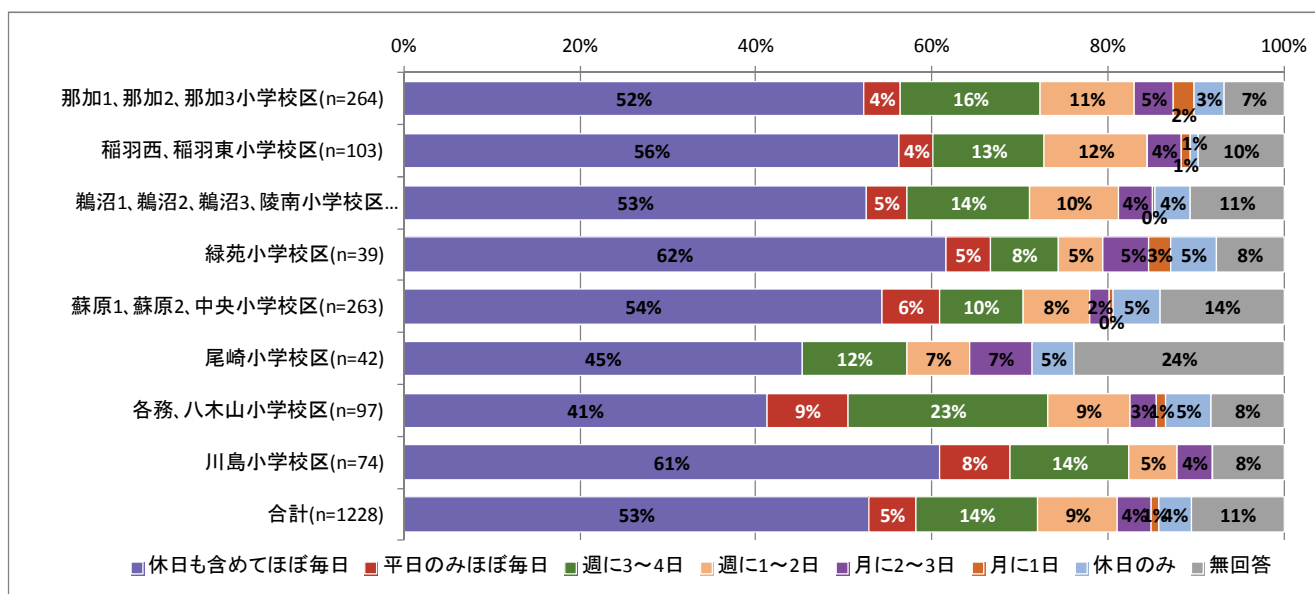


ウ. 自動車の利用状況（問2 2-③）

●週に3～4日以上自動車を利用する人は、全体では約72%

自動車の利用頻度について、比較的利用頻度の高い「週に3～4日」以上に着目すると、全体では約72%と高い割合を示している。特に川島小学校区では約82%と、各小学校区の中で最も高い割合を占めている。

図 自動車の利用頻度

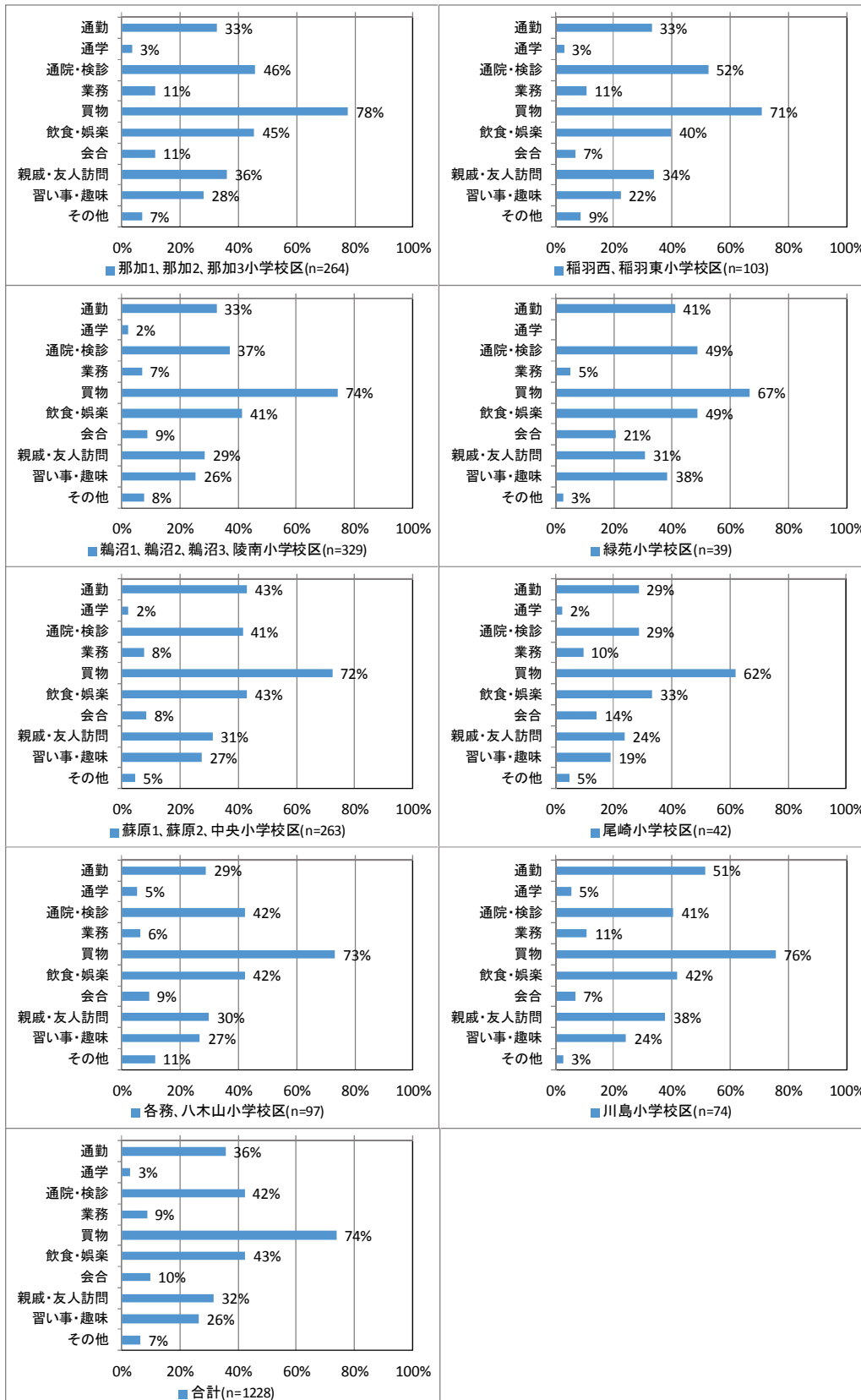


●各校区とも、「通勤」、「通院・検診」「買物」「飲食・娯楽」目的の利用が多い

自動車の利用目的については、各小学校区ともに、「通勤」、「通院・検診」、「買物」、「飲食・娯楽」の割合が他の項目に比べ高くなっている。

特に、「買物」は各小学校で最も高い割合を占めている。

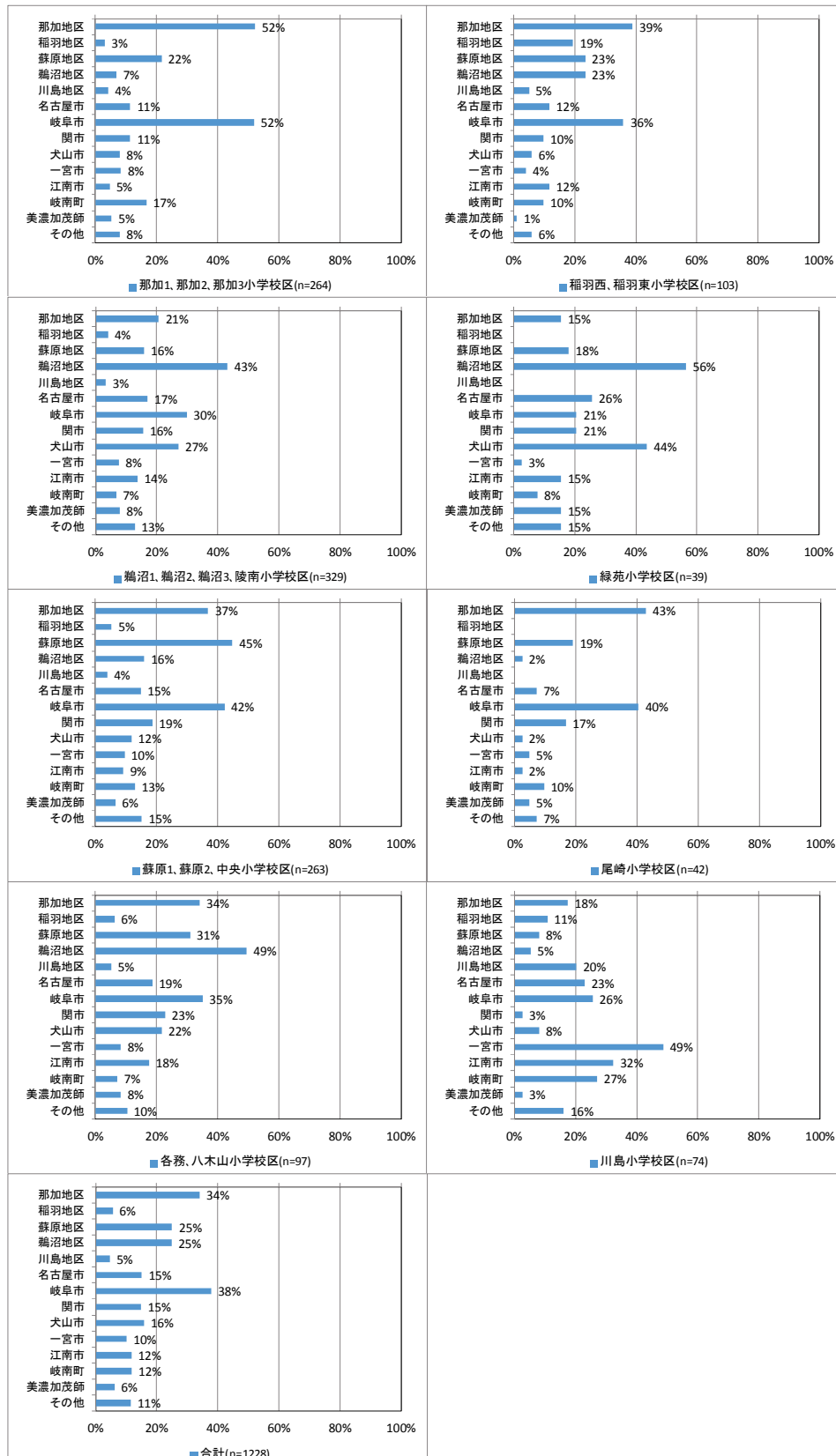
図 自動車の利用目的



●全体では、「那加地区」「岐阜市」を目的地とした利用が多い

自動車利用時の目的地については、全体では「岐阜市」が約 38%、「那加地区」が約 34%となっている。「那加地区」では「市役所」「図書館」「総合体育館」といった公共施設や、「イオンモール各務原」を目的地とした利用が多くみられる。

図 自動車利用時の目的地



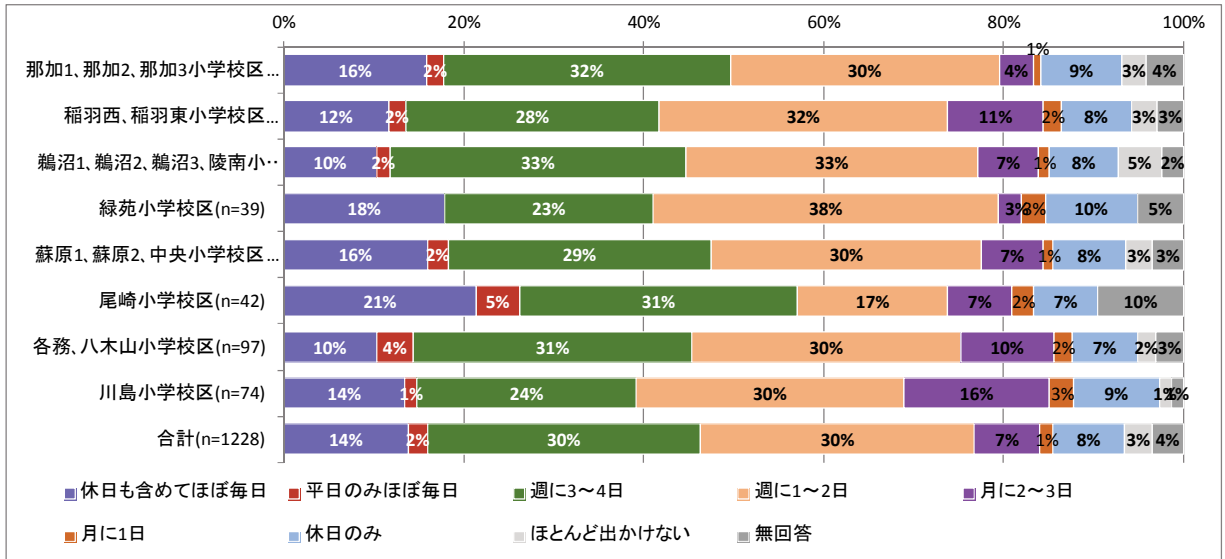
エ. 買物状況（問2 2-④）

●買物の頻度は、全体では週に3～4日以上及び週に1～2日がそれぞれ約30%

買物の頻度は、全体では週に3～4日及び週に1～2日がそれぞれ約30%となっている。

小学校区別では、緑苑小学校区で週に1～2日が約38%、尾崎小学校区で休日を含めてほぼ毎日が約21%と、他の小学校区と比べて高い割合を占めている。

図 買物に出かける頻度



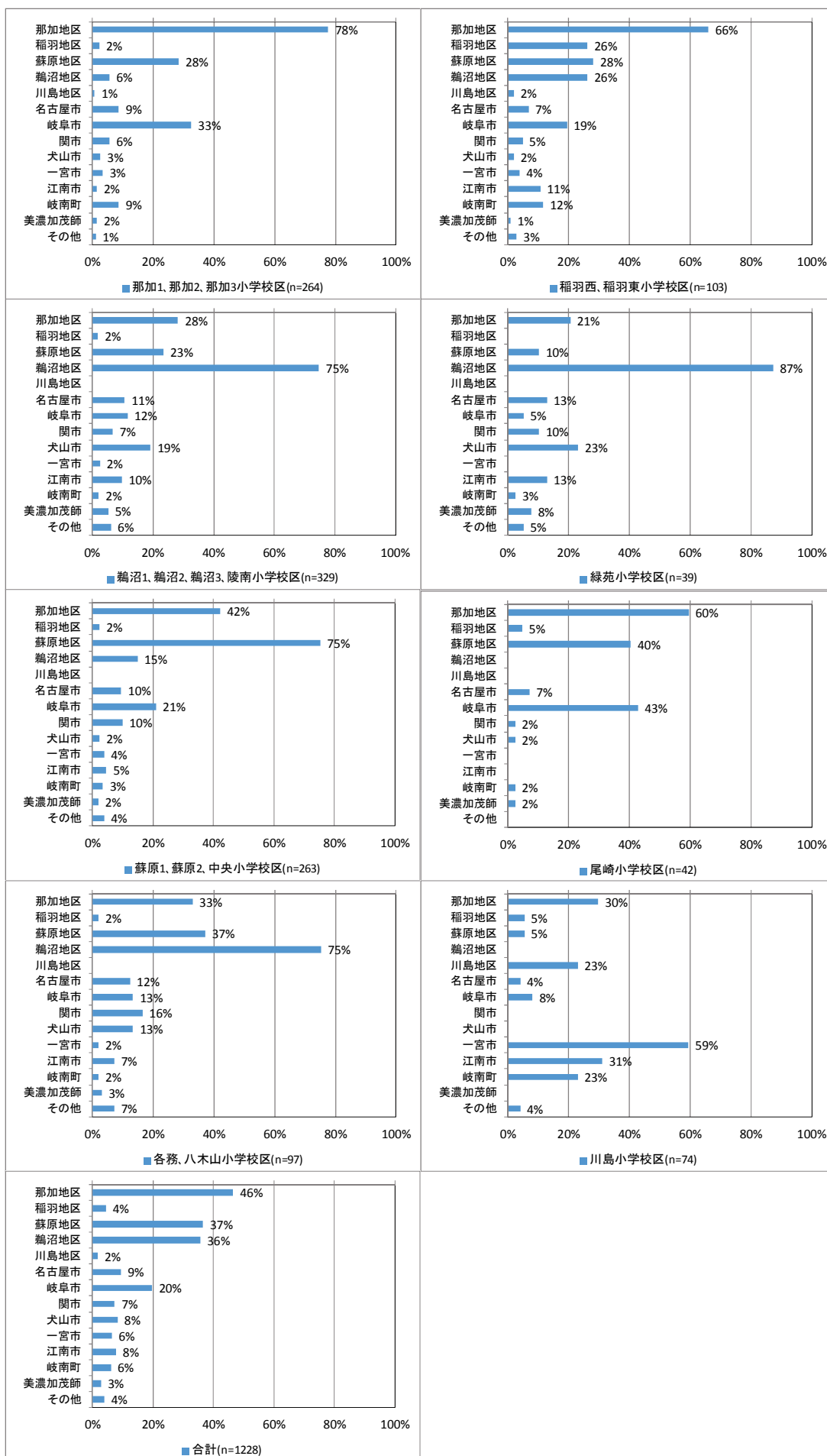
●買物先は、全体では、那加地区が約46%、蘇原地区が約37%、鶺沼地区が約36%

買物先は、全体では、那加地区が約46%、蘇原地区が約37%、鶺沼地区が約36%と3地区の占める割合が高く、次いで岐阜市の約20%となっている。

那加地区では、「イオンモール各務原」、「ピアゴ」、「マックスバリュ」等のショッピングセンターが多く利用されている。また、蘇原地区では「バロー」、「スーパー三心」、「マックスバリュ」等が、鶺沼地区では「アピタ」、「ハローフーズ」、「平和堂」等が利用されている。

小学校区別では、鶺沼1、鶺沼2、鶺沼3、陵南小学校区及び緑苑小学校区では犬山市が、川島小学校区では一宮市及び江南市での買物が他の小学校区に比べ多くなっている。

図 買物先



●買物の交通手段は、全体では自動車が約 86%

買物の交通手段では、全体では自動車（自分で運転）が約 72%、自動車（送迎）及び自転車が約 14%となっている。

小学校区別では、尾崎小学校区で路線バスが約 17%、ふれあいバスが約 10%、バス利用の合計が約 28%と、他の小学校区に比べバス利用の割合が高くなっている。

また、買物の交通手段を年齢別にみると、非高齢者の方に比べ高齢者の方の自動車（自分で運転）の割合が低く、路線バス、ふれあいバス等の自動車（自分で運転）以外の交通手段の割合が高くなっている。

図 買物の交通手段【小学校区別】

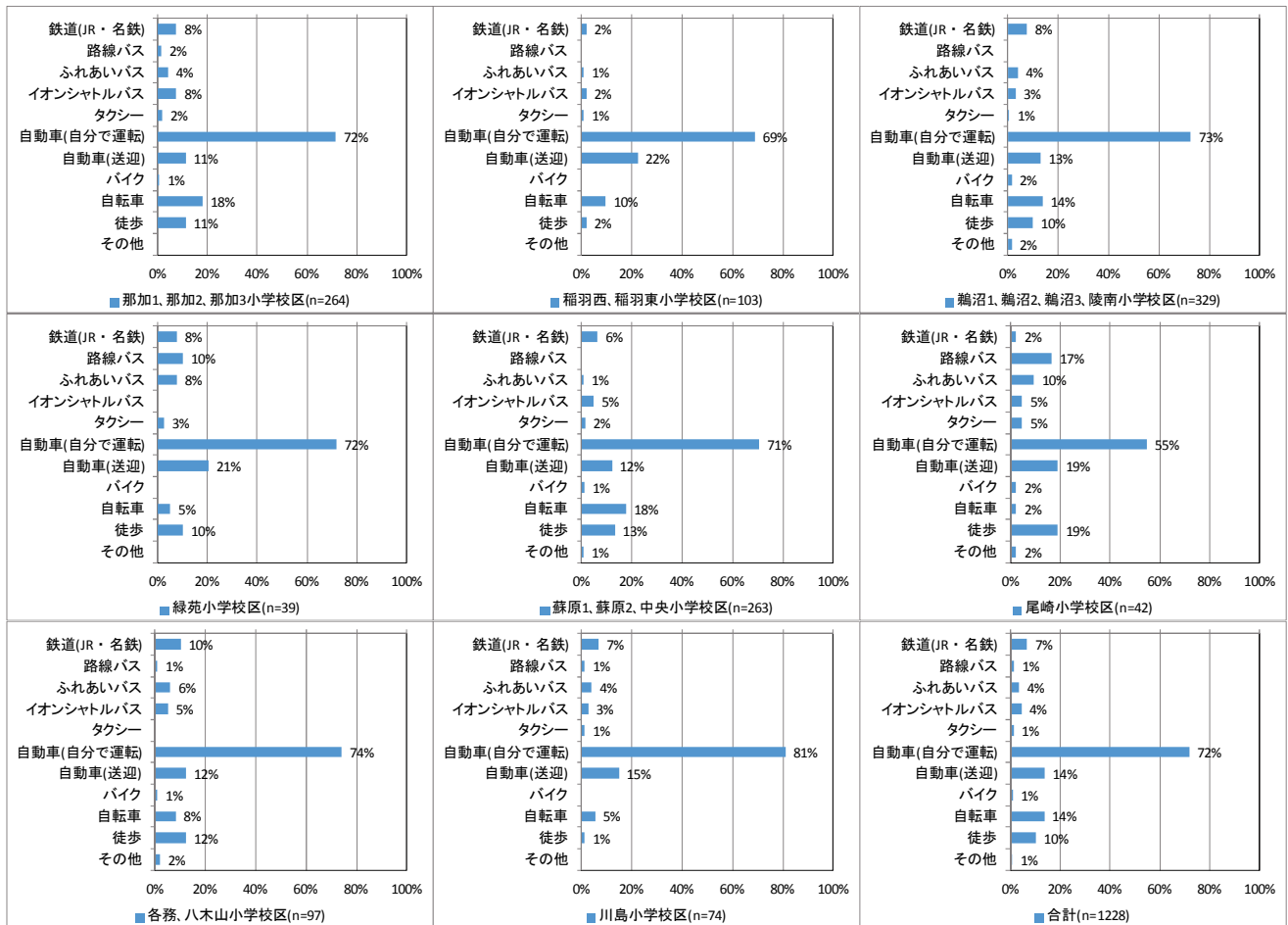
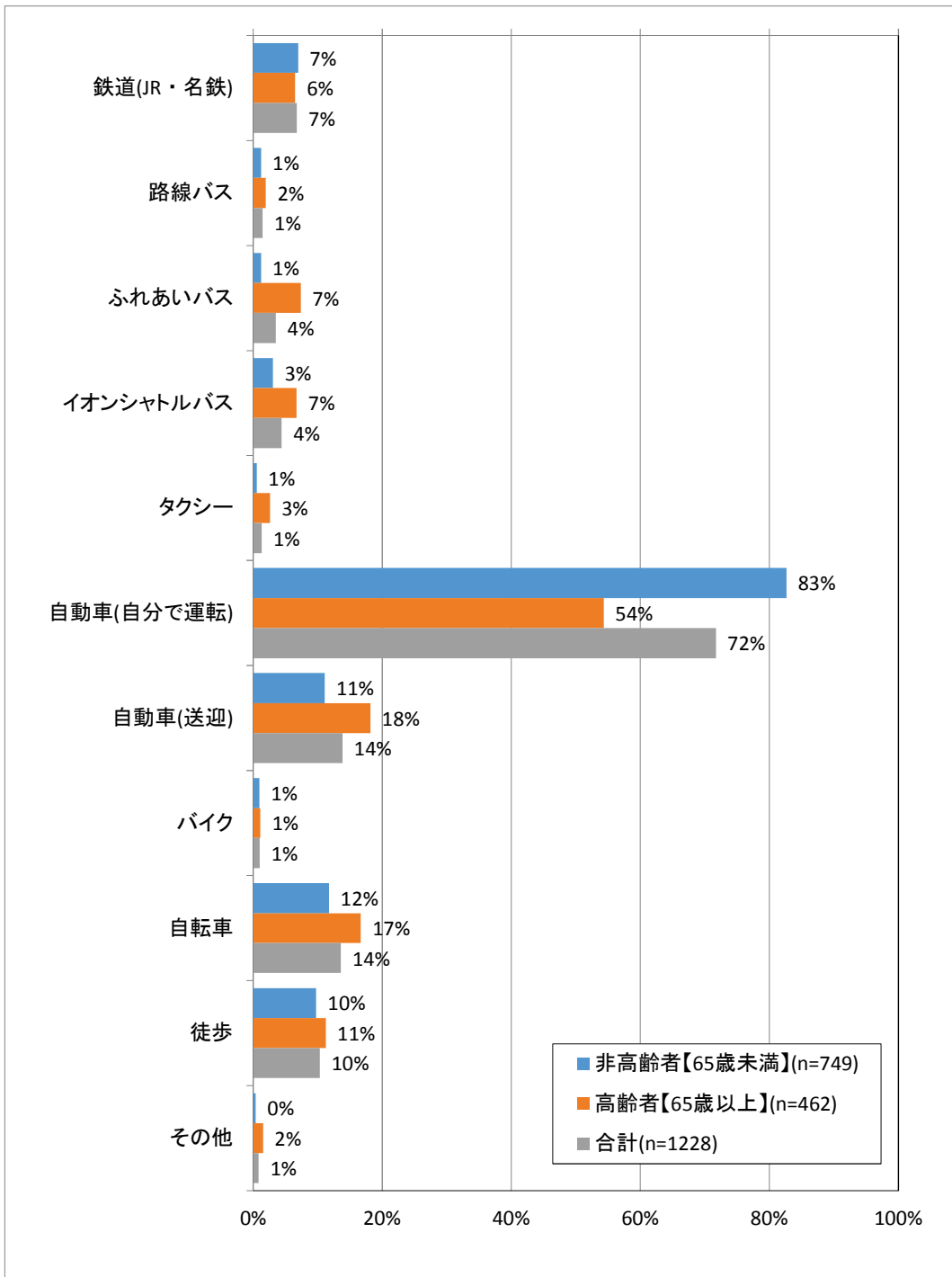


図 買物の交通手段【年齢別】



●よく買物に出かける時間帯は、平日は朝 10 時～11 時頃及び夕方 5 時以降、休日は朝 10 時～11 時頃

よく買物に出かける時間帯は、平日、休日ともに朝 10 時～11 時頃が多く、平日は、これに加え夕方 5 時以降の買物も多くなっている。

小学校区別では、緑苑小学校区では、平日はお昼前後が約 31%で最も多くなっている。

平日と休日を比べると、平日は休日に比べ朝 10 時～11 時頃の割合が若干低く、夕方 5 時以降の割合が高くなっている。

図 よく買物に出かける時間帯【平日】

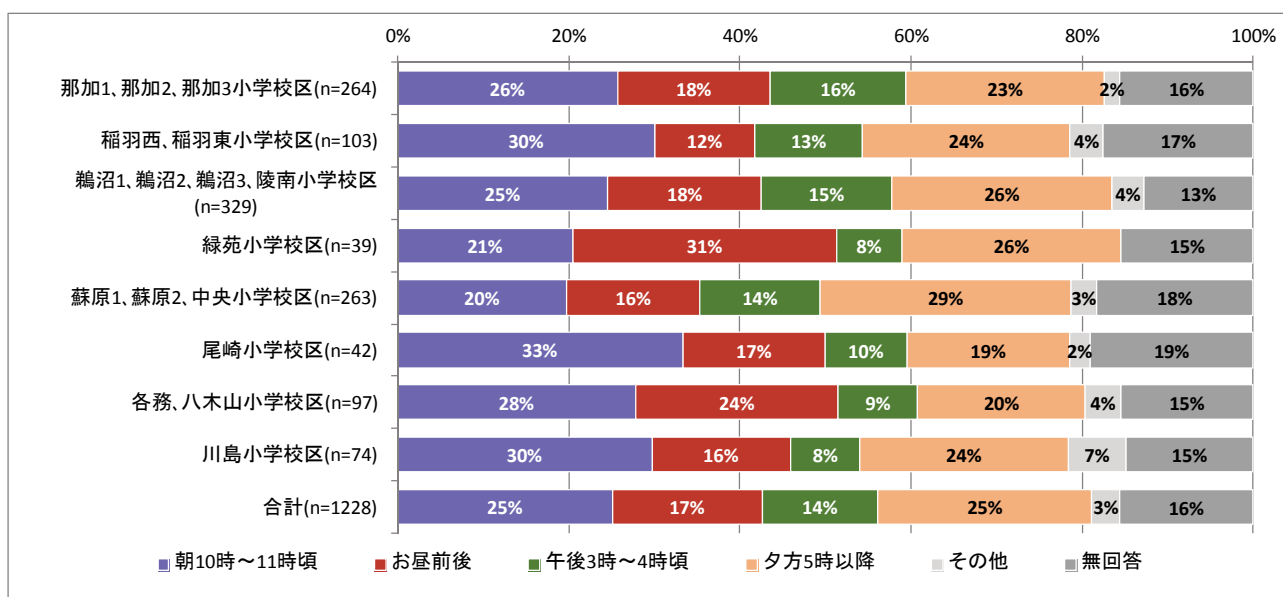
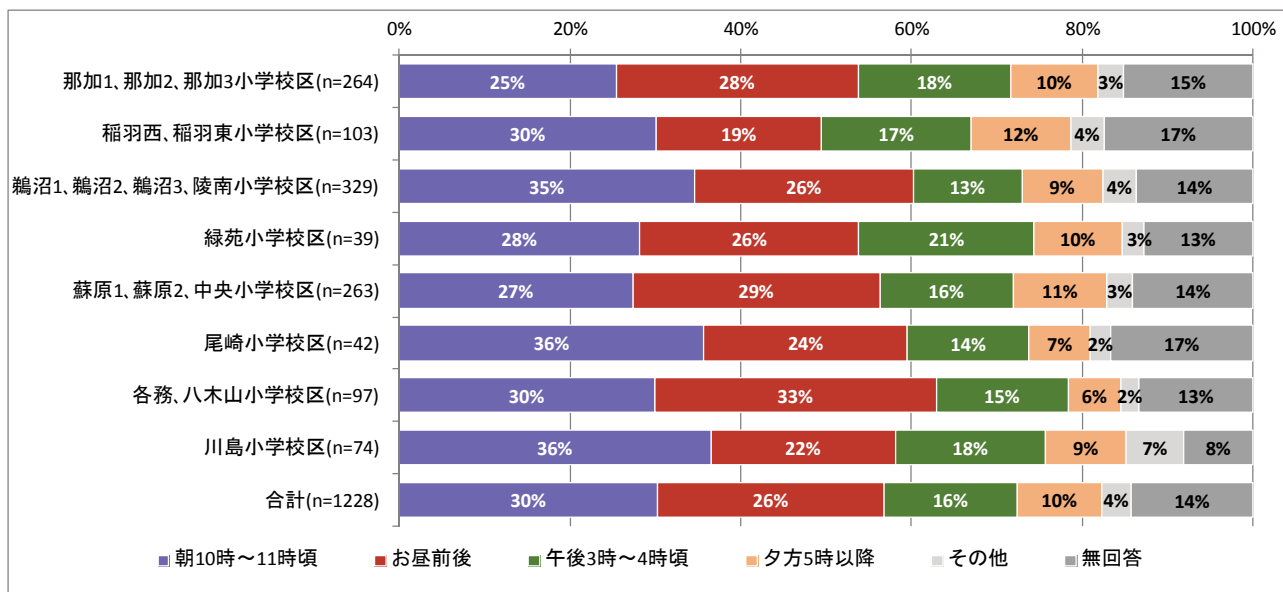


図 よく買物に出かける時間帯【休日】

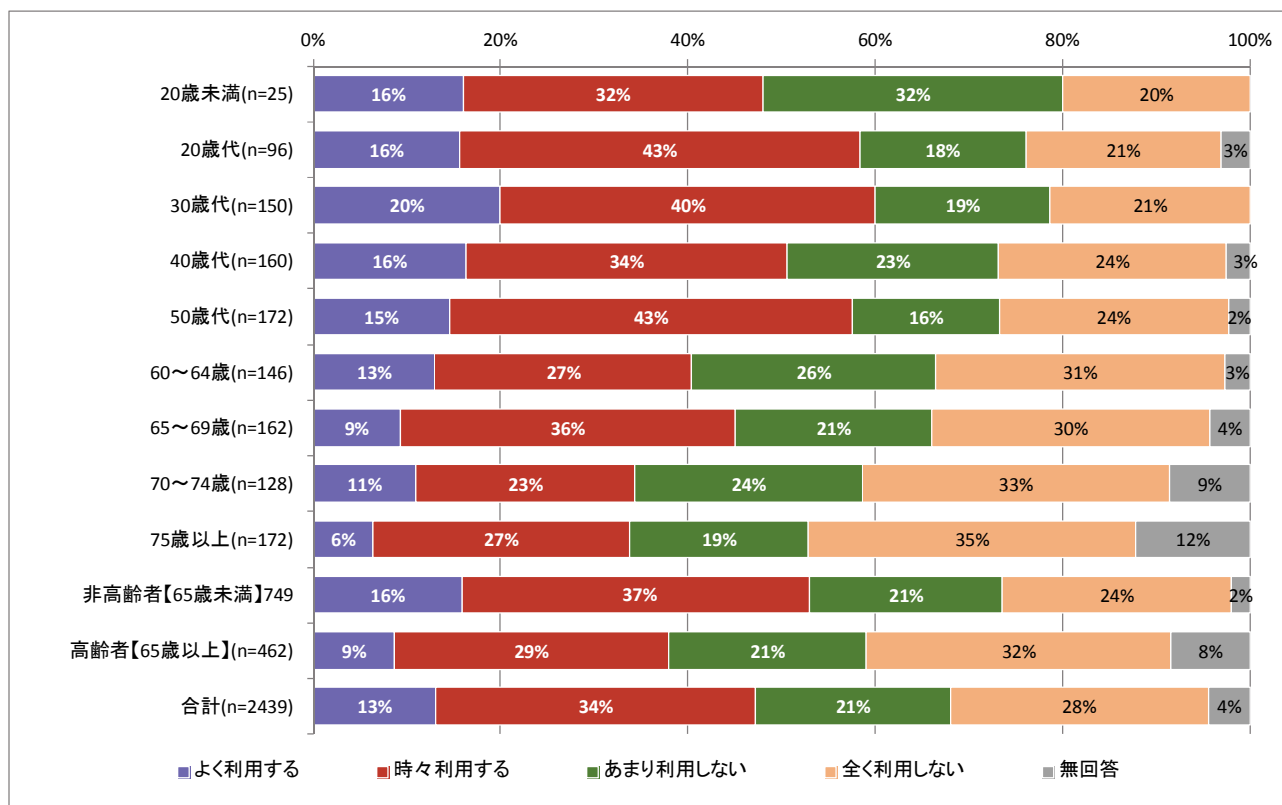


●宅配・通販サービスの利用は、65歳未満ではよく利用する、時々利用する、あわせて約53%、65歳以上では約38%

宅配・通販サービスについては、65歳未満ではよく利用する、時々利用する、あわせて約53%、65歳以上では約38%と65歳未満での利用割合が高くなっている。

また、各年代別では20歳代～50歳代までは、50～60%の利用がみられるが、60歳以上では利用率が30～40%程度まで下がっている。

図 宅配・通販サービスの利用

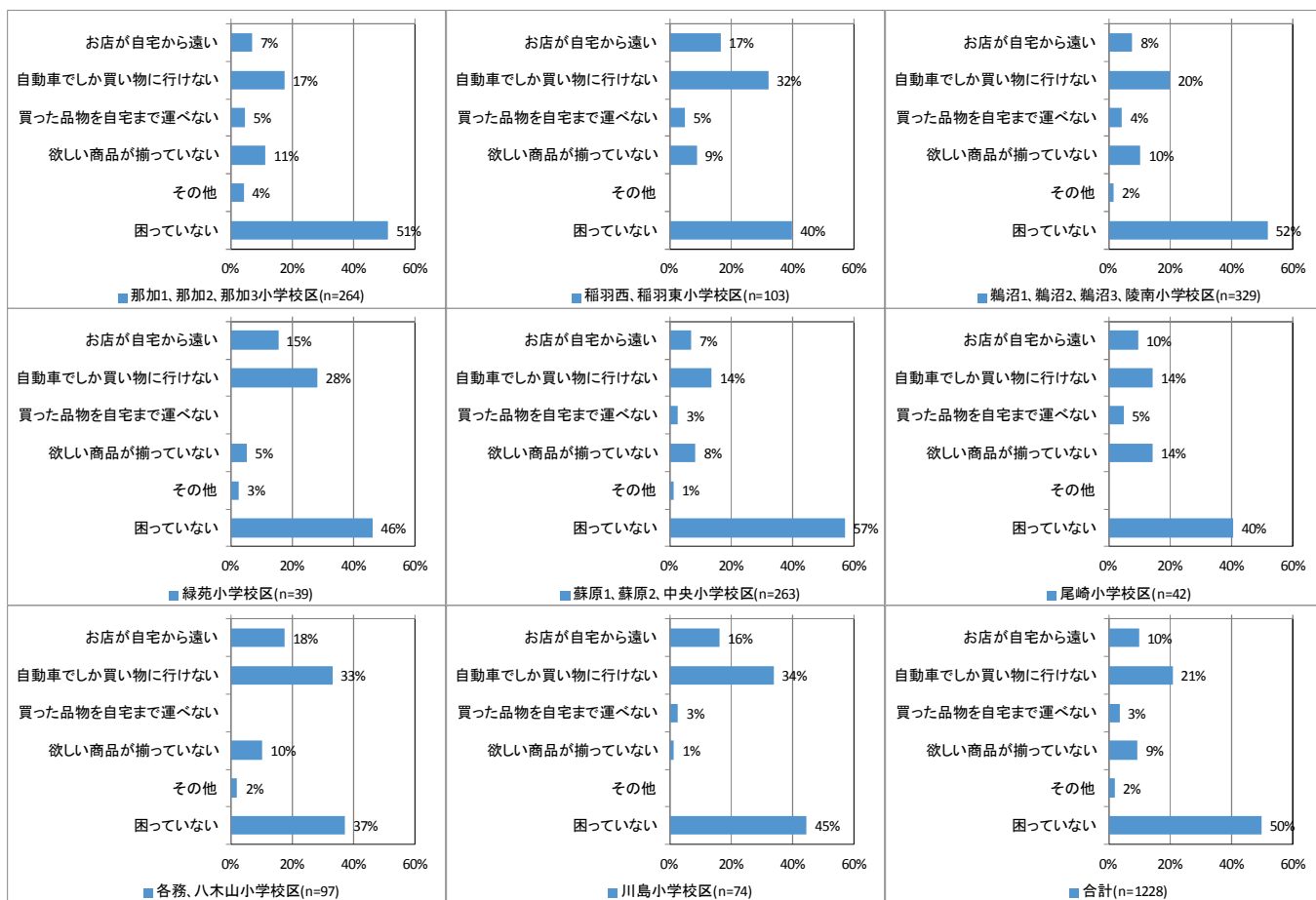


●日頃の買物で困った点や不便な点で最も多いのは、自動車でしか買物にいけないこと

日頃の買物で困った点や不便な点で最も多いのは、自動車でしか買物にいけないことであり、全体では約 21%、小学校区別では稲羽西、稲羽東小学校区、各務、八木山小学校区及び川島小学校区で 30%以上となっている。

また、お店が自宅から遠い、欲しい商品が揃っていない等の回答も比較的多くなっている。

図 日頃の買物で困った点や不便な点

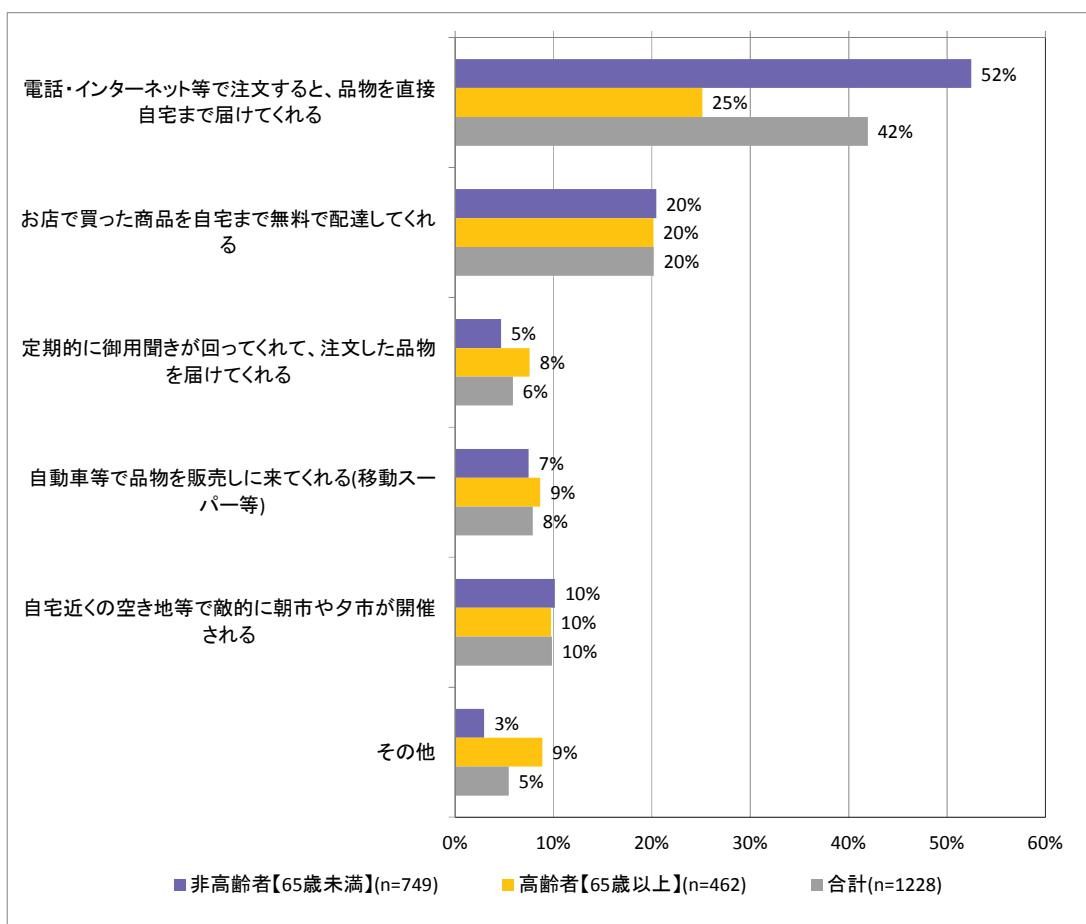


●最も利用したい買物サービスは、65 歳未満、65 歳以上ともに、「電話・インターネット等で注文すると、品物を直接自宅まで届けてくれる」サービス

最も利用したい買物サービスは、65 歳未満、65 歳以上ともに、「電話・インターネット等で注文すると、品物を直接自宅まで届けてくれる」サービスであり、65 歳未満では約 52%、65 歳以上では約 25%である。

その他のサービスについては、65 歳未満、65 歳以上でほぼ同程度となっている。

図 最も利用したい買物サービス



オ. 通院状況（問2 2-⑤）

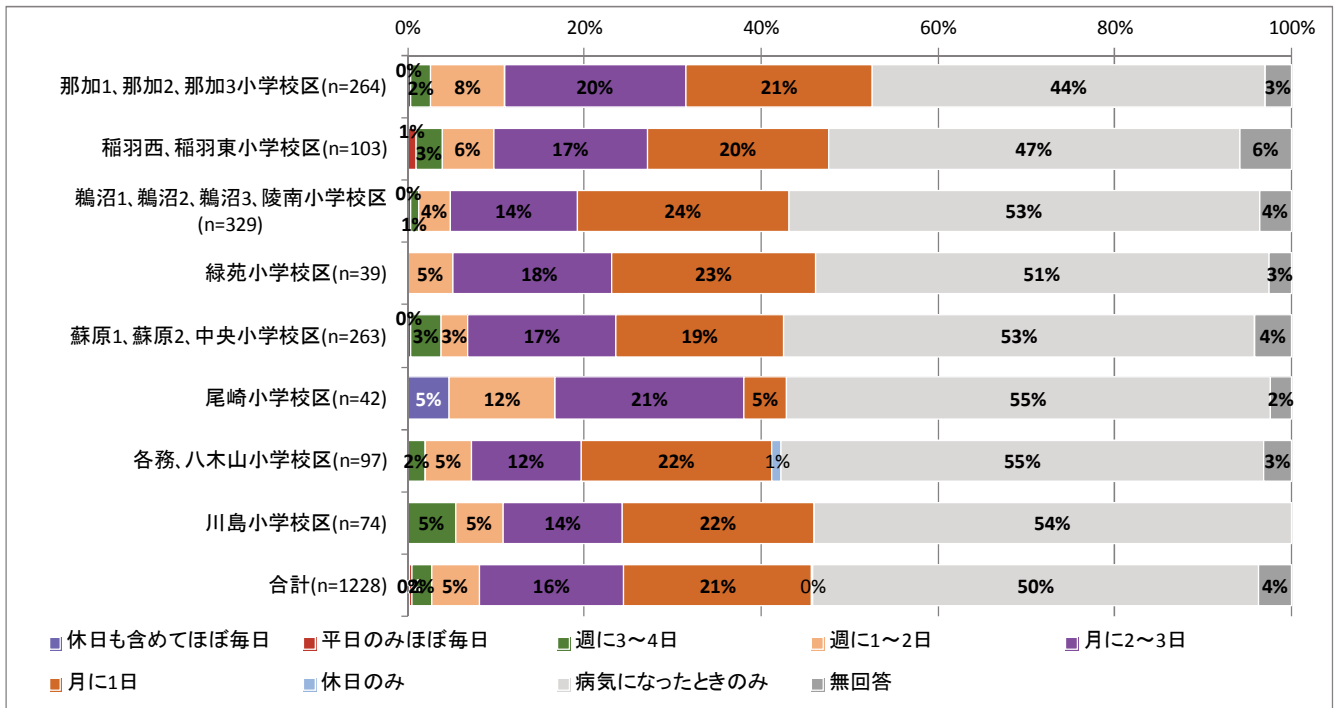
●通院に出かける頻度は、病気になったときのみが約50%、月に1日が約21%

通院に出かける頻度は、全体では病気になったときのみが約50%、月に1日が約21%となっている。

小学校区別にみても、病気になったときのみと回答した方が最も多くなっている。

尾崎小学校区では、週に1日以上通院している割合が17%と、他の小学校区に比べ高くなっている。

図 通院に出かける頻度



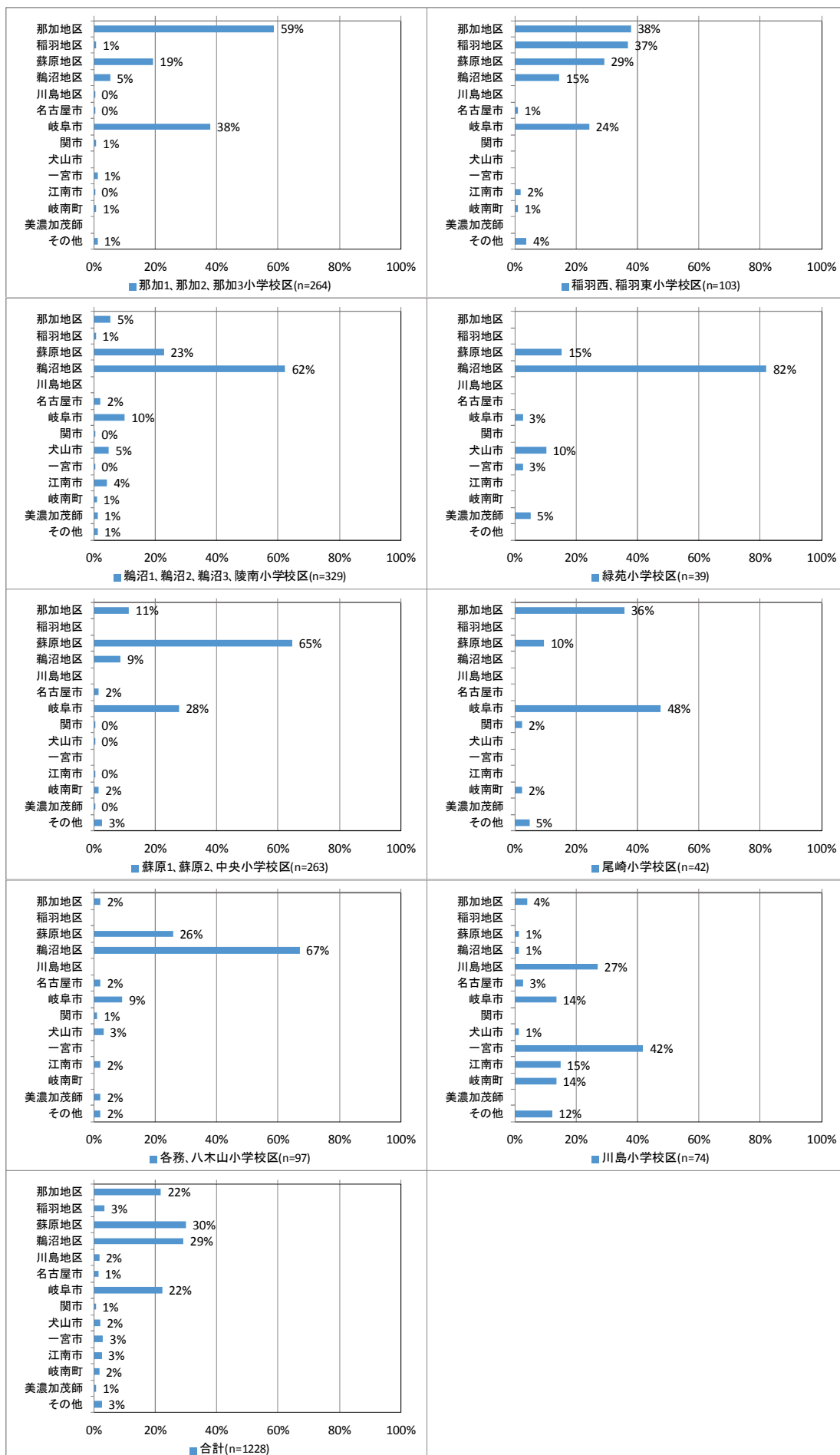
●通院先は、全体では、蘇原地区が約30%、鶺沼地区が約29%、那加地区及び岐阜市が約22%

通院先は、全体では、蘇原地区が約30%、鶺沼地区が約29%、那加地区及び岐阜市が約22%と4地区が大部分を占めている。

蘇原地区では、「東海中央病院」が多く利用されている。

小学校区別では、緑苑小学校区では犬山市への通院が、川島小学校区では一宮市、江南市及び岐南町への通院が他の小学校区より多くみられる。

図 通院先



●通院の交通手段は、全体では自動車が約 85%

通院の交通手段では、全体では自動車（自分で運転）が約 67%、自動車（送迎）が 18%、次いで自転車及び徒歩がそれぞれ約 11%となっている。

小学校区別では、尾崎小学校区で路線バスが約 24%、ふれあいバスが約 12%バス利用の合計が約 36%と、他の小学校区に比べバス利用の割合が高くなっている。

また、通院の交通手段を年齢別にみると、非高齢者の方に比べ高齢者の方の自動車（自分で運転）の割合が低く、路線バス、ふれあいバス等の割合が高くなっている。

図 通院の交通手段【小学校区別】

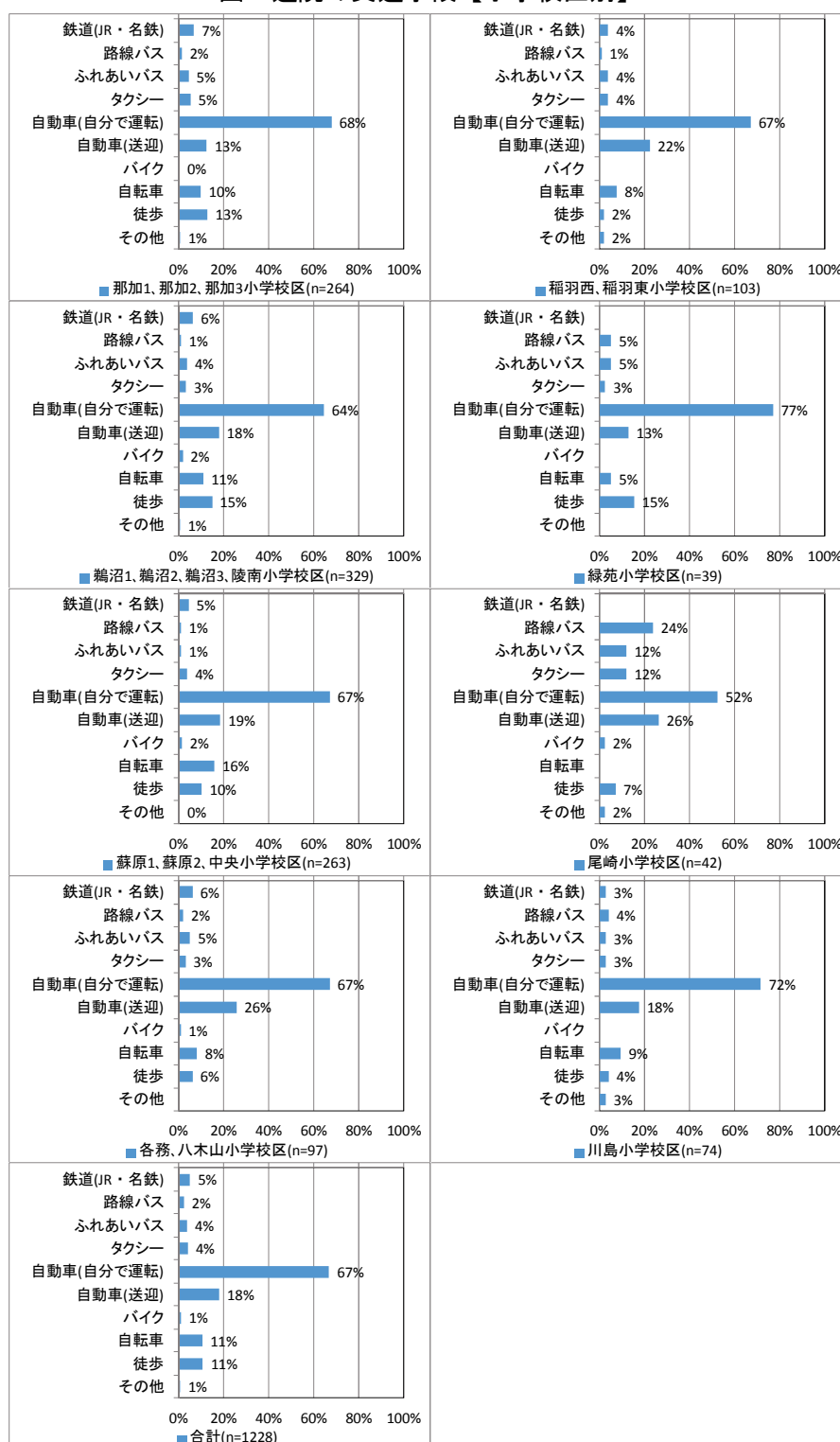
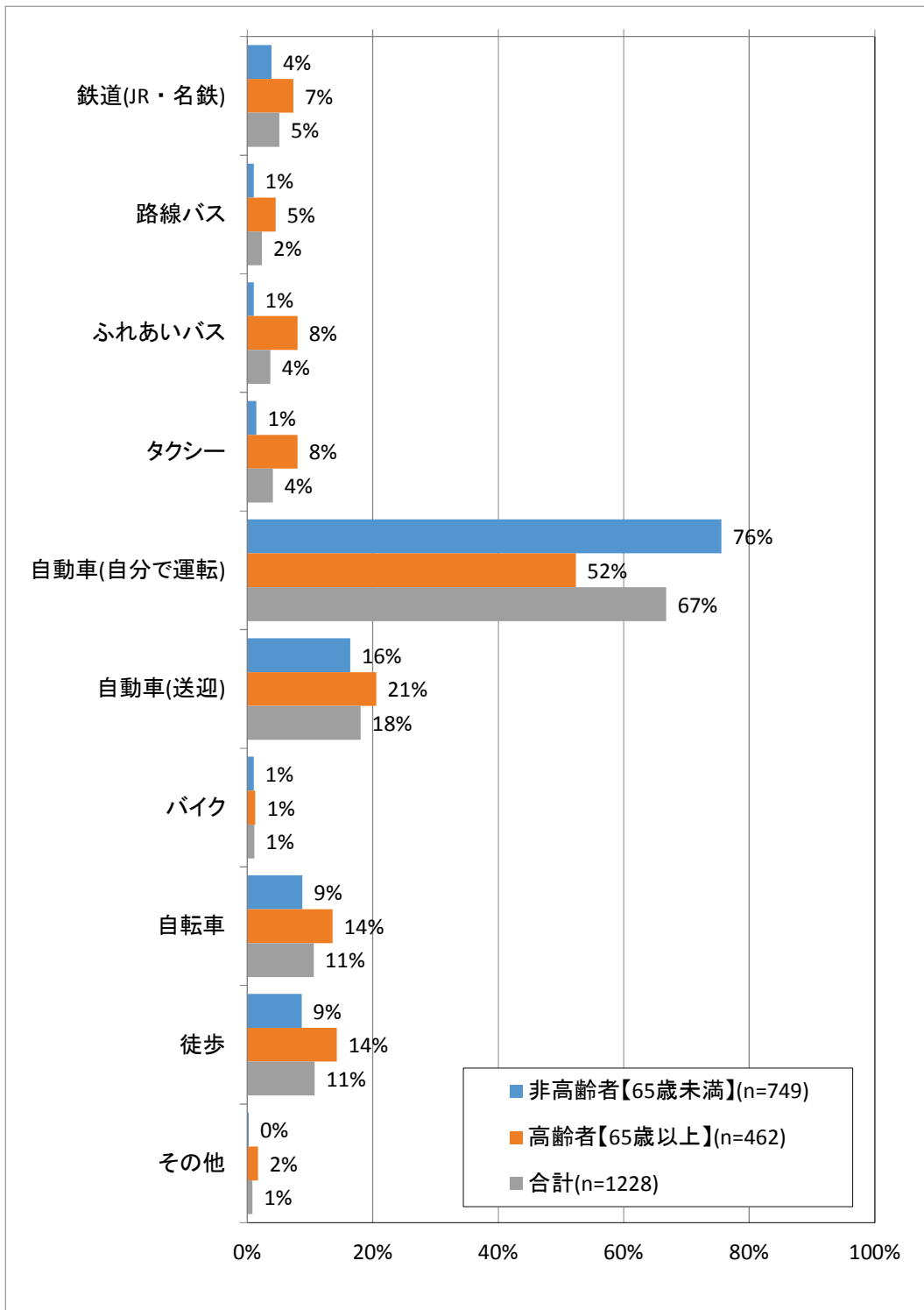


図 通院の交通手段【年齢別】



●よく通院に出かける時間帯は、平日 休日ともに朝 10 時～11 時頃

よく通院に出かける時間帯は、平日、休日ともに朝 10 時～11 時頃が多くなっている。
また、平日には夕方 5 時以降の通院も多くなっている。

図 よく通院に出かける時間帯【平日】

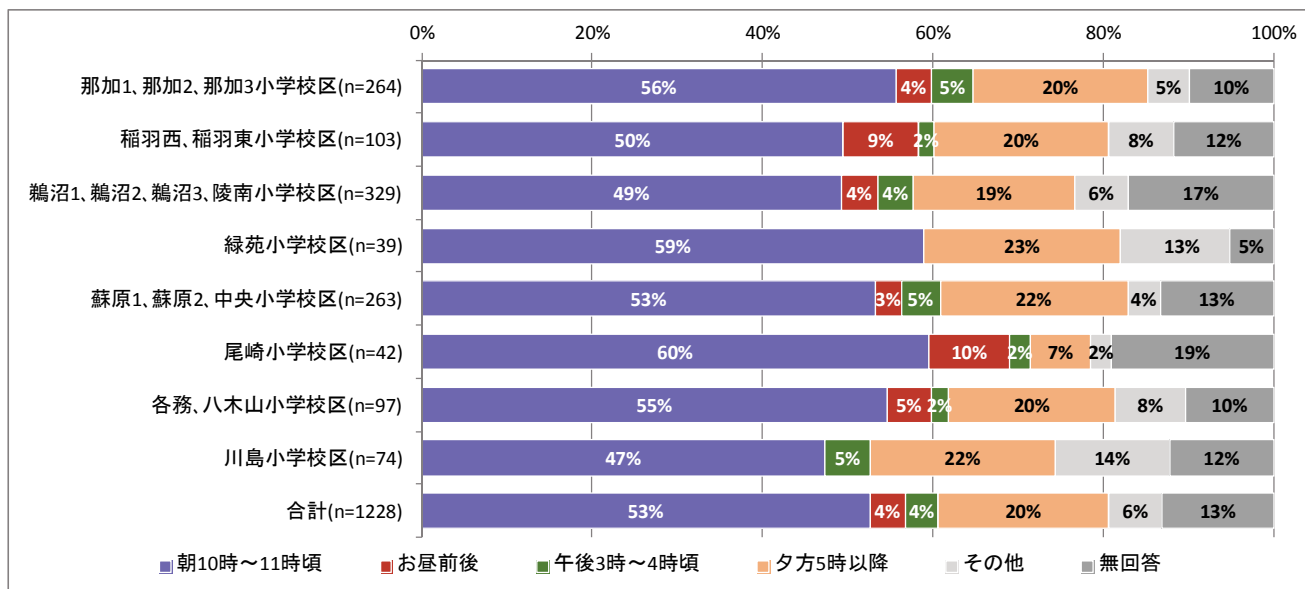
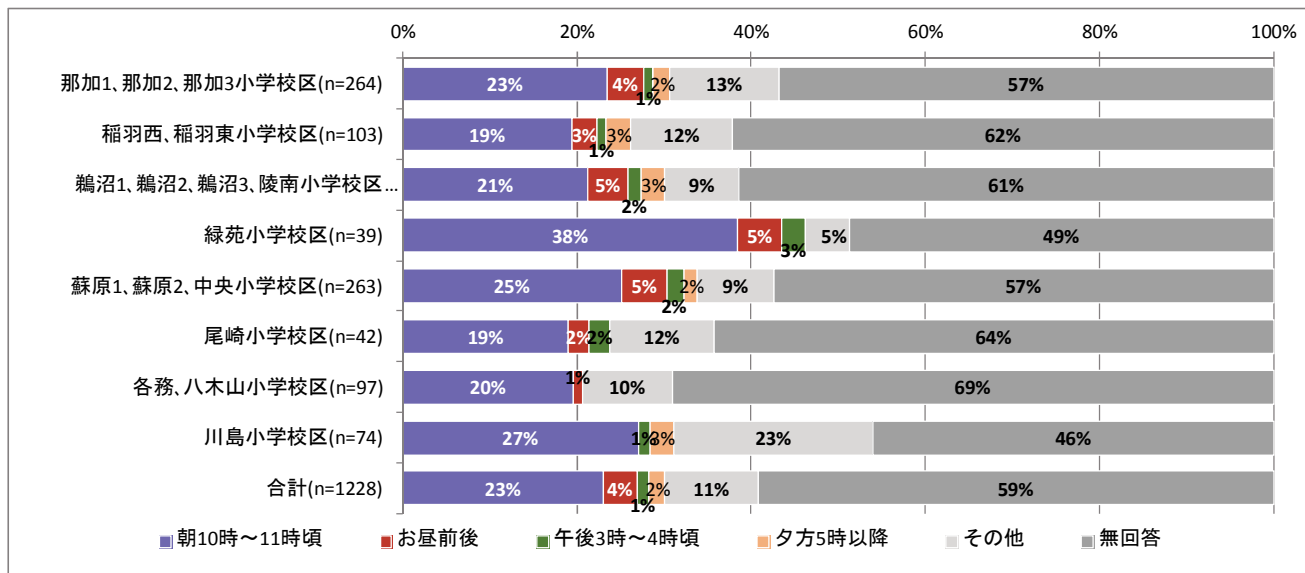


図 よく通院に出かける時間帯【休日】



③-3. アンケート回答者について (問3 3-①~②)

ア. 鉄道の満足度と重要度 (問3 3-①)

■ JR 高山本線

● 不満度、重要度ともに高い項目は、運行本数、自宅から駅までの利便性、時刻表や乗り継ぎの情報案内

JR 高山本線で不満度が高く、重要度が高い項目は、「運行本数」、「自宅から駅までの利便性」及び「時刻表や乗り継ぎの情報案内」となっている。

また、重要度が一番高い項目は「運行本数」、不満度が一番高い項目は「駅の自動車駐車場」となっている。

図 JR 高山本線の満足度と重要度の相関関係【全小学校区】

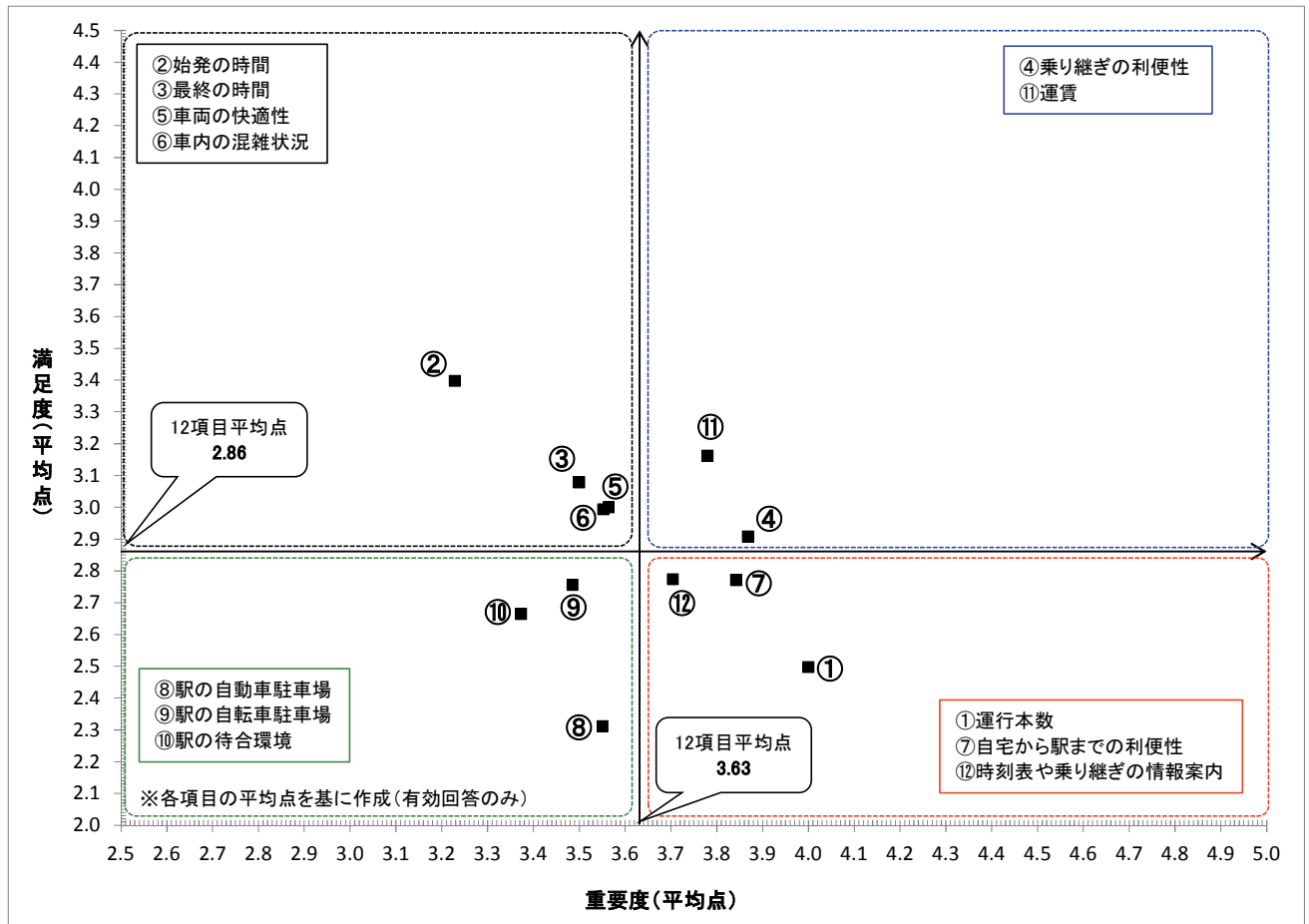


図 JR 高山本線の満足度【全小学校区】

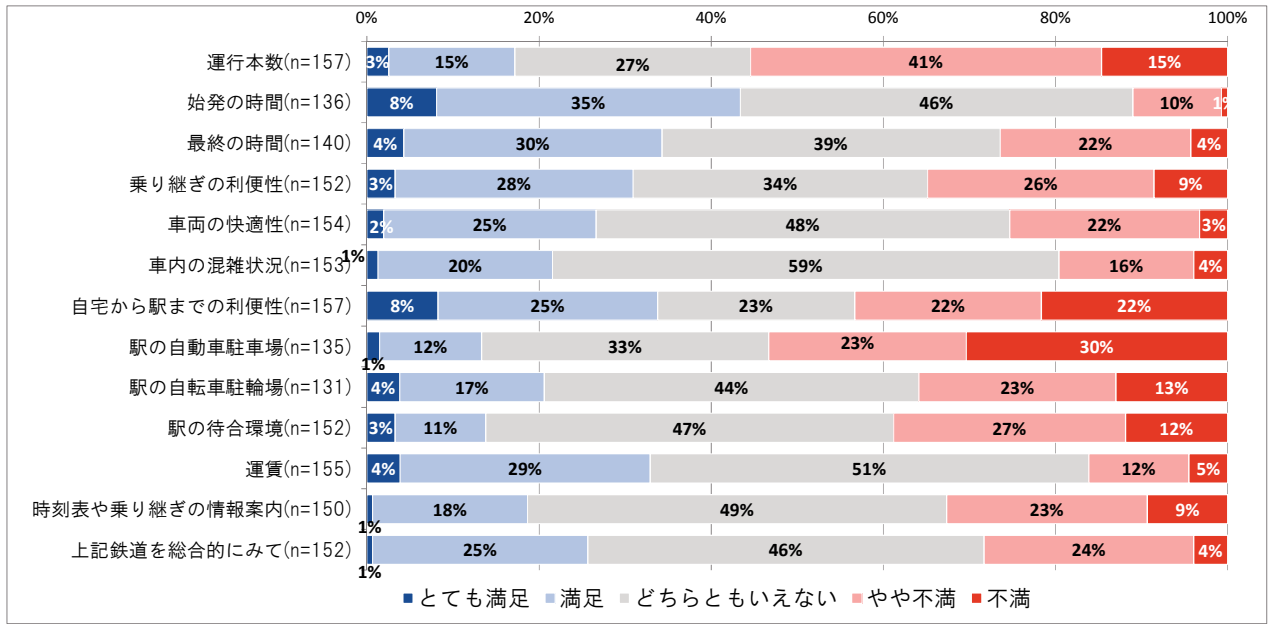
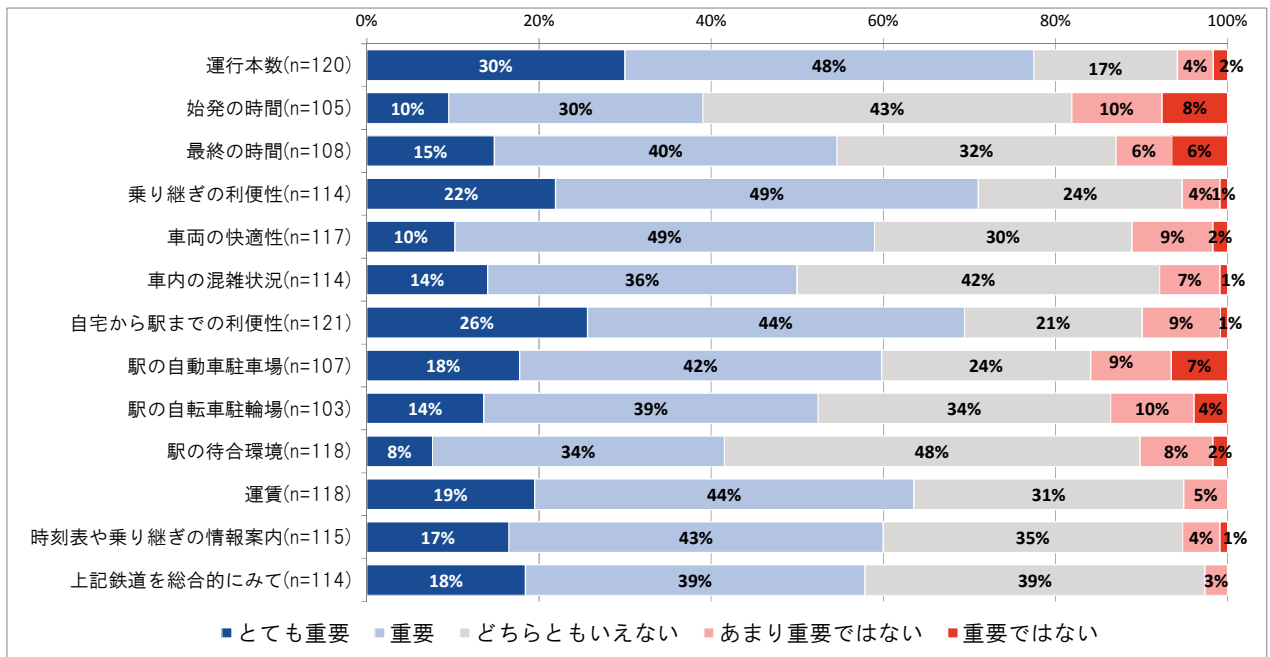


図 JR 高山本線の重要度【全小学校区】



■名鉄犬山線

●不満度、重要度ともに高い項目は、自宅から駅までの利便性、駅の自動車駐車場、運賃

名鉄犬山線で不満度が高く、重要度が高い項目は、「自宅から駅までの利便性」、「駅の自動車駐車場」及び「運賃」となっている。

また、重要度が一番高い項目は「運行本数」、不満度が一番高い項目は「駅の自動車駐車場」となっている。

図 名鉄犬山線の満足度と重要度の相関関係【全小学校区】

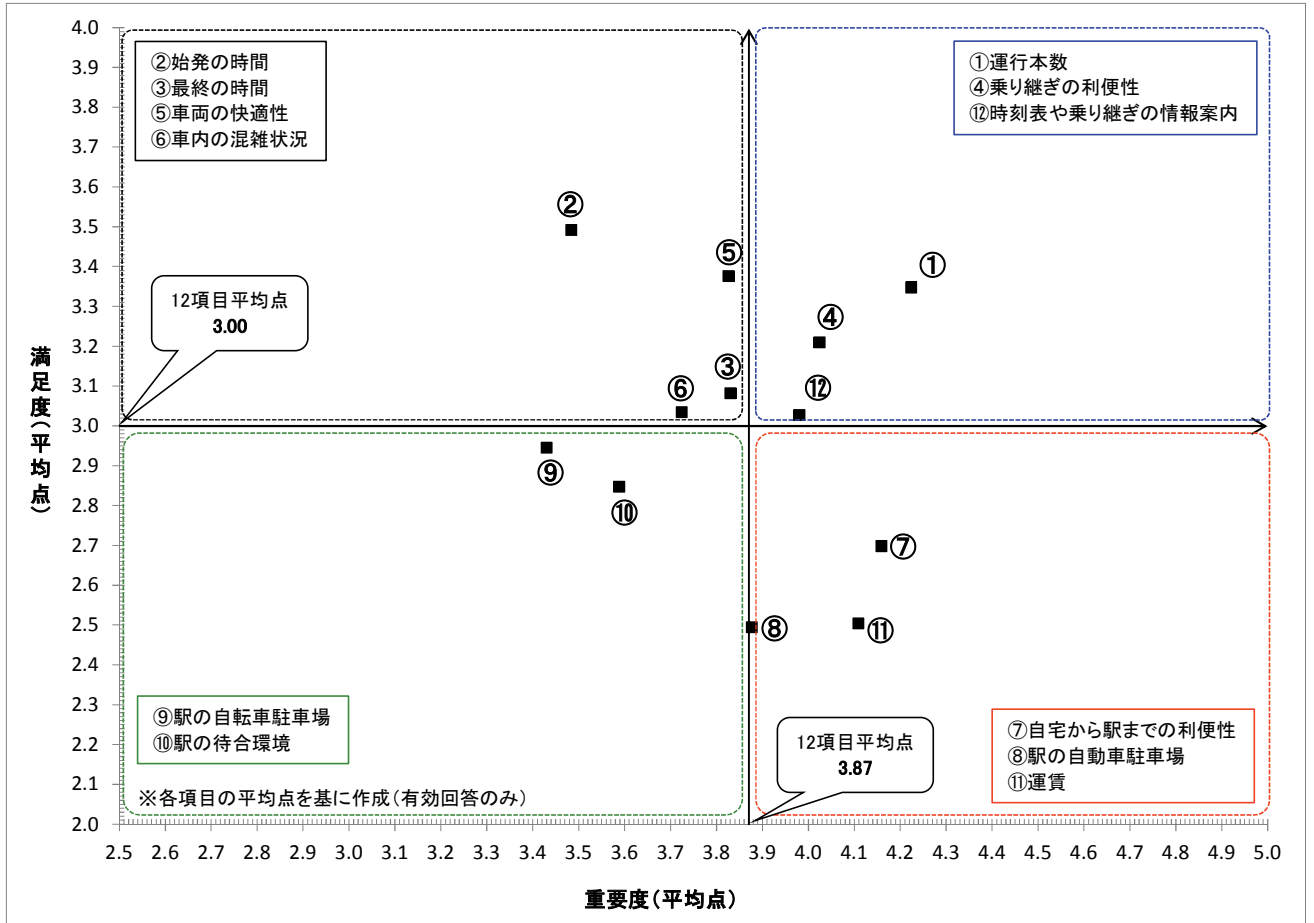


図 名鉄犬山線の満足度【全小学校区】

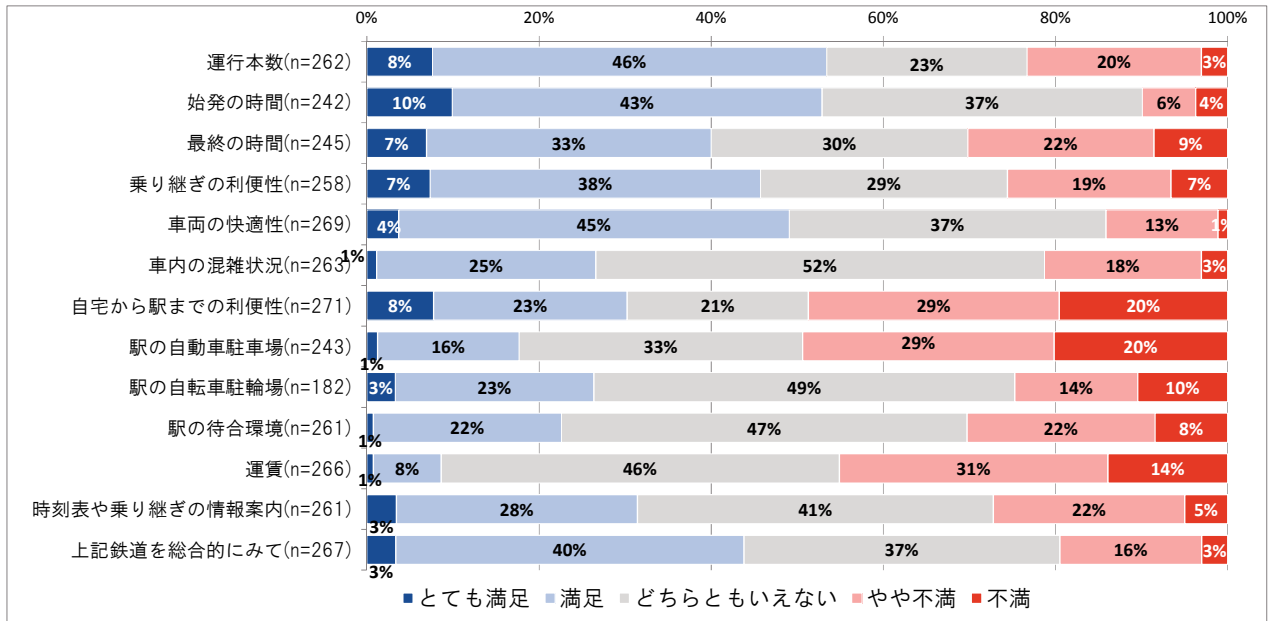
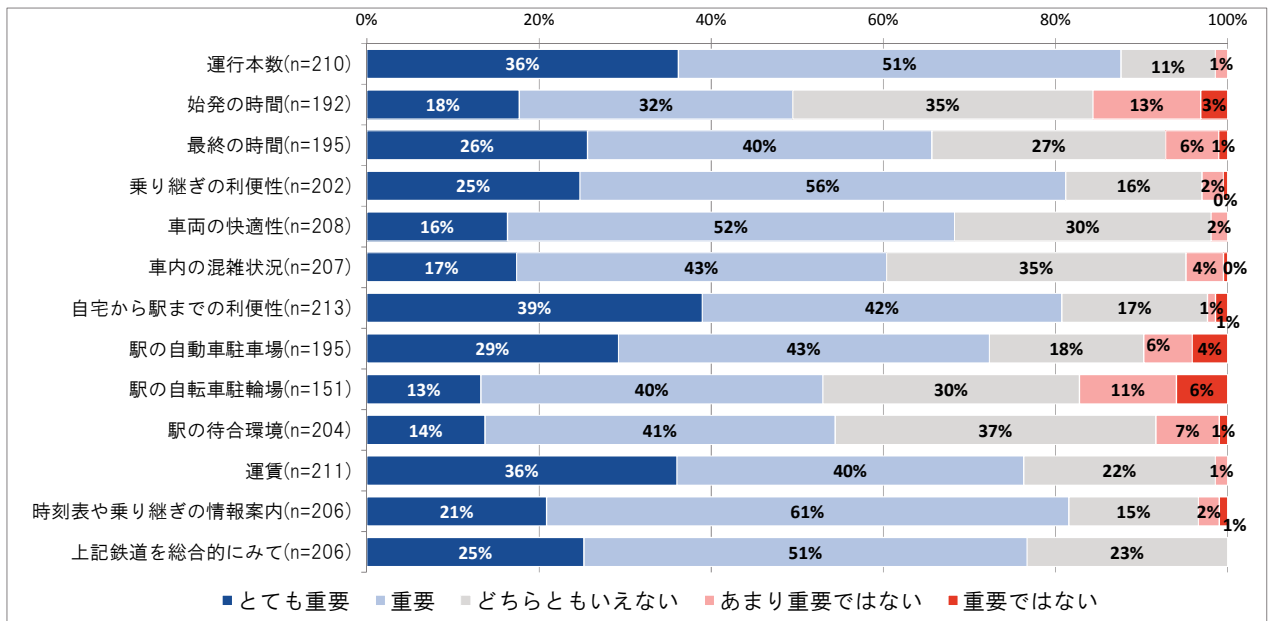


図 名鉄犬山線の重要度【全小学校区】



■名鉄各務原線

●不満度、重要度ともに高い項目は、自宅から駅までの利便性、運賃、時刻表や乗り継ぎの情報案内

名鉄各務原線で不満度が高く、重要度が高い項目は、「自宅から駅までの利便性」、「運賃」及び「時刻表や乗り継ぎの情報案内」となっている。

また、重要度が一番高い項目は「運行本数」、不満度が一番高い項目は「駅の自動車駐車場」となっている。

図 名鉄各務原線の満足度と重要度の相関関係【全小学校区】

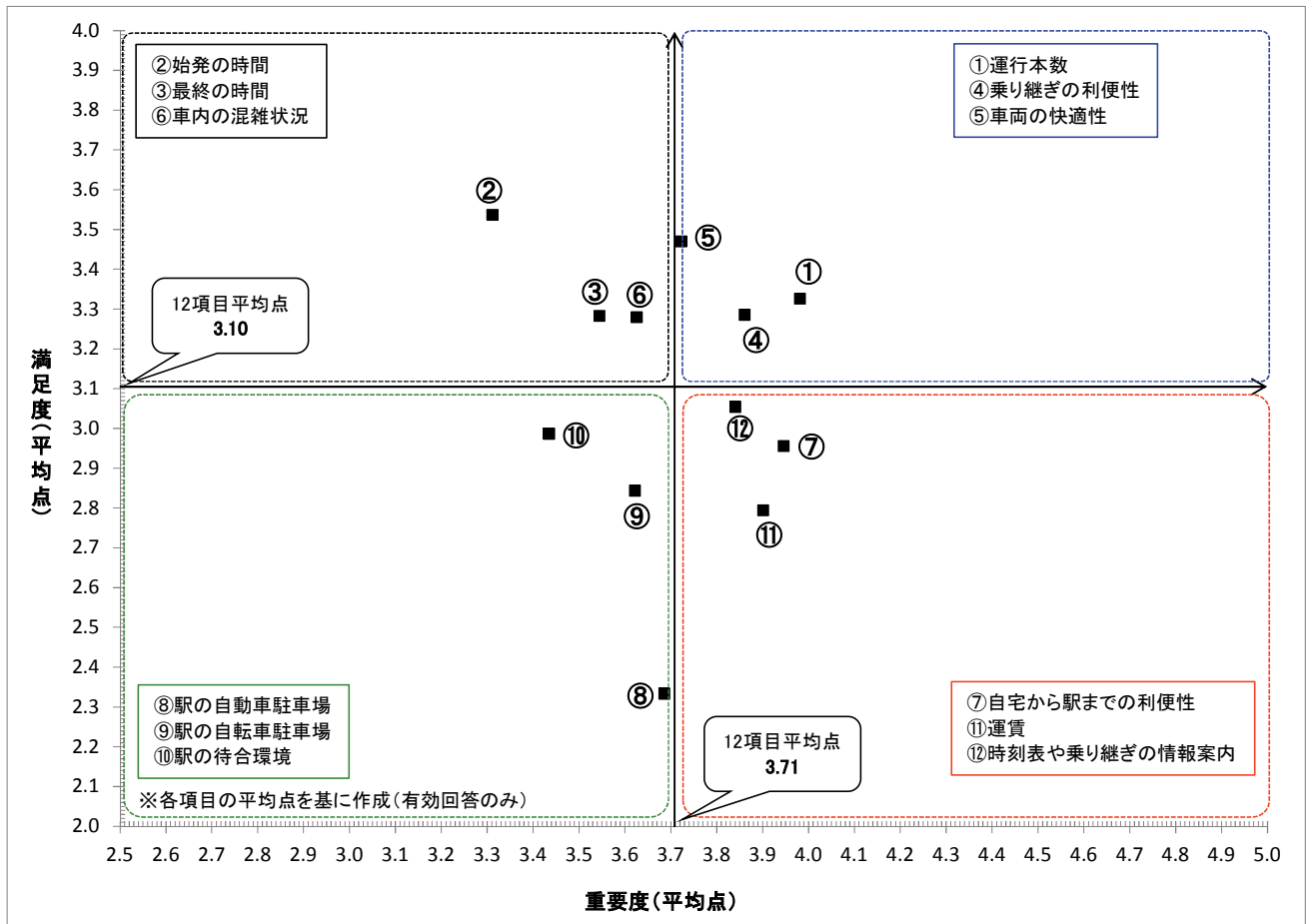


図 名鉄各務原線の満足度【全小学校区】

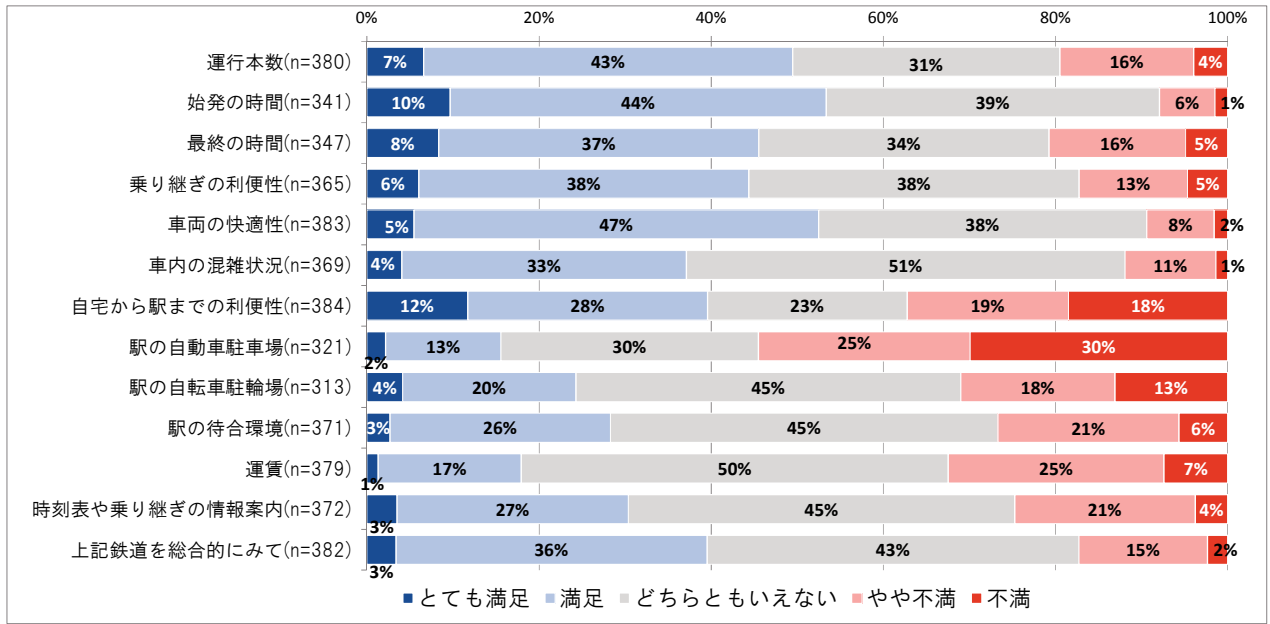
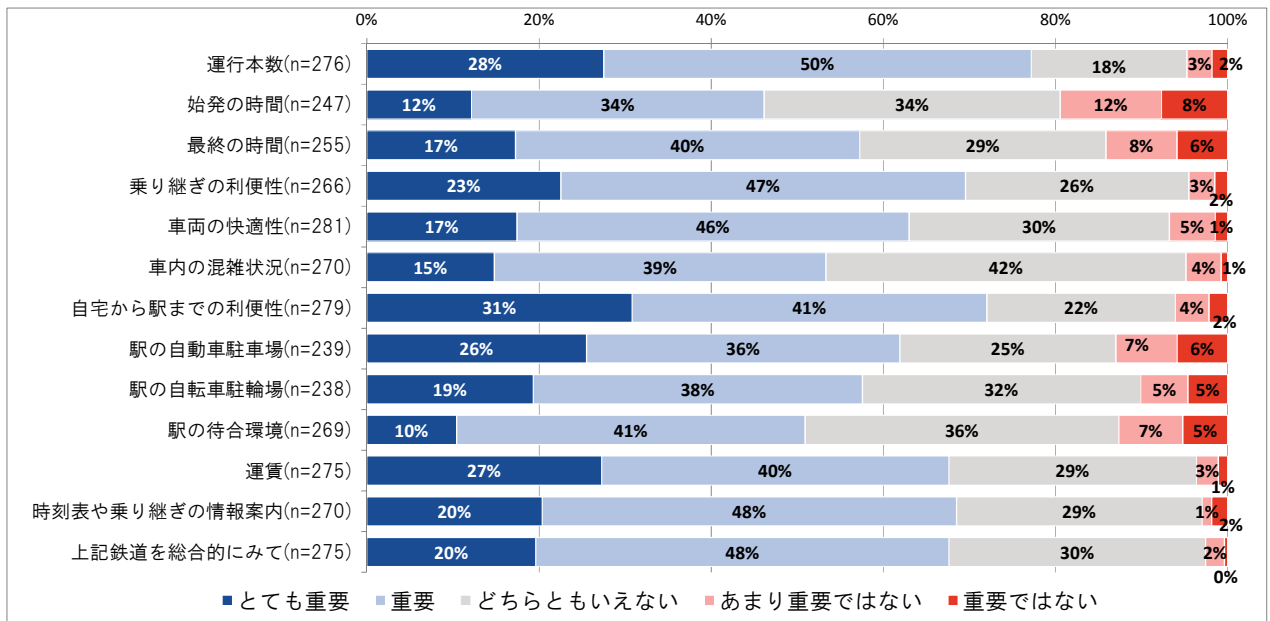


図 名鉄各務原線の重要度【全小学校区】



イ. 路線バスの満足度と重要度（問3 3-①）

●不満足（不満+やや不満）が満足度（満足+やや満足）を上回る

「運行本数」、「始発の時間」、「最終の時間」、「行きたい方向とバスルートとの整合性」、「乗り継ぎの利便性」、「バス停までの利便性」、「バス停の待合環境」、「時刻表や乗り継ぎの情報案内」の項目で不満度が満足度を上回っている。

特に、各務、八木山小学校区では「運行本数」に対する不満度が約84%と不満が大きくなっている。

●不満度、重要度ともに高い項目は、運行本数、最終の時間、行きたい方向とバスルートの整合性、乗り継ぎの利便性、運賃

路線バスで不満度が高く、重要度が高い項目は、「運行本数」、「最終の時間」、「行きたい方向とバスルートの整合性」、「乗り継ぎの利便性」及び「運賃」となっている。中でも「運賃」は重要度が一番高い項目であるが、一方で不満度も一番高くなっている。

図 路線バスの満足度と重要度の相関関係【全小学校区】

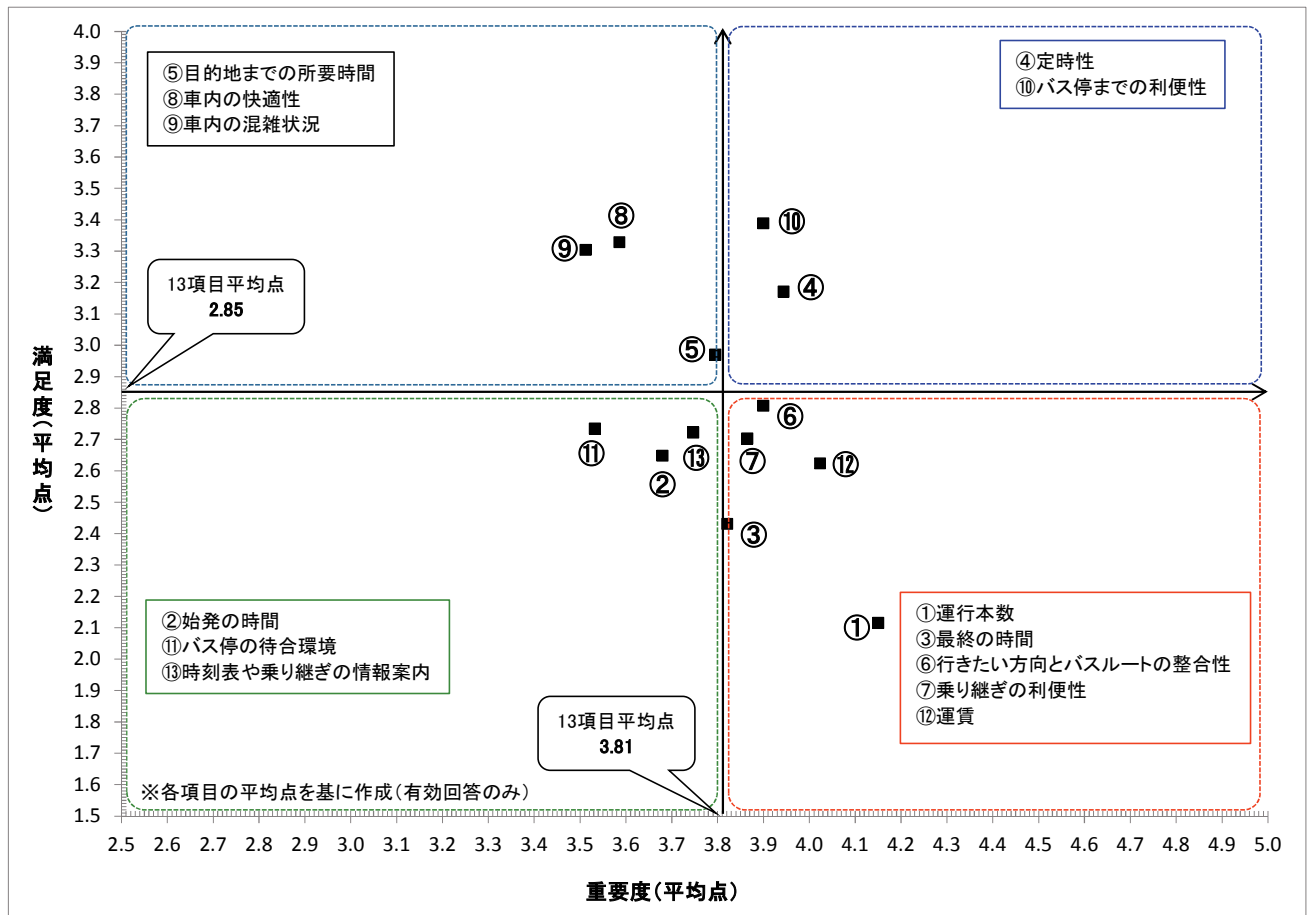


図 路線バスの満足度【全小学校区】

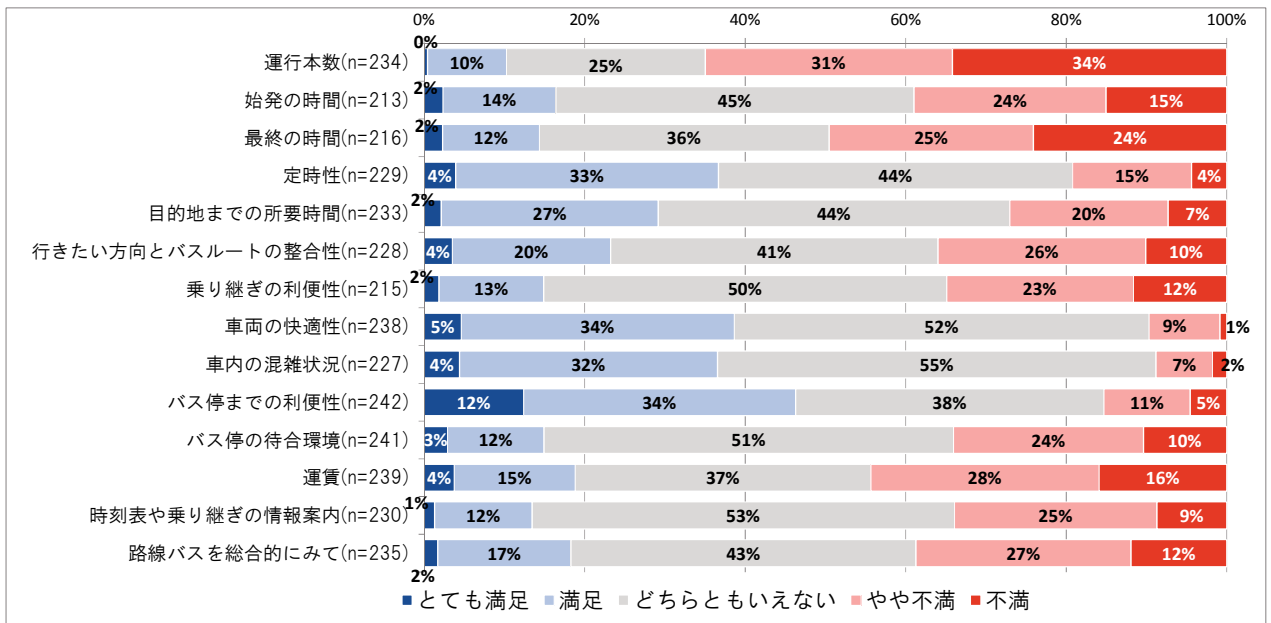


図 路線バスの重要度【全小学校区】

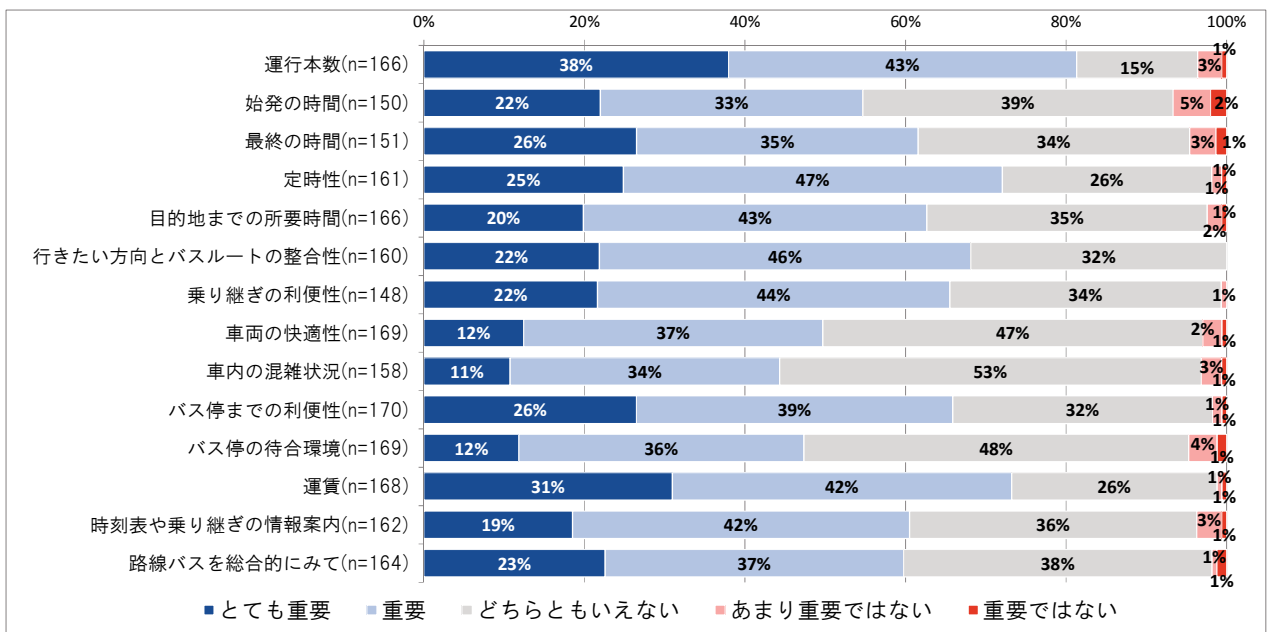


図 路線バスの満足度【那加1、那加2、那加3小学校区】

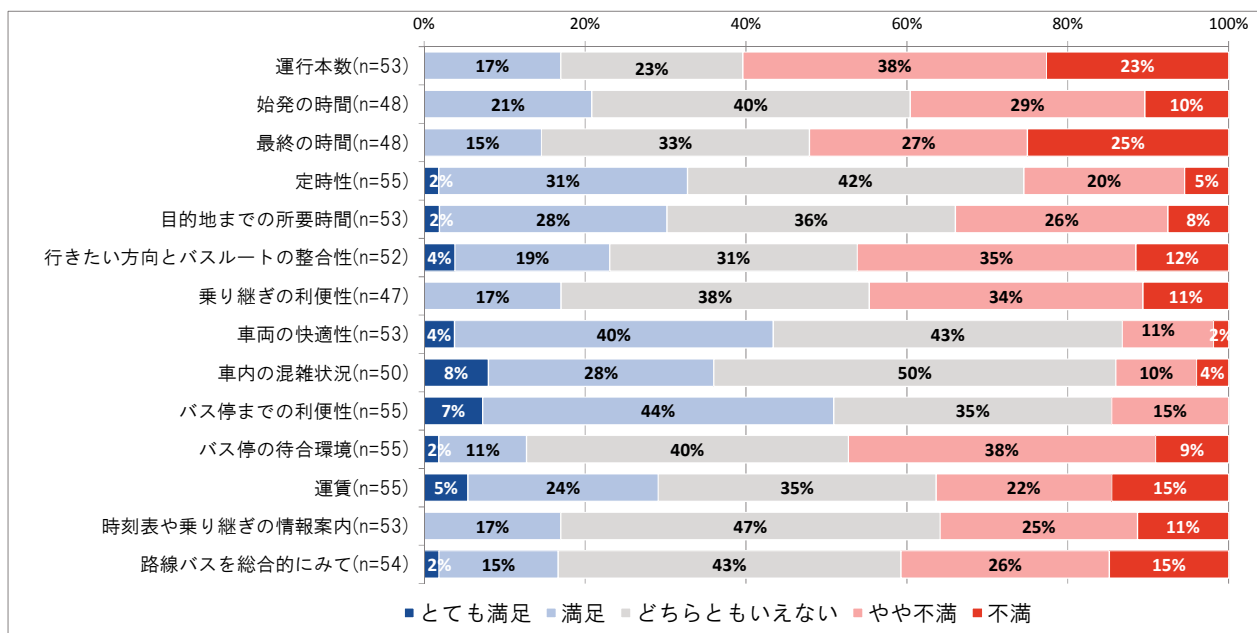


図 路線バスの重要度【那加1、那加2、那加3小学校区】

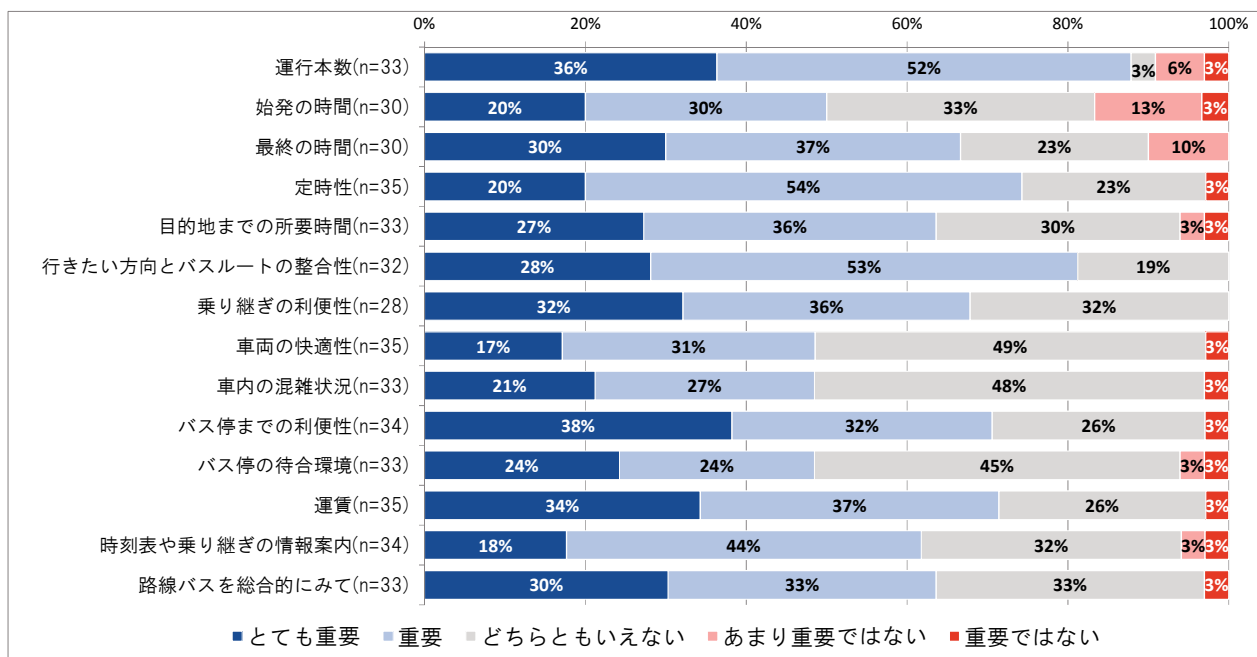


図 路線バスの満足度【稲羽西、稲羽東小学校区】

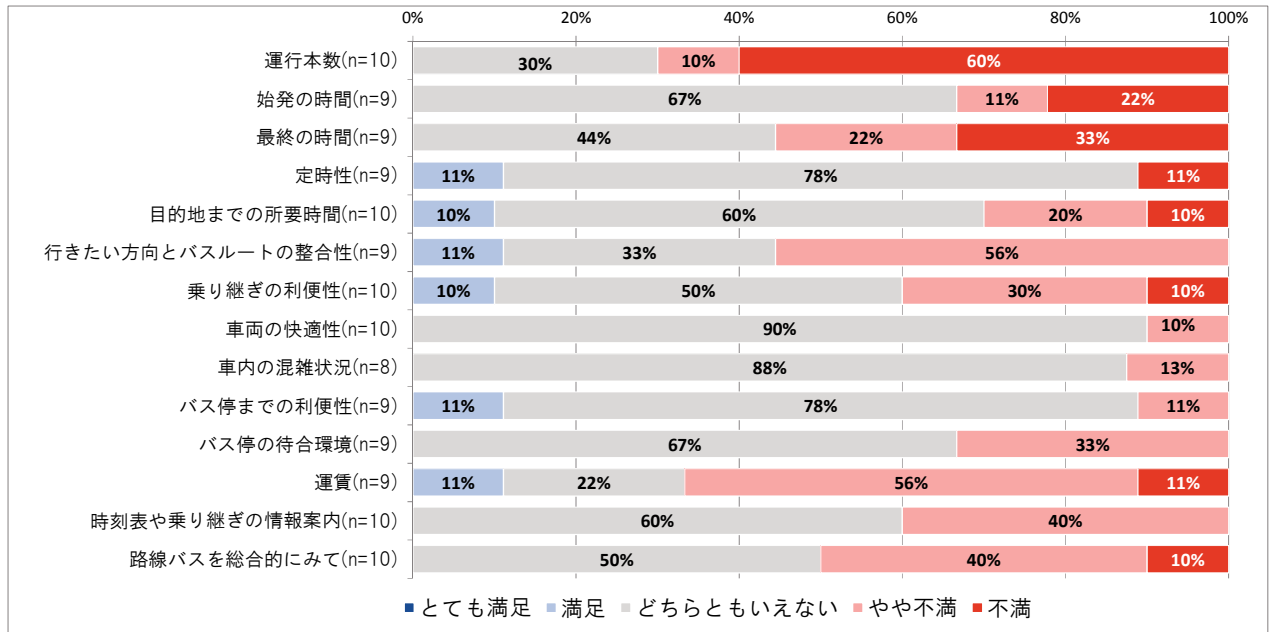


図 路線バスの重要度【稲羽西、稲羽東小学校区】

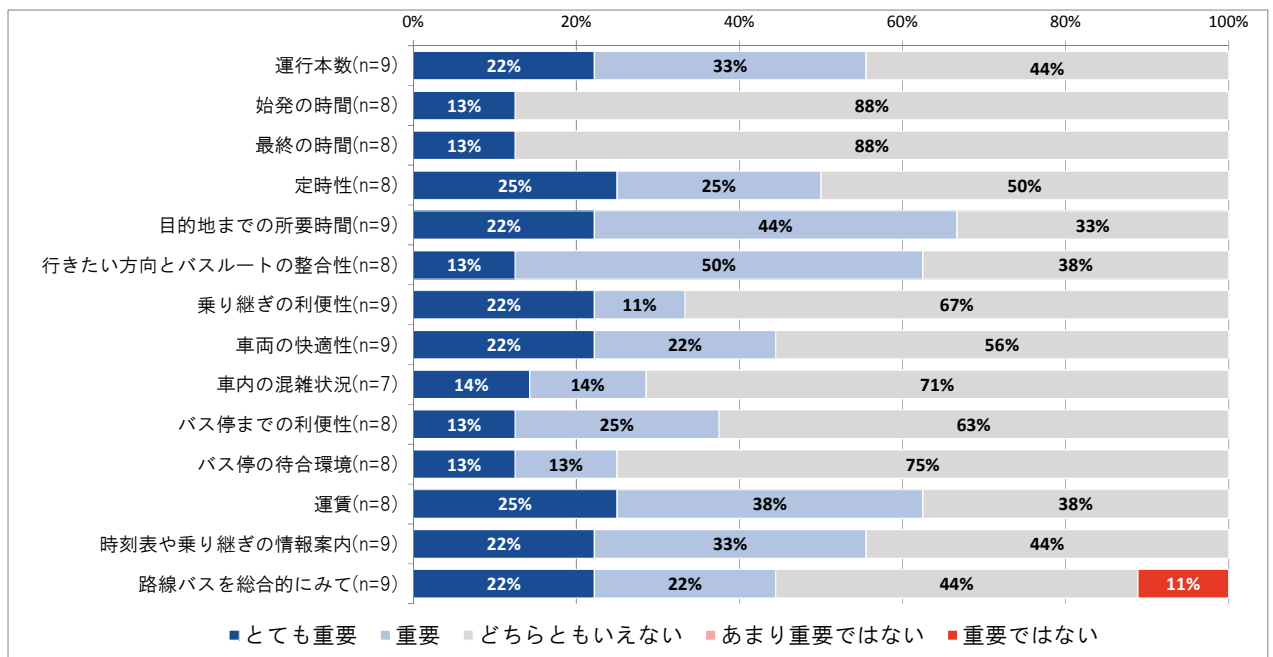


図 路線バスの満足度【鵜沼1、鵜沼2、鵜沼3、陵南小学校区】

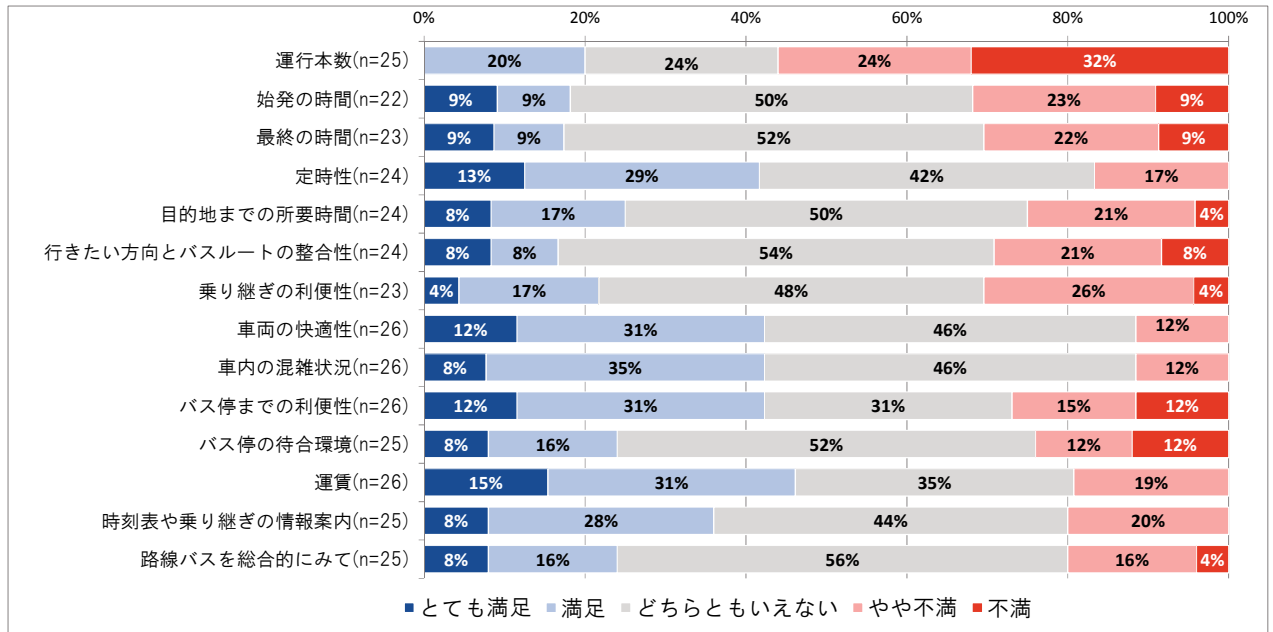


図 路線バスの重要度【鵜沼1、鵜沼2、鵜沼3、陵南小学校区】

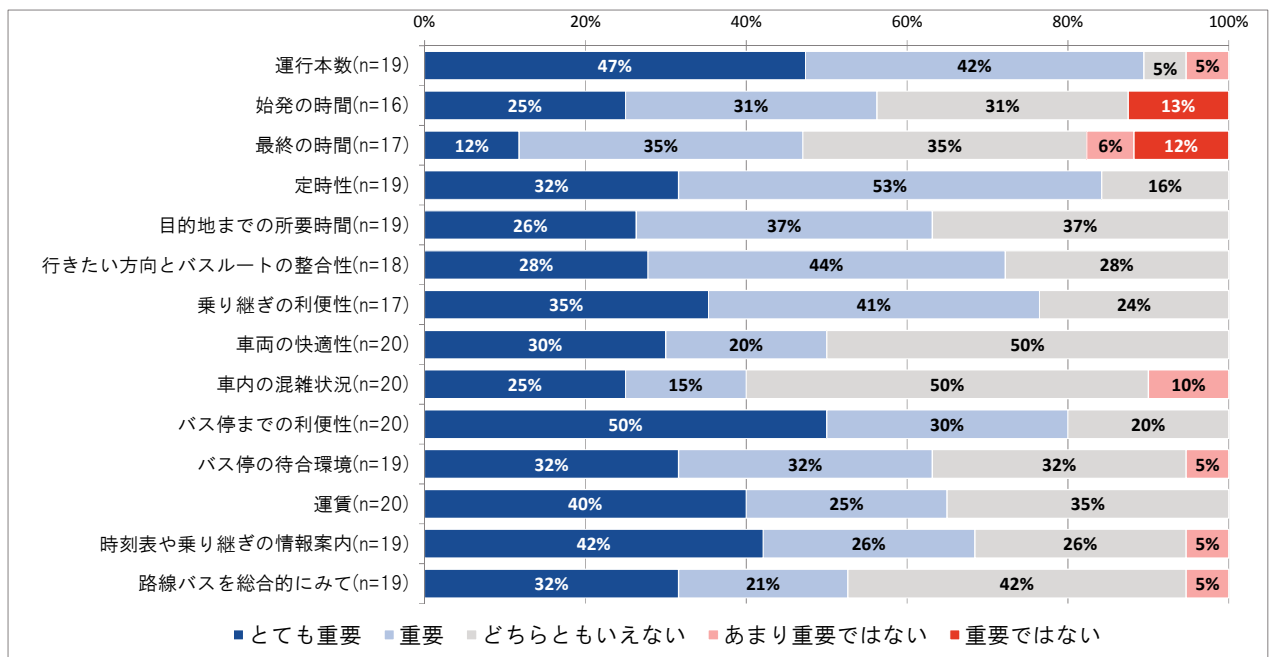


図 路線バスの満足度【緑苑小学校区】

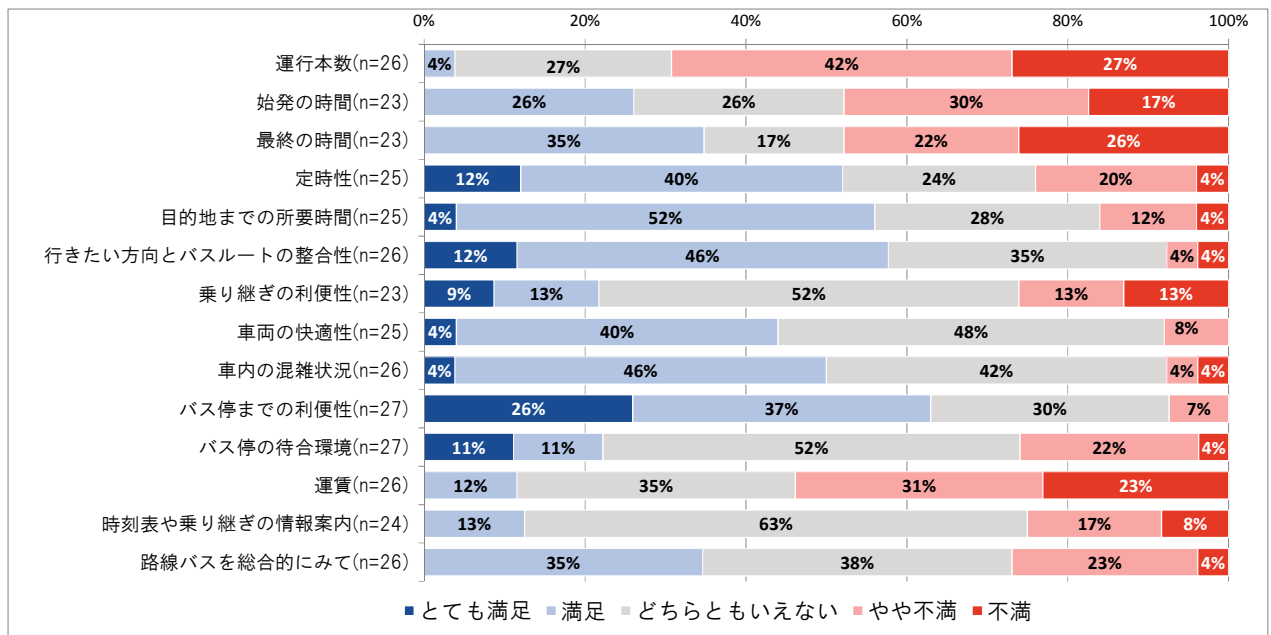


図 路線バスの重要度【緑苑小学校区】

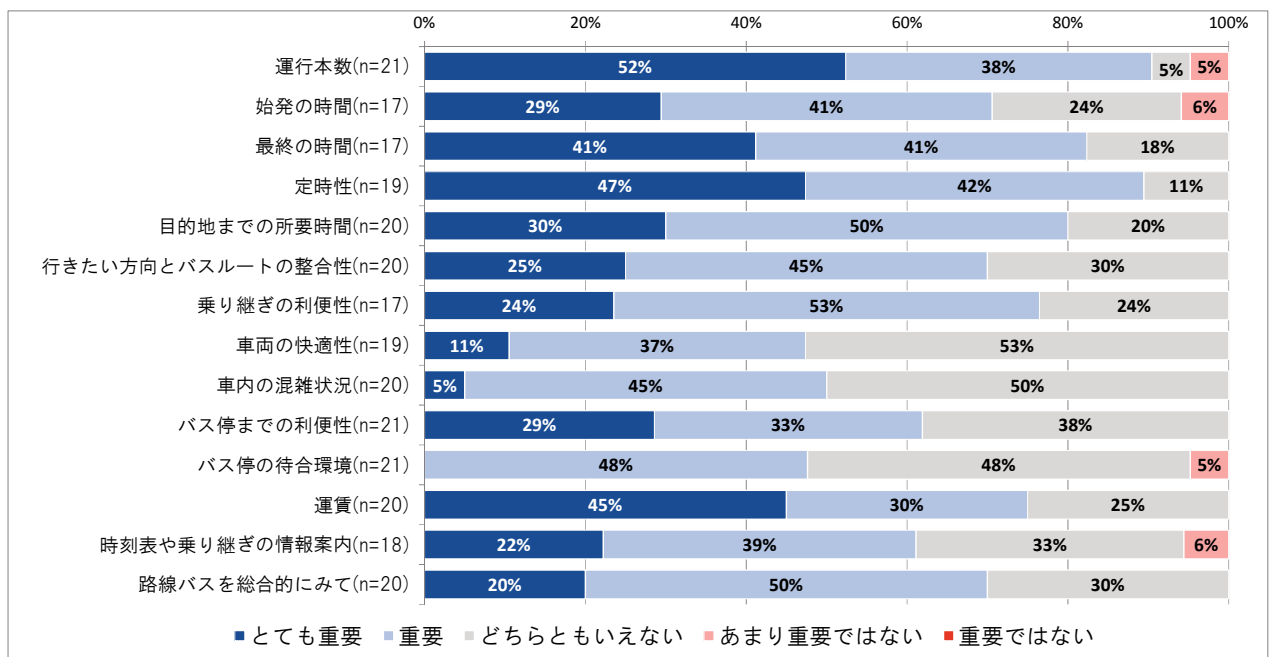


図 路線バスの満足度【蘇原 1、蘇原 2、中央小学校区】

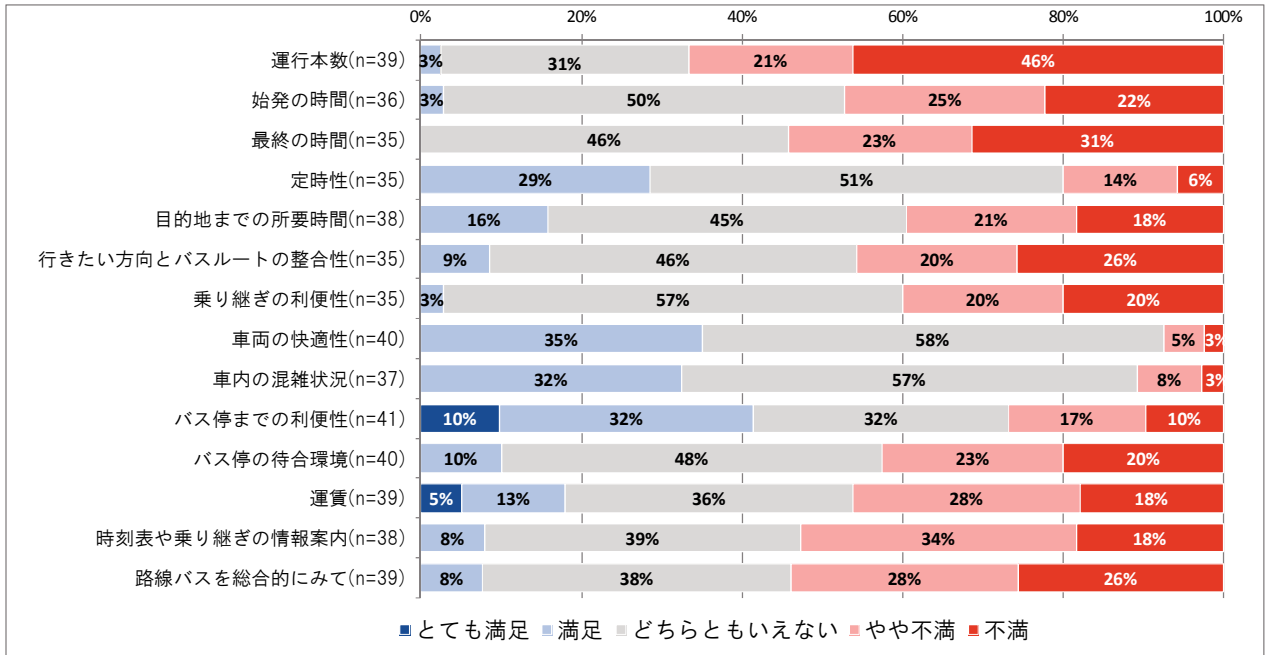


図 路線バスの重要度【蘇原 1、蘇原 2、中央小学校区】

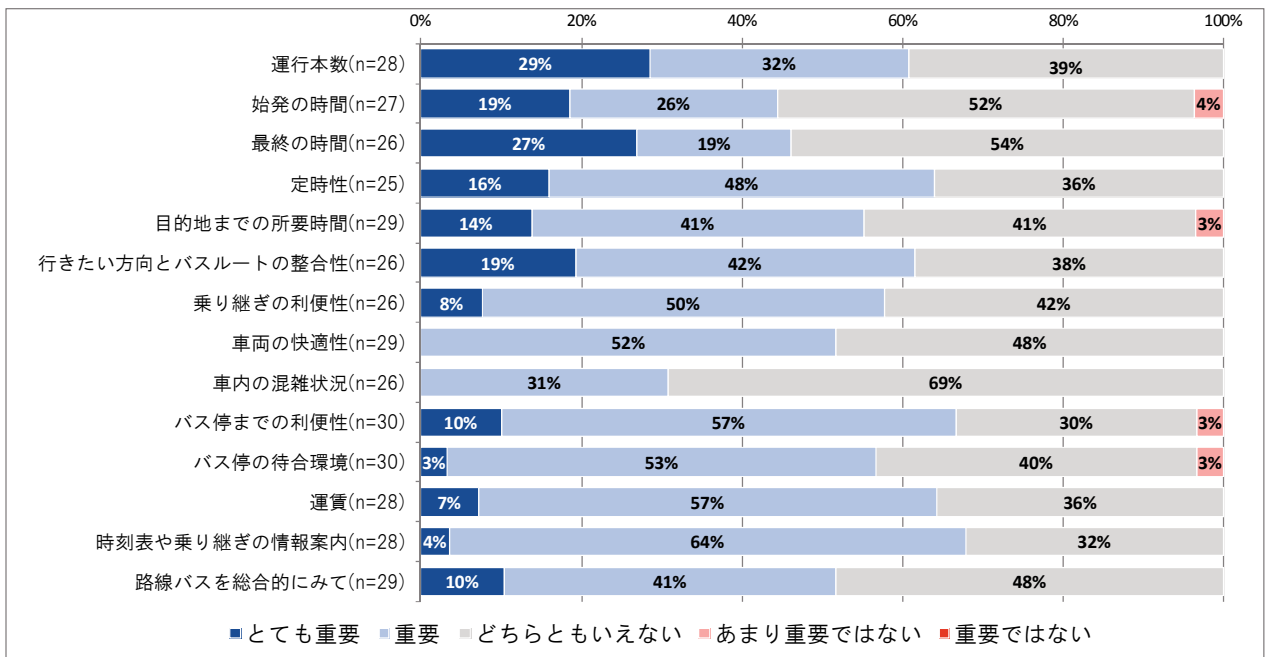


図 路線バスの満足度【尾崎小学校区】

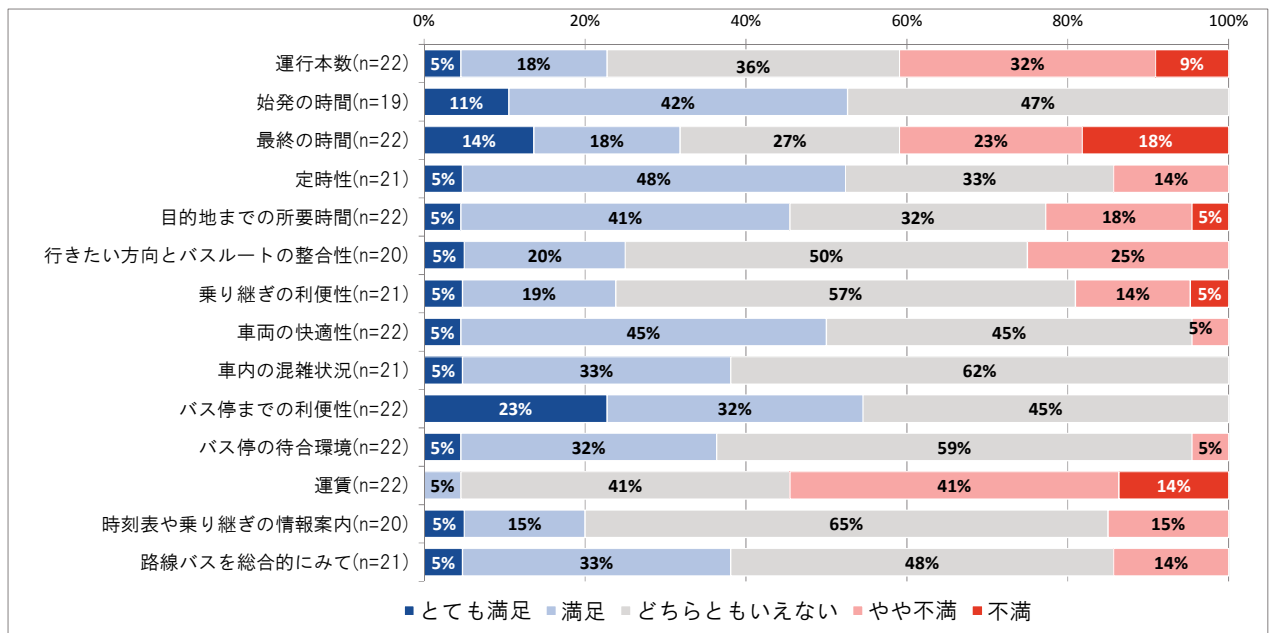


図 路線バスの重要度【尾崎小学校区】

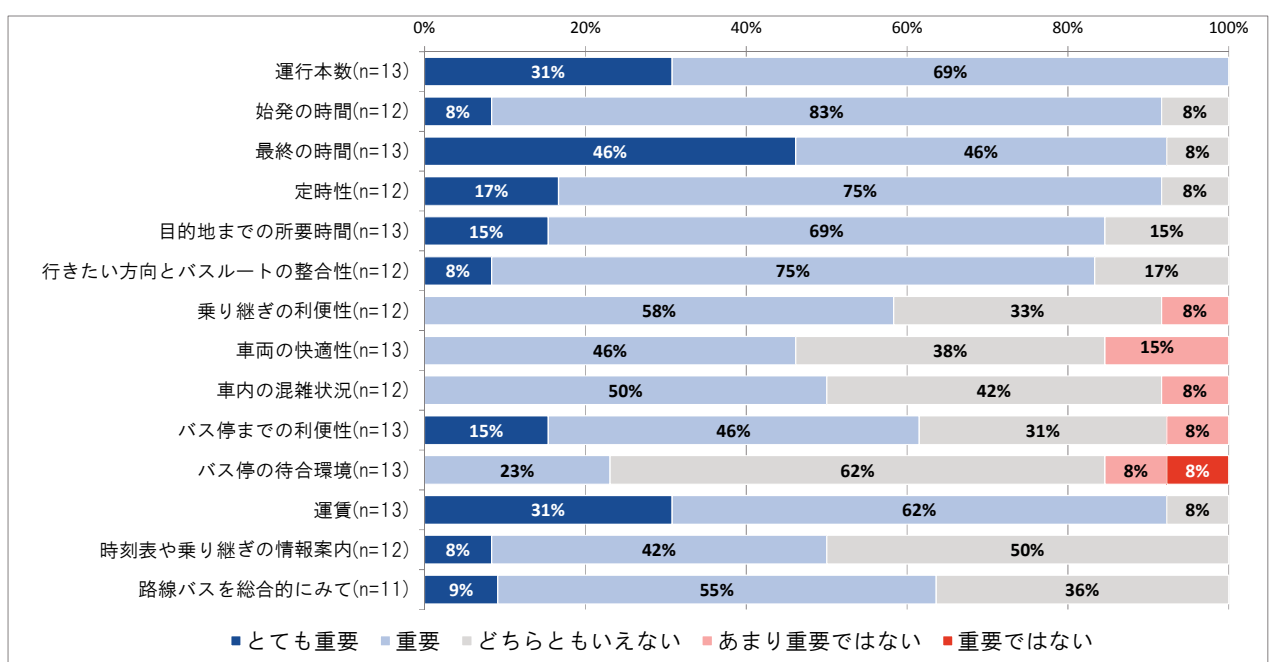


図 路線バスの満足度【各務、八木山小学校区】

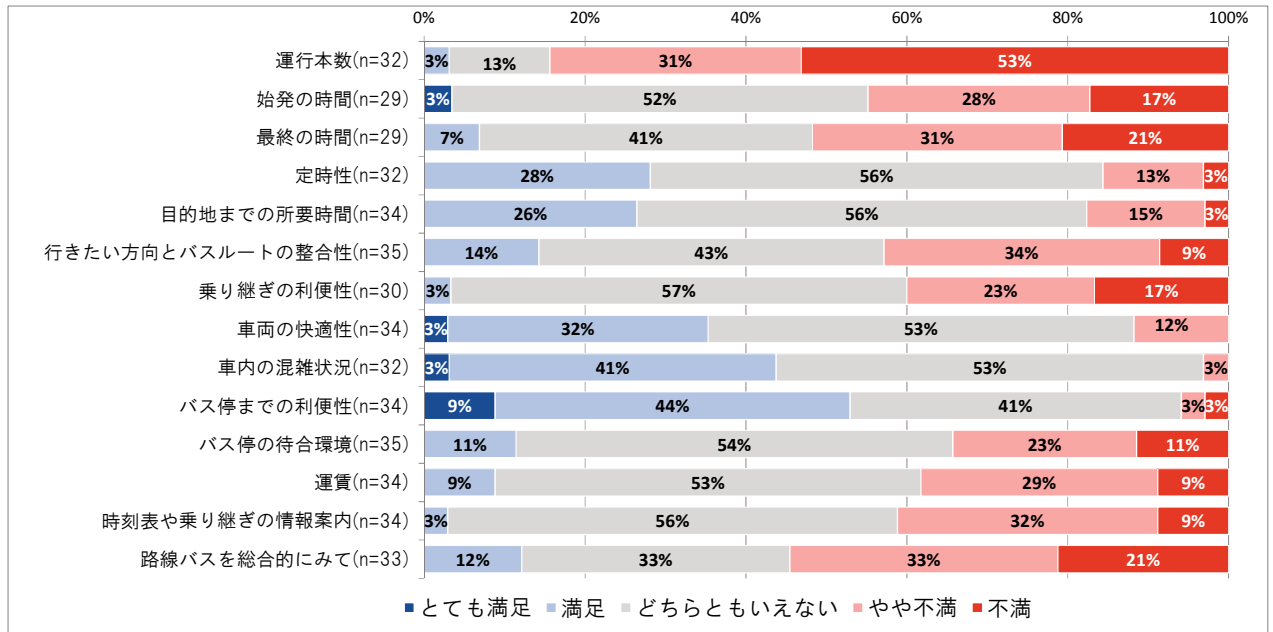


図 路線バスの重要度【各務、八木山小学校区】

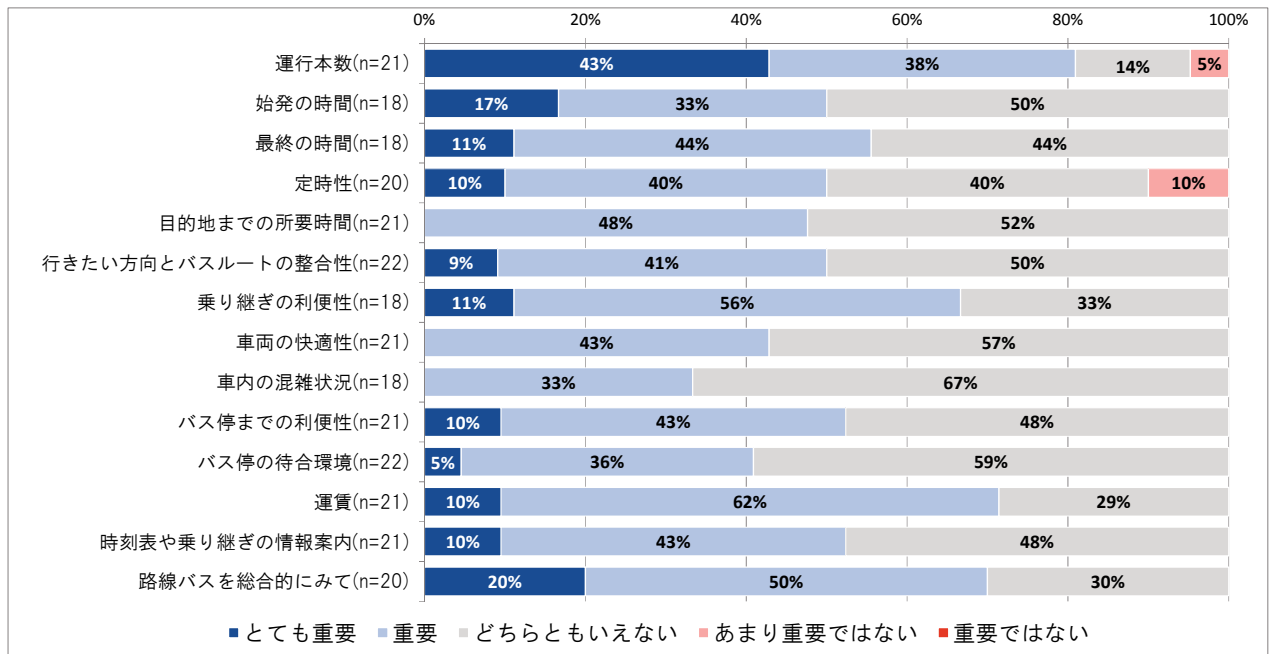


図 路線バスの満足度【川島小学校区】

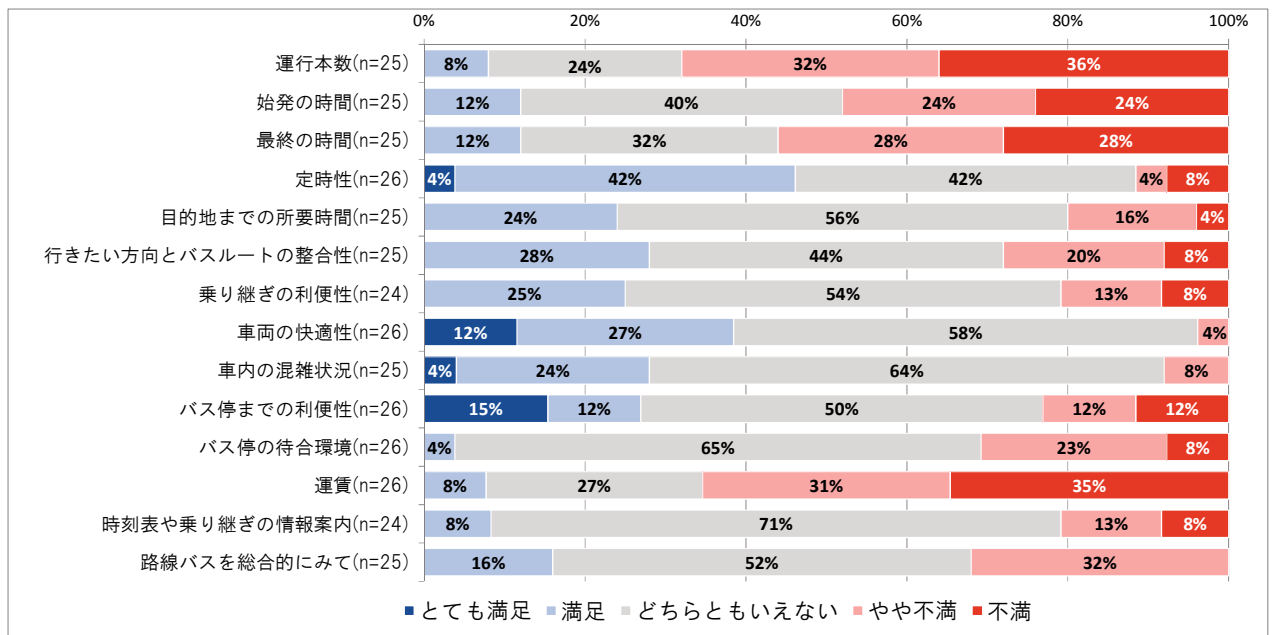
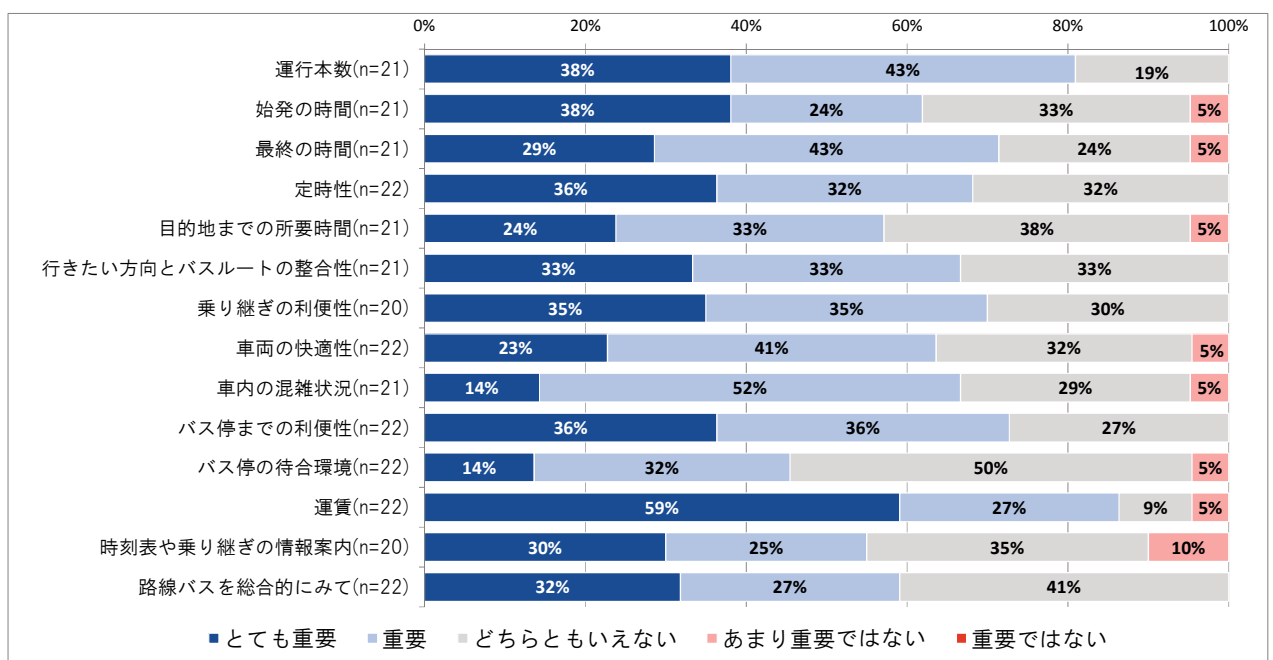


図 路線バスの重要度【川島小学校区】



ウ. ふれあいバスの満足度と重要度（問3 3-①）

●不満度（不満+やや不満）が満足度（満足+やや満足）を上回る

「運行本数」、「始発の時間」、「最終の時間」、「目的地までの所要時間」、「行きたい方向とバスルートの整合性」、「乗り継ぎの利便性」、「バス停の待合環境」、「時刻表や乗り継ぎの情報案内」の項目で不満度が満足度を上回っている。

特に、各務、八木山小学校区では「運行本数」に対する不満度が約96%と利用者の大部分が不満を感じている。

●不満度、重要度ともに高い項目は、運行本数、行きたい方向とバスルートの整合性、乗り継ぎの利便性

ふれあいバスで不満度が高く、重要度が高い項目は、「運行本数」、「行きたい方向とバスルートの整合性」及び「乗り継ぎの利便性」となっている。中でも「運行本数」は重要度が一番高い項目であるが、一方で不満度も一番高くなっている。

図 ふれあいバスの満足度と重要度の相関関係【全小学校区】

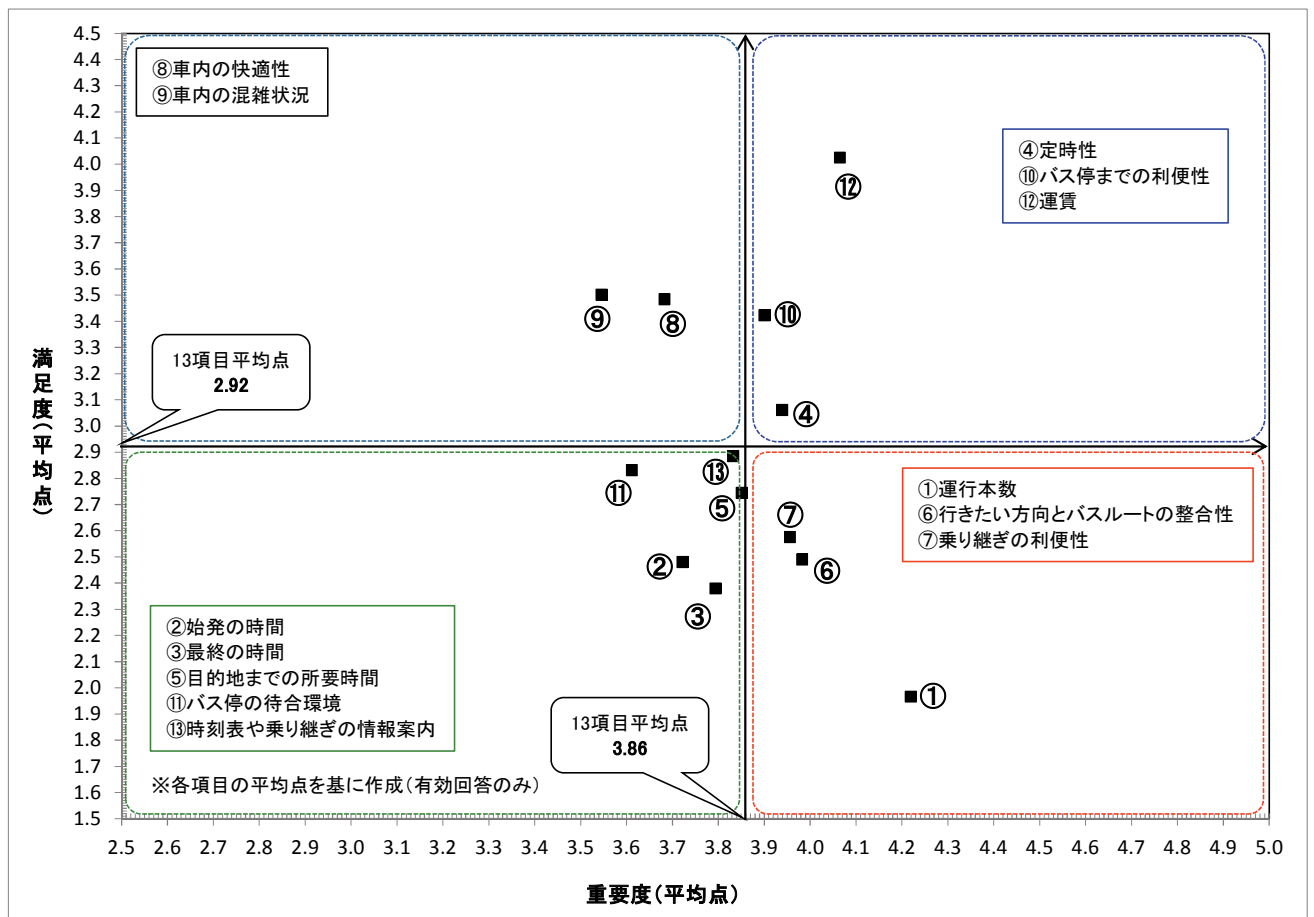


図 ふれあいバスの満足度【全小学校区】

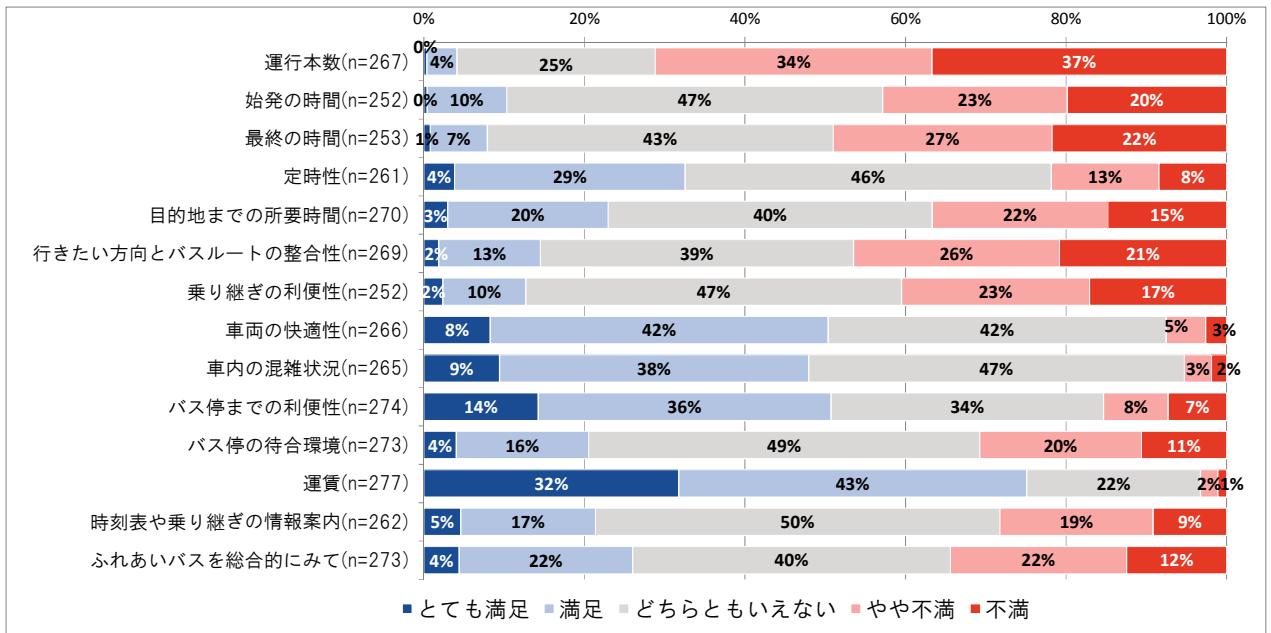


図 ふれあいバスの重要度【全小学校区】

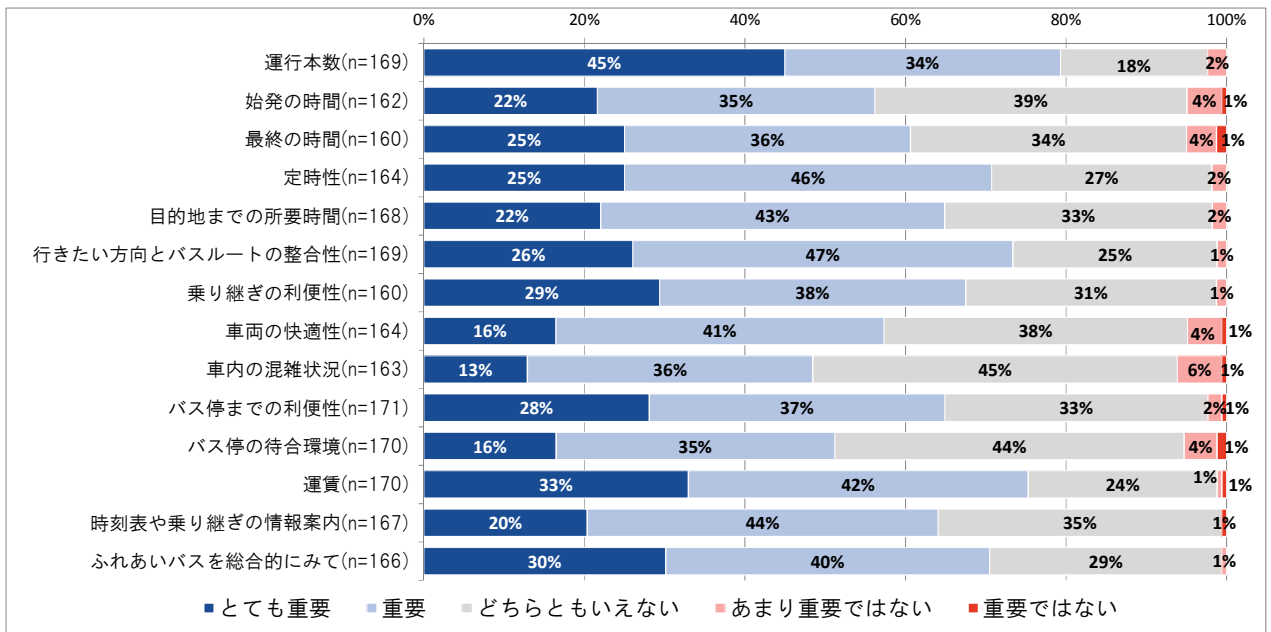


図 ふれあいバスの満足度【那加1、那加2、那加3小学校区】

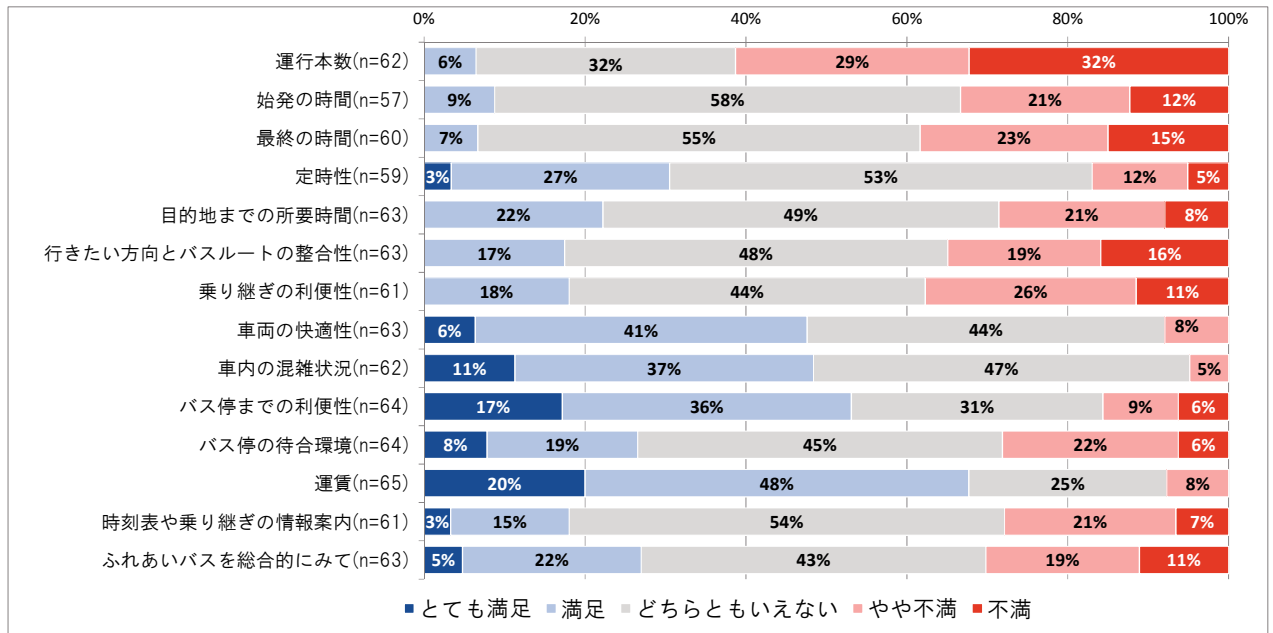


図 ふれあいバスの重要度【那加1、那加2、那加3小学校区】

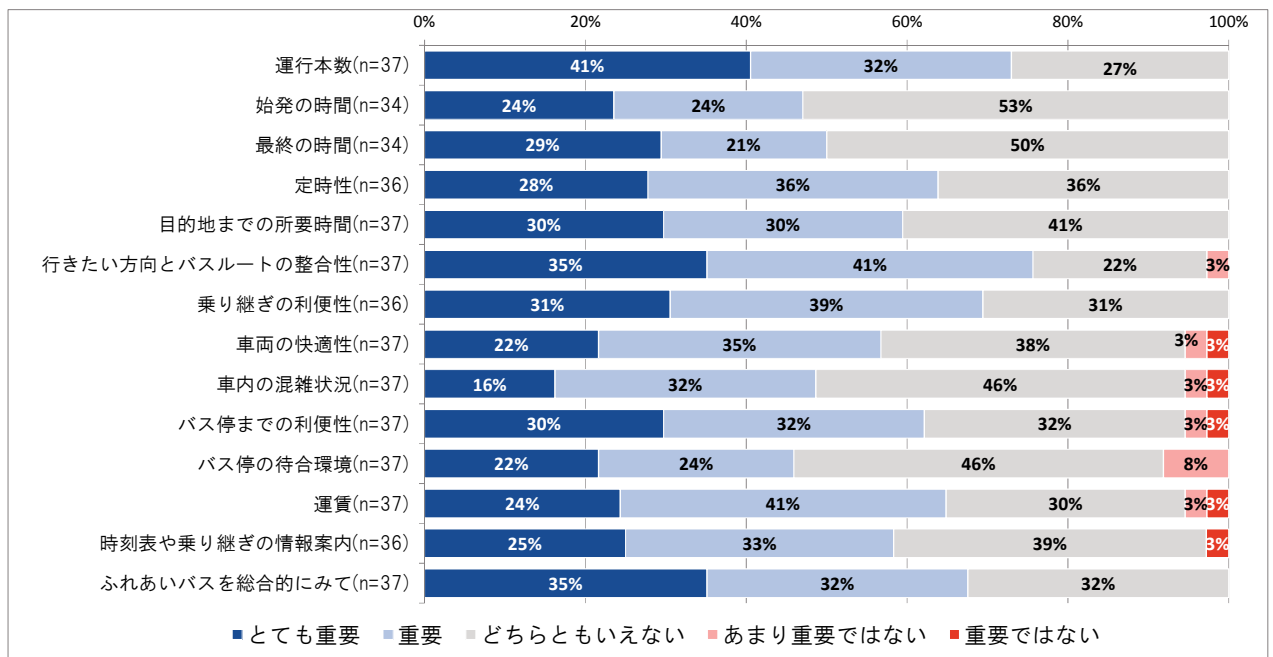


図 ふれあいバスの満足度【稲羽西、稲羽東小学校区】

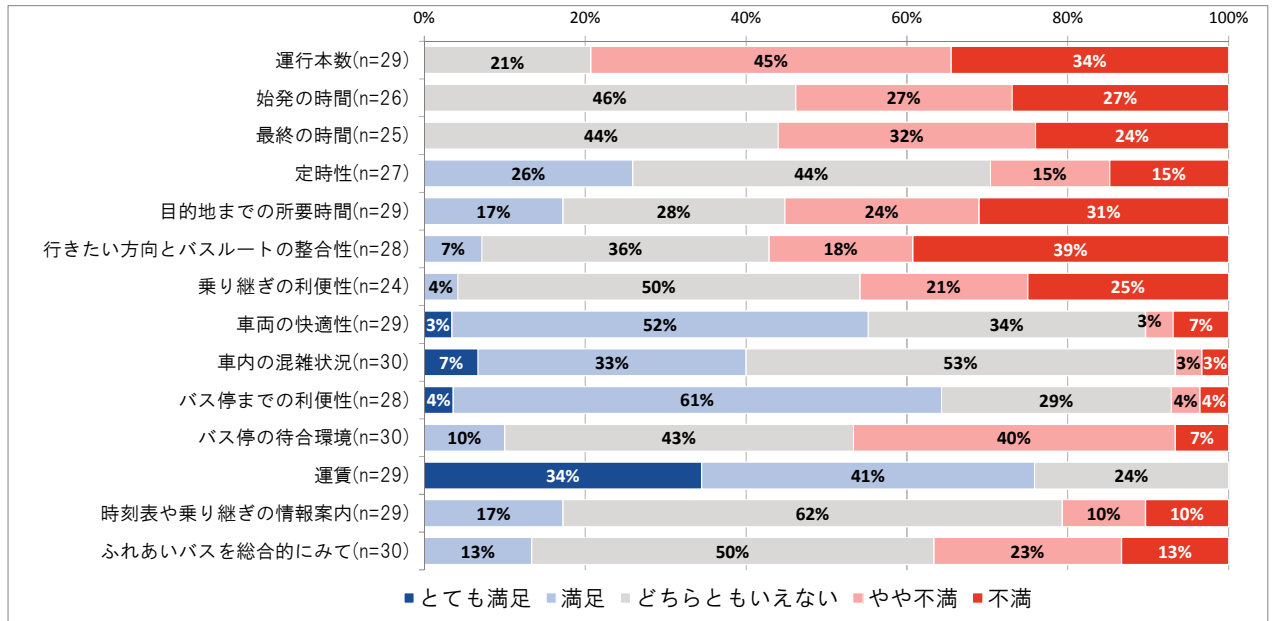


図 ふれあいバスの重要度【稲羽西、稲羽東小学校区】

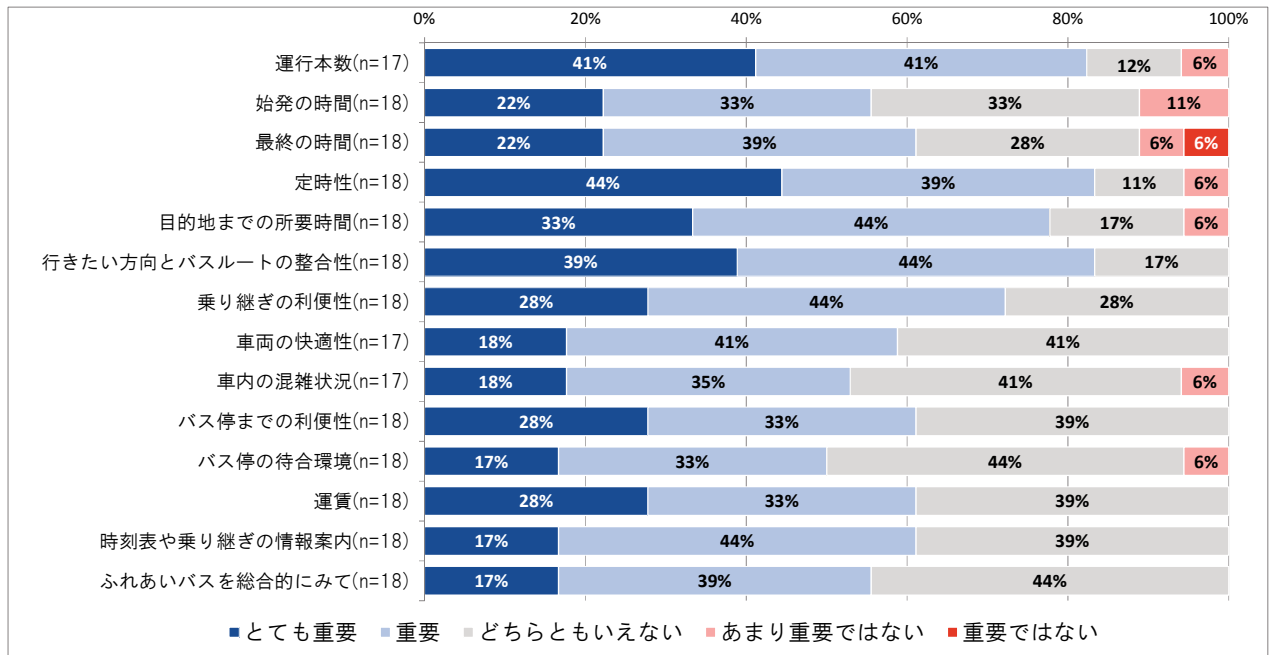


図 ふれあいバスの満足度【鶯沼1、鶯沼2、鶯沼3、陵南小学校区】

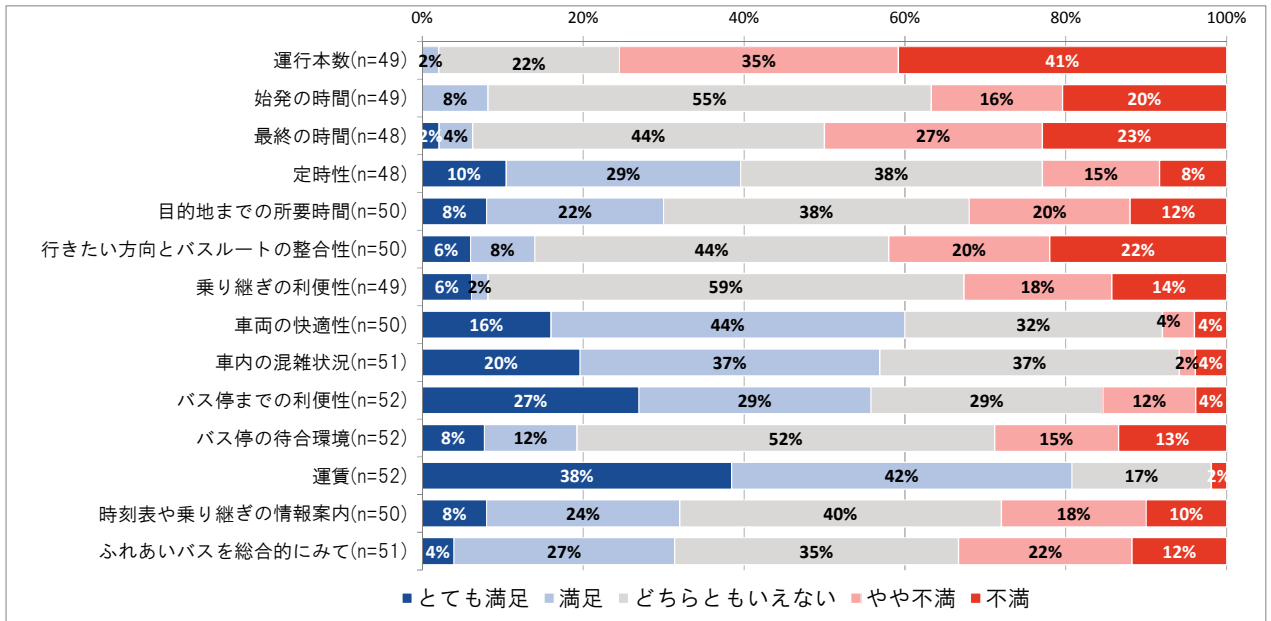


図 ふれあいバスの重要度【鶯沼1、鶯沼2、鶯沼3、陵南小学校区】

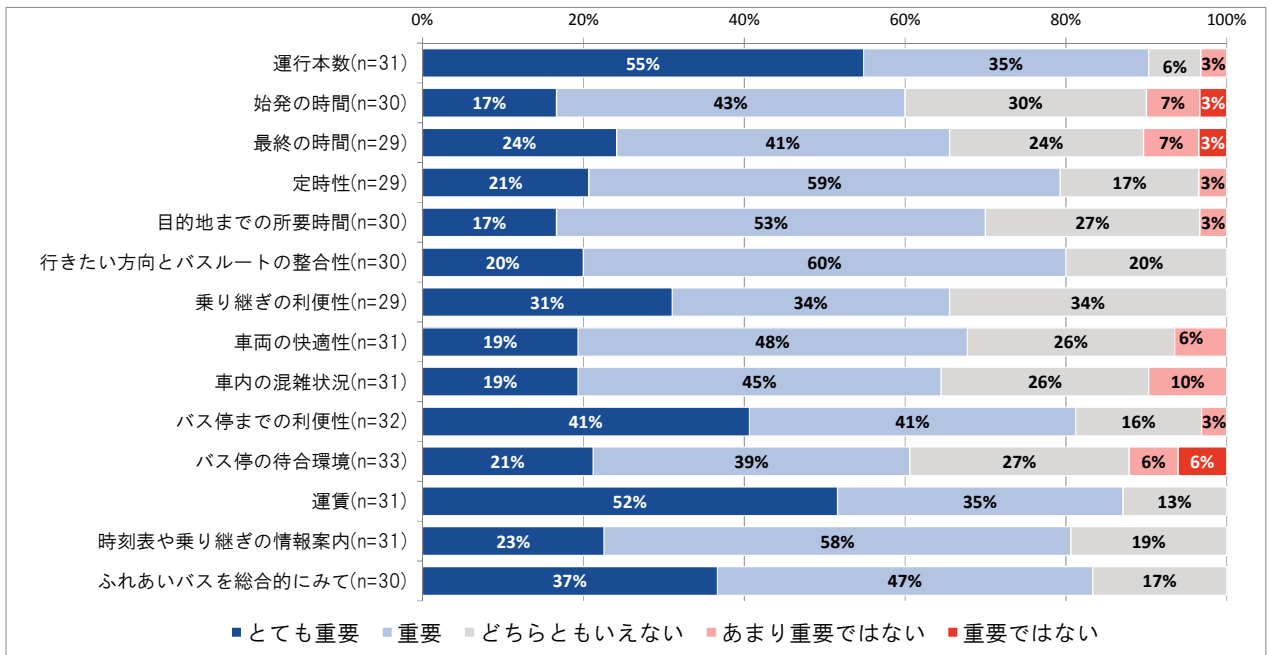


図 ふれあいバスの満足度【緑苑小学校区】

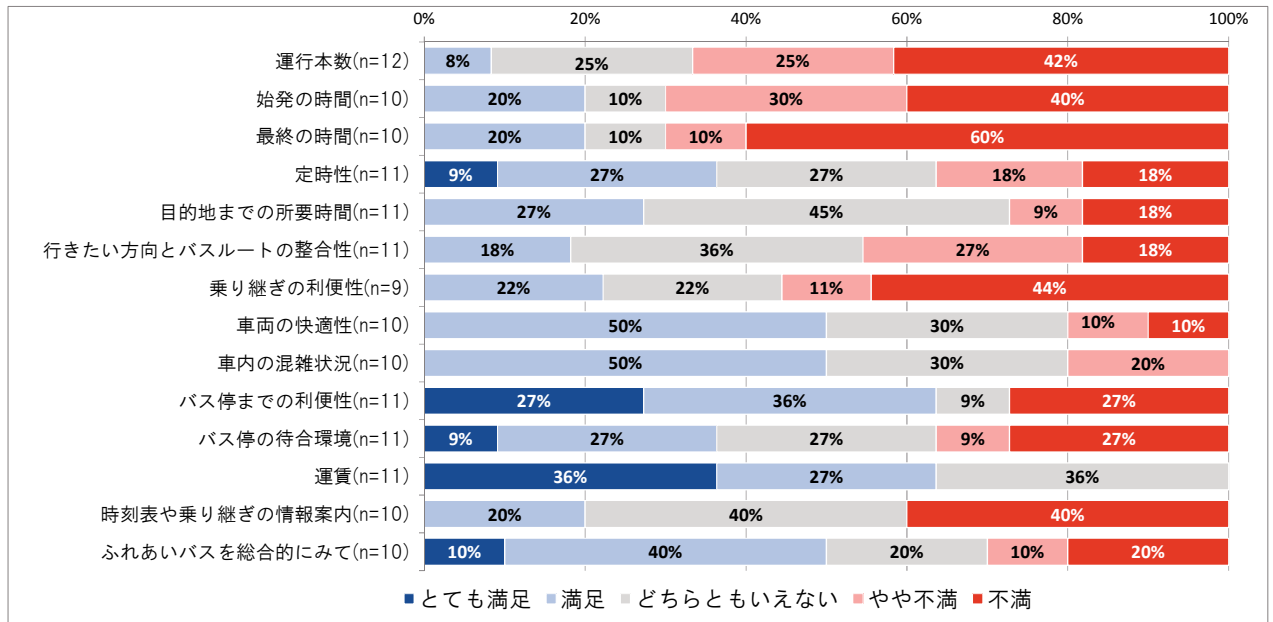


図 ふれあいバスの重要度【緑苑小学校区】

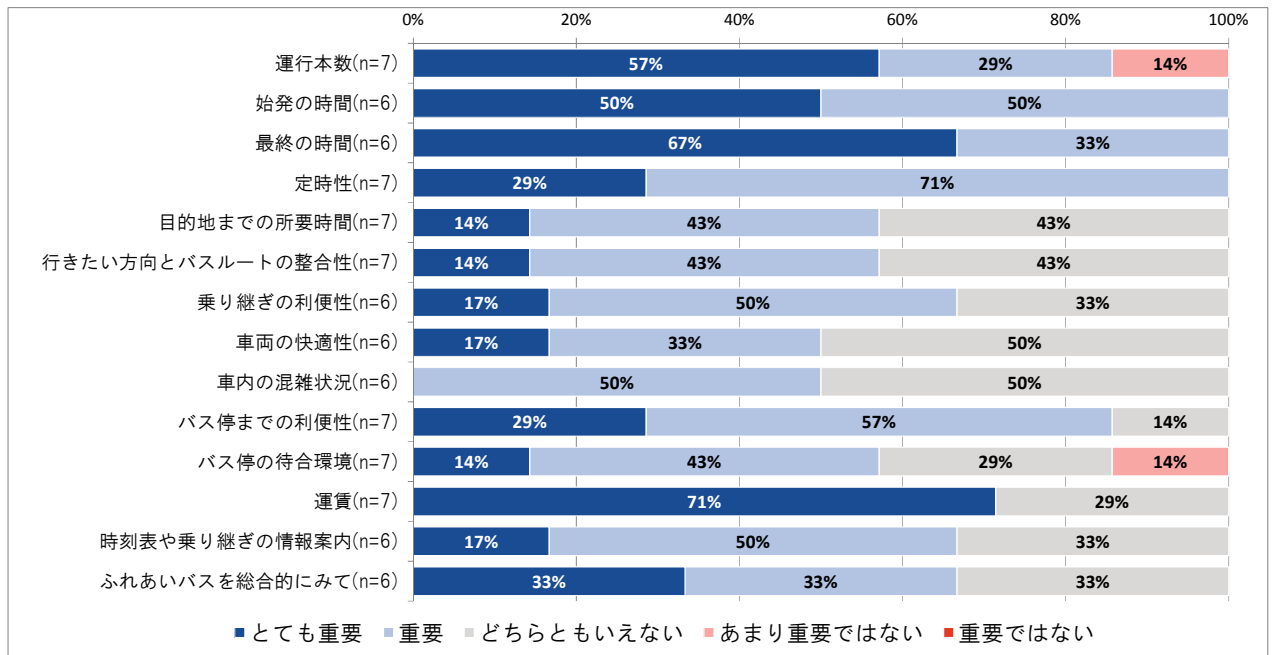


図 ふれあいバスの満足度【蘇原1、蘇原2、中央小学校区】

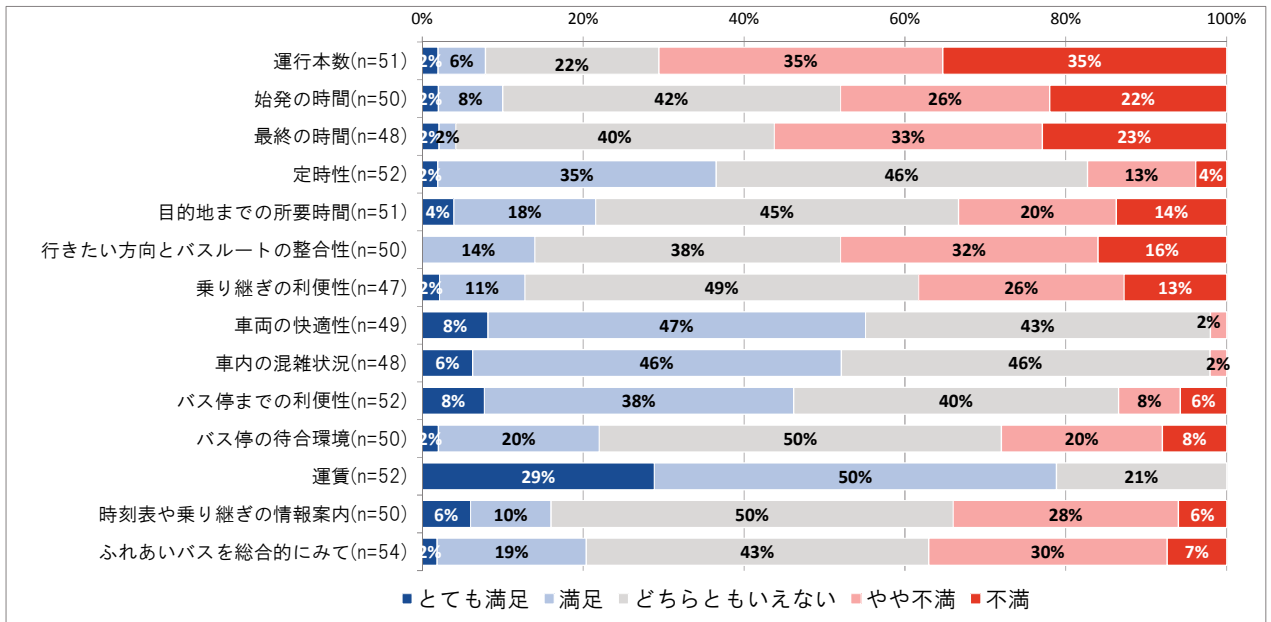


図 ふれあいバスの重要度【蘇原1、蘇原2、中央小学校区】

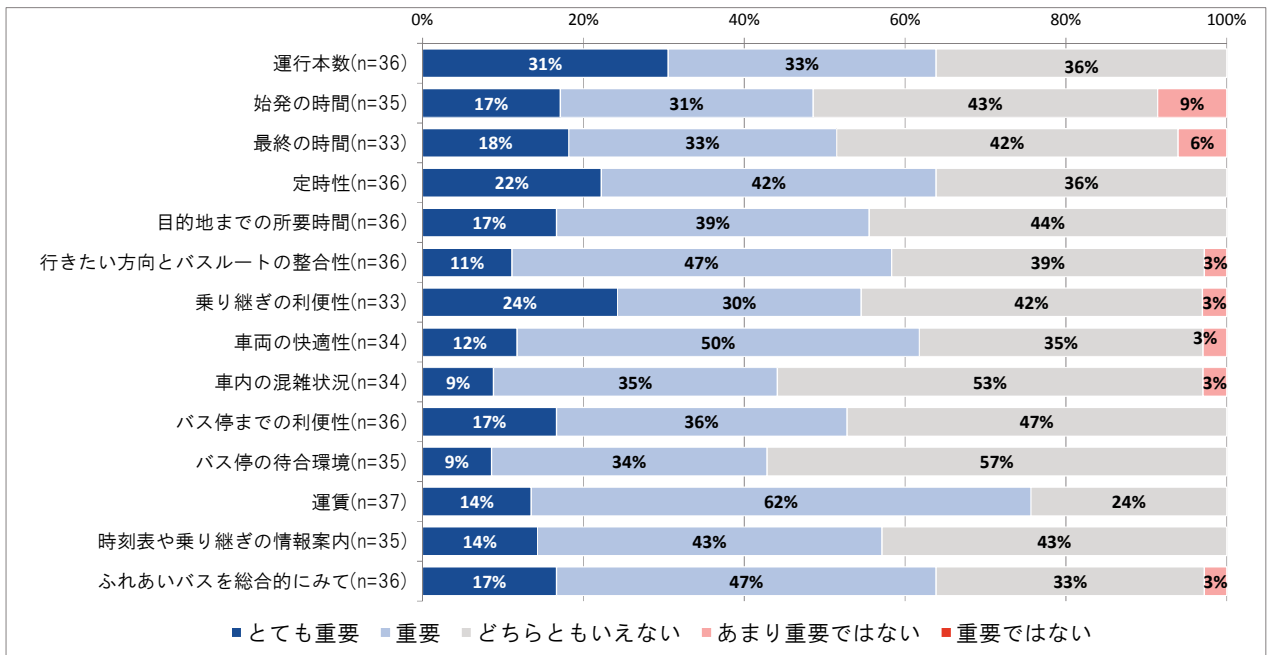


図 ふれあいバスの満足度【尾崎小学校区】

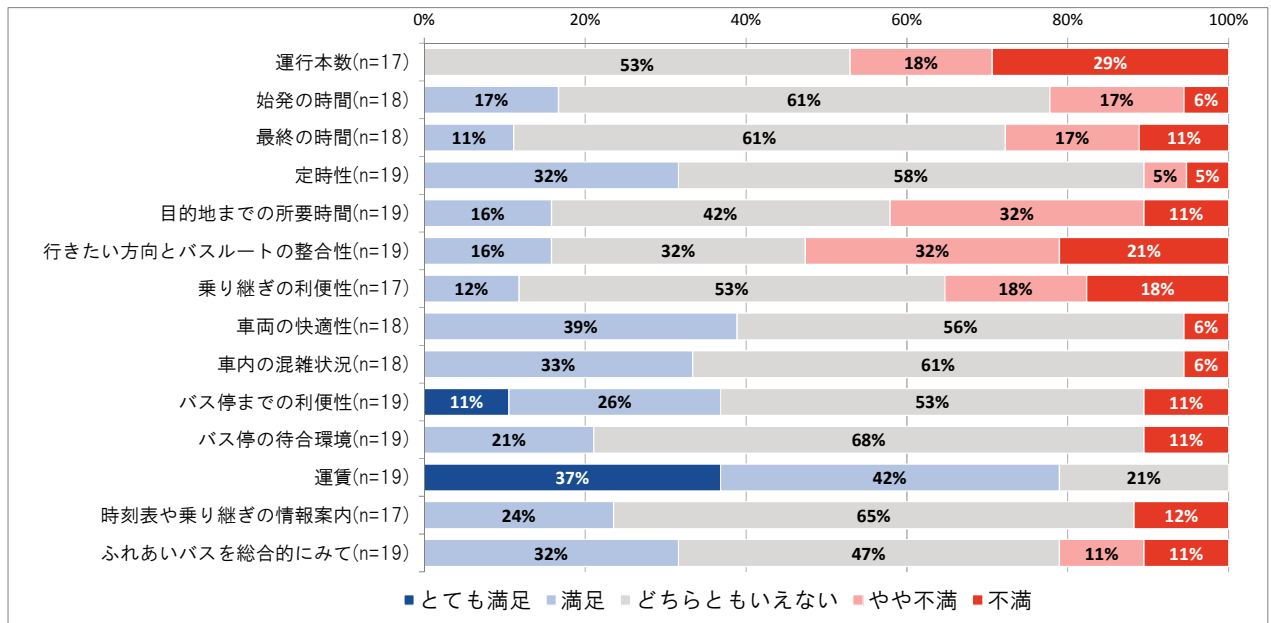


図 ふれあいバスの重要度【尾崎小学校区】

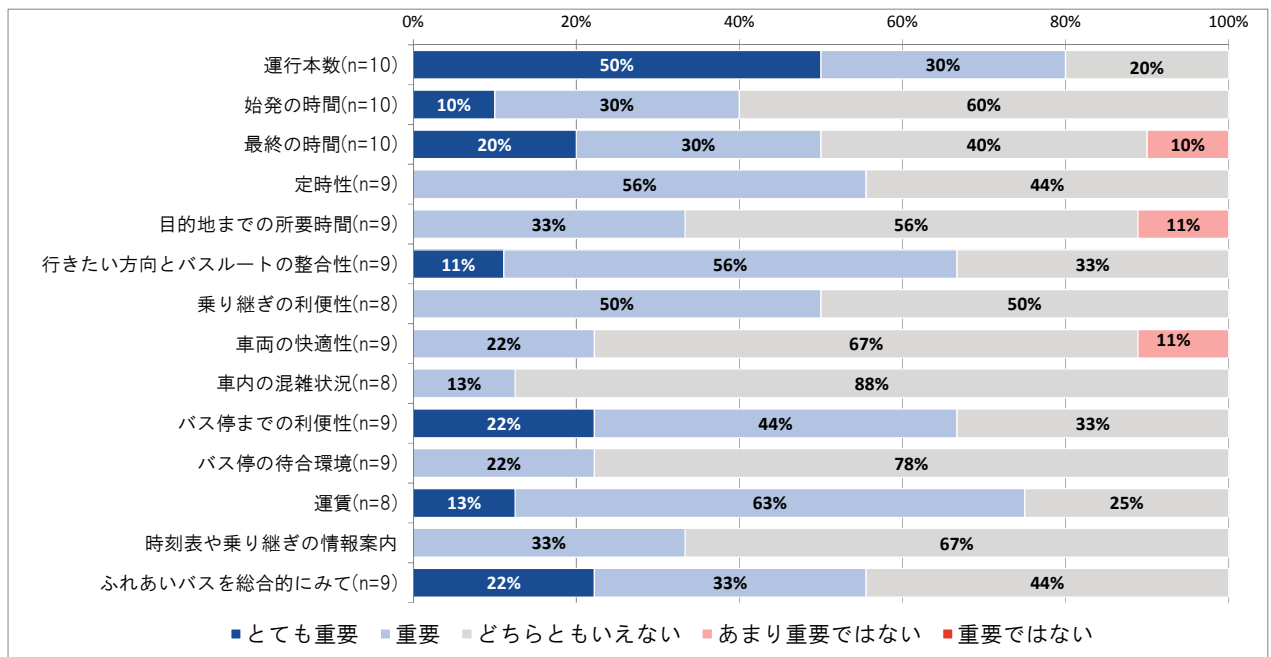


図 ふれあいバスの満足度【各務、八木山小学校区】

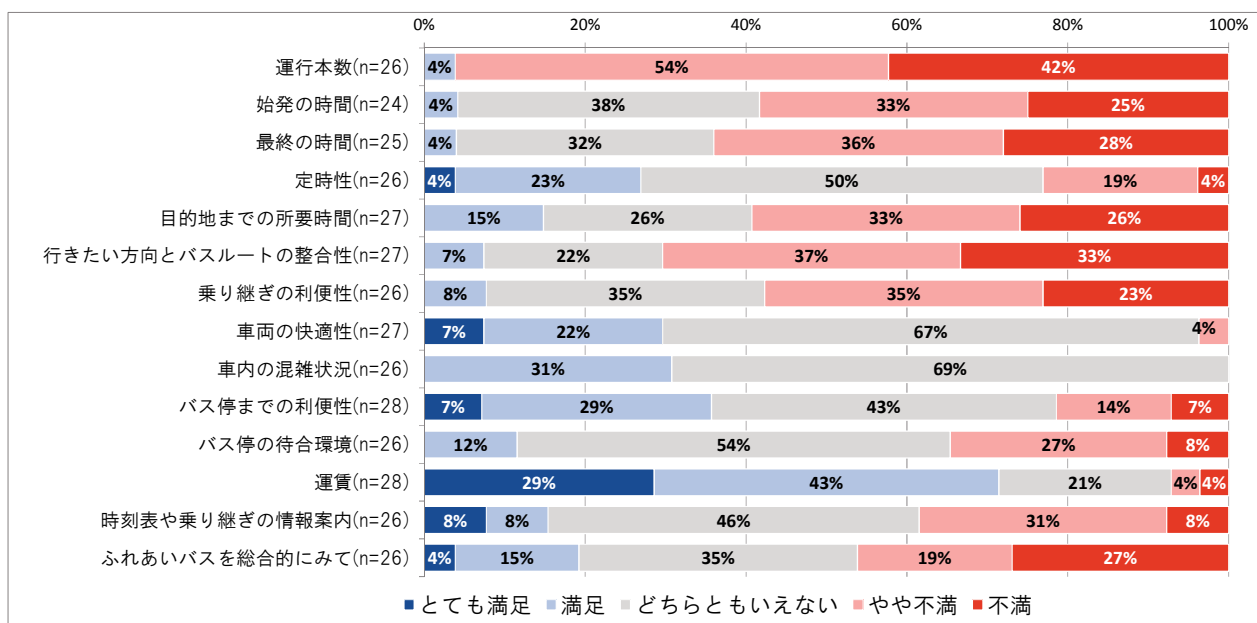


図 ふれあいバスの重要度【各務、八木山小学校区】

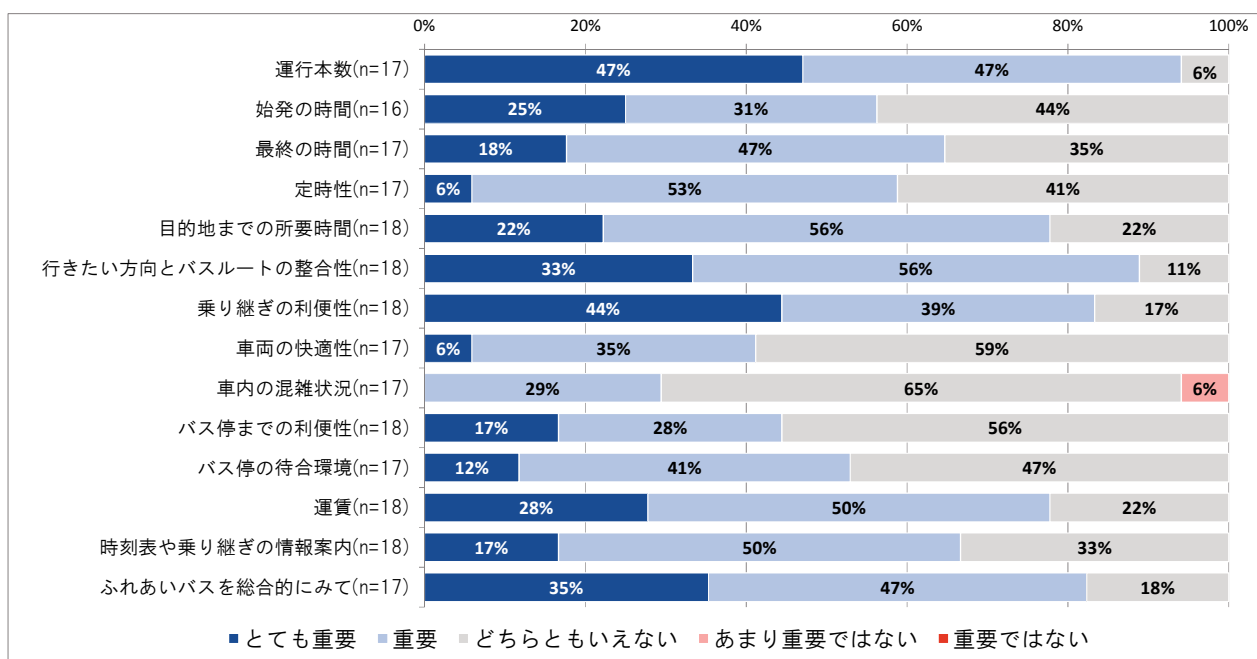


図 ふれあいバスの満足度【川島小学校区】

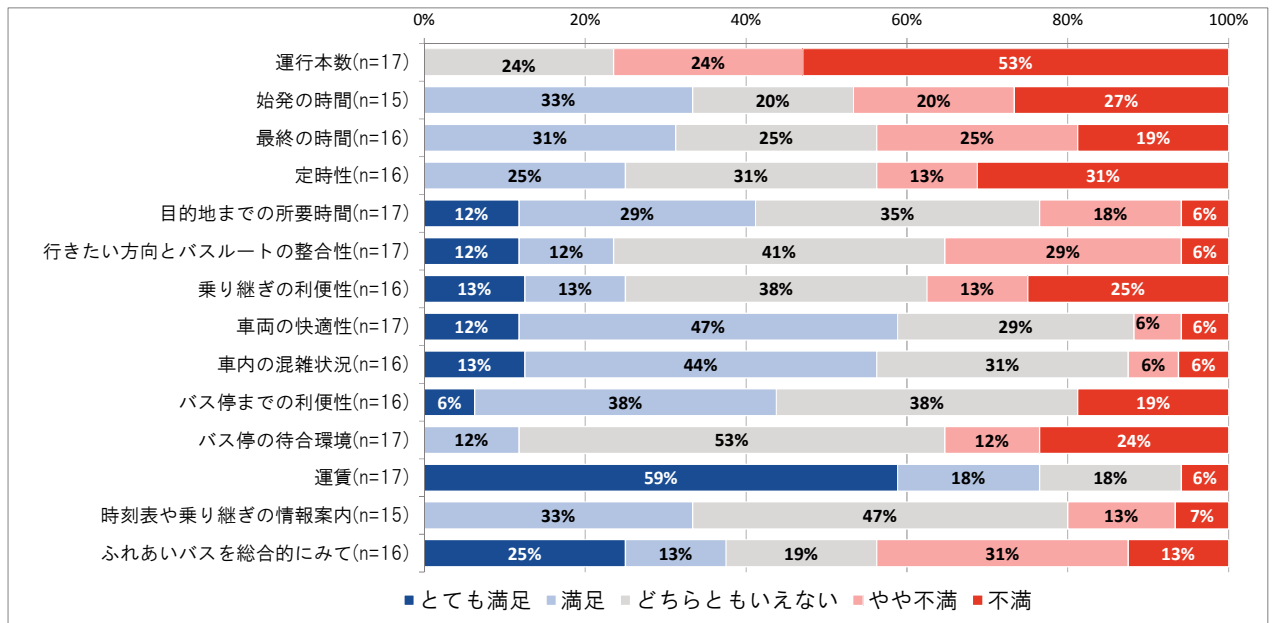
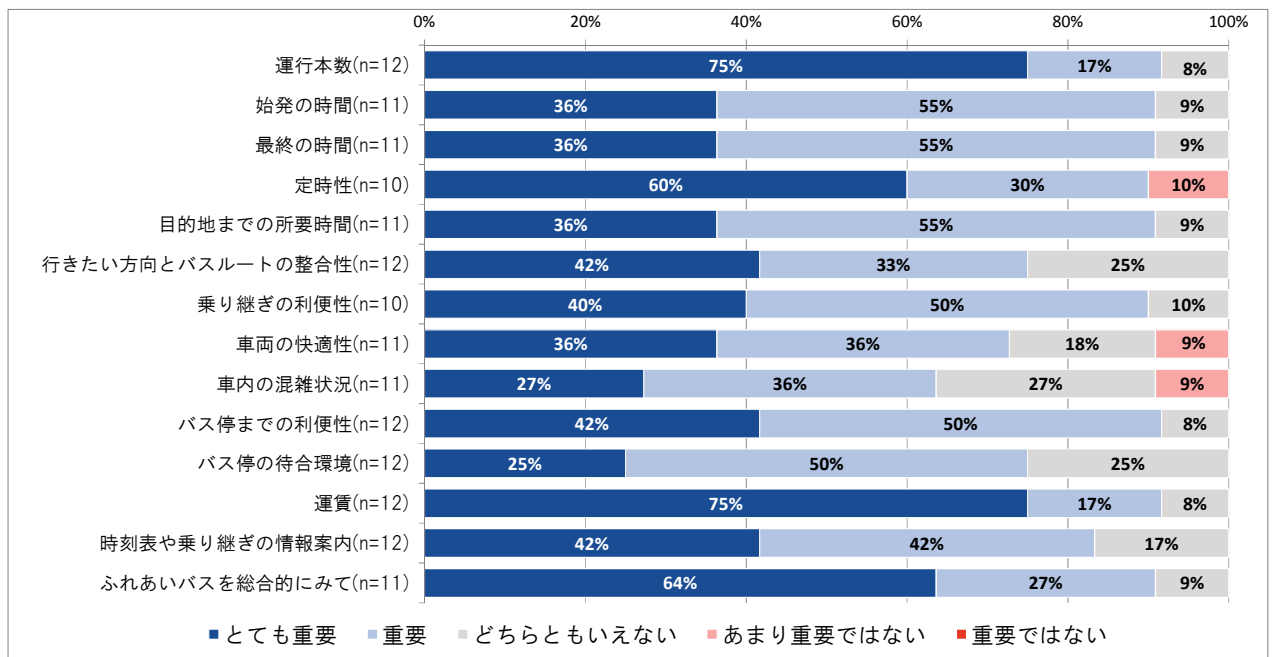


図 ふれあいバスの重要度【川島小学校区】



エ. 今後の利用頻度（問3 3-②）

●ふれあいバスは、改善に伴う新規利用意向が多い（21%）

今後の利用頻度において、新規利用意向は、ふれあいバスが全体で約 21%となっている。路線バスも鉄道に比べ新規利用意向が高くなっている。

図 今後の利用頻度【全小学校区】

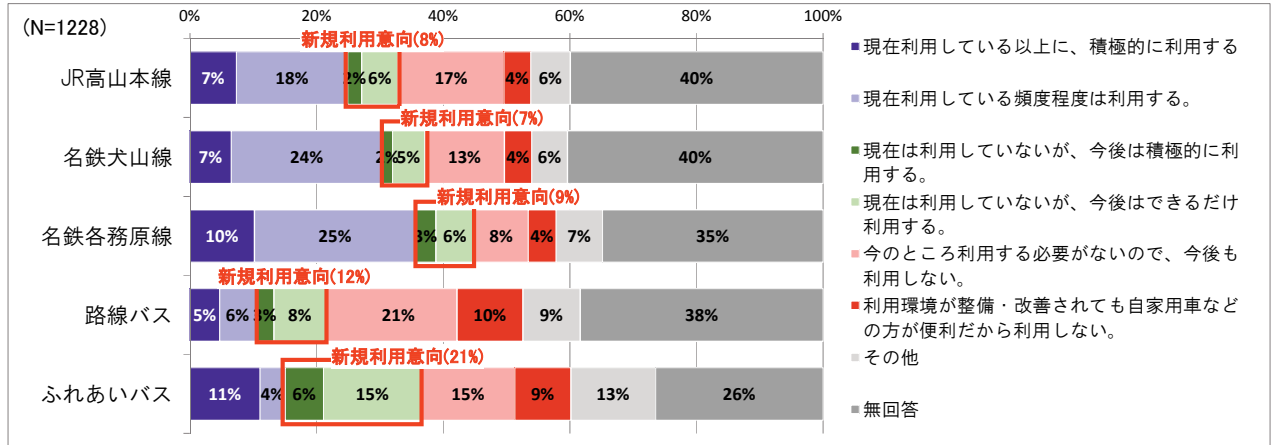


図 今後の利用頻度【那加1、那加2、那加3小学校区】

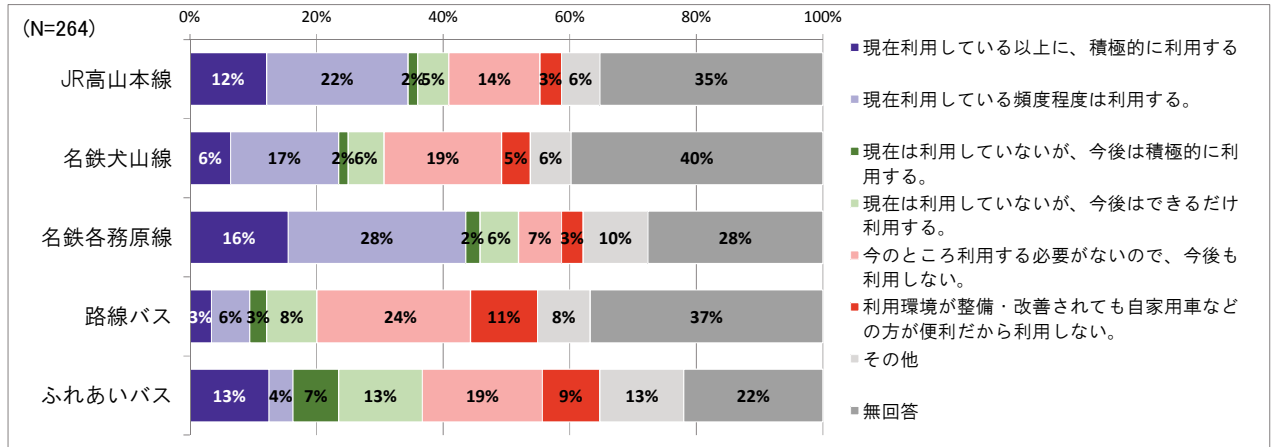


図 今後の利用頻度【稲羽西、稲羽東小学校区】

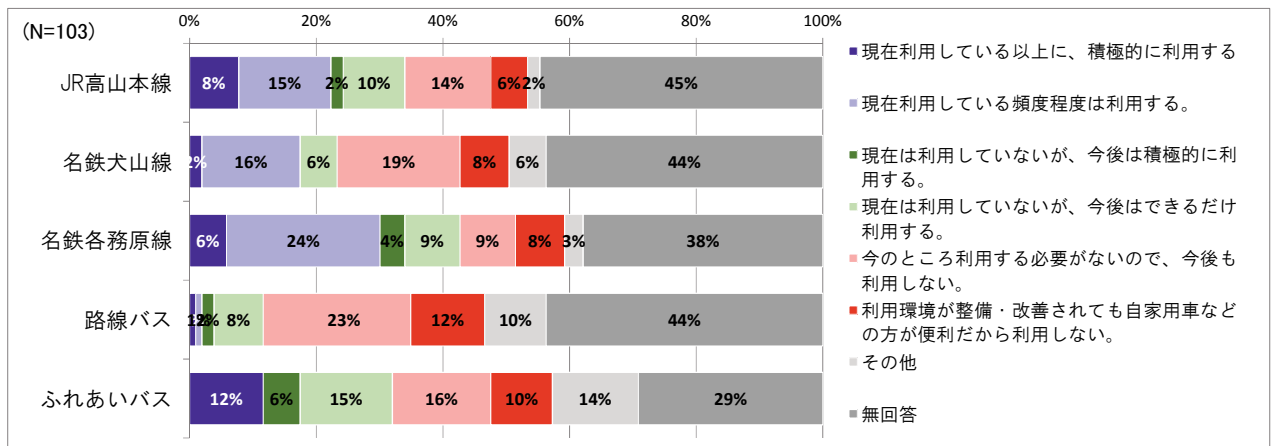


図 今後の利用頻度【鶯沼1、鶯沼2、鶯沼3、陵南小学校区】

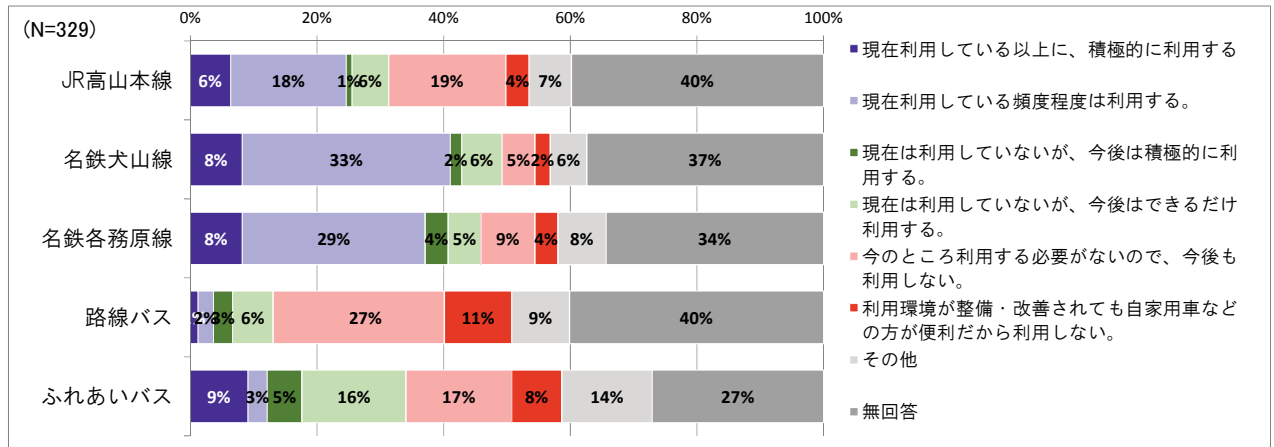


図 今後の利用頻度【緑苑小学校区】

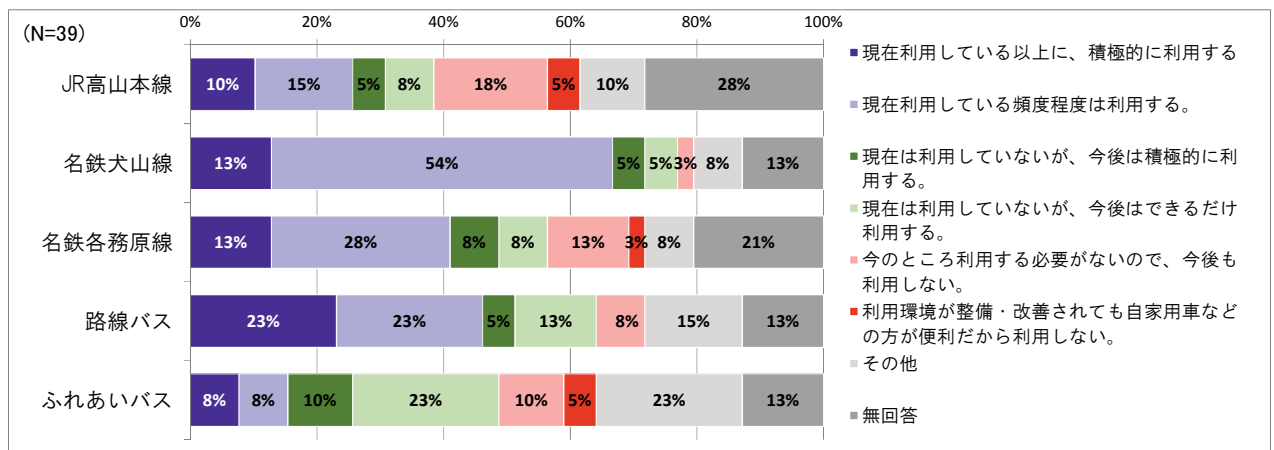


図 今後の利用頻度【蘇原1、蘇原2、中央小学校区】

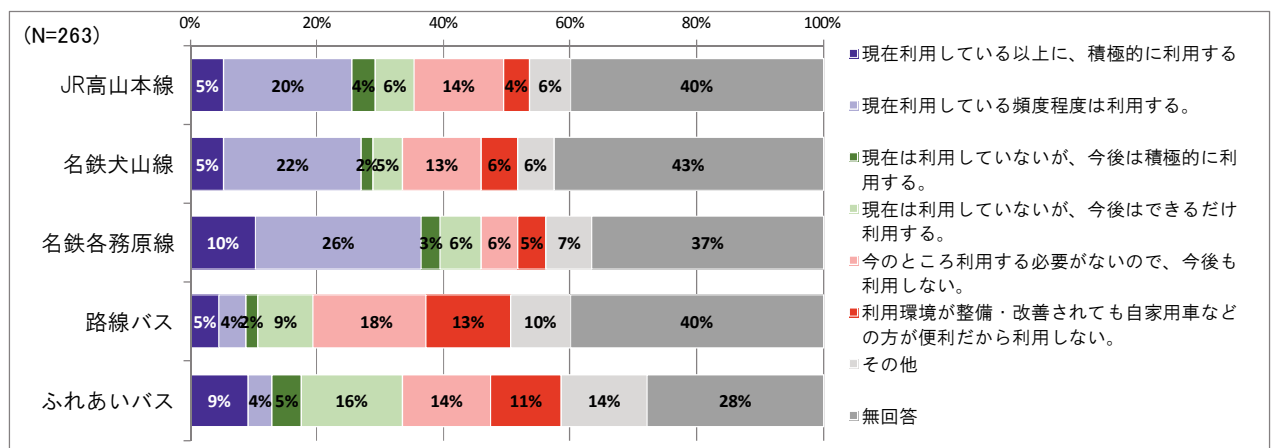


図 今後の利用頻度【尾崎小学校区】

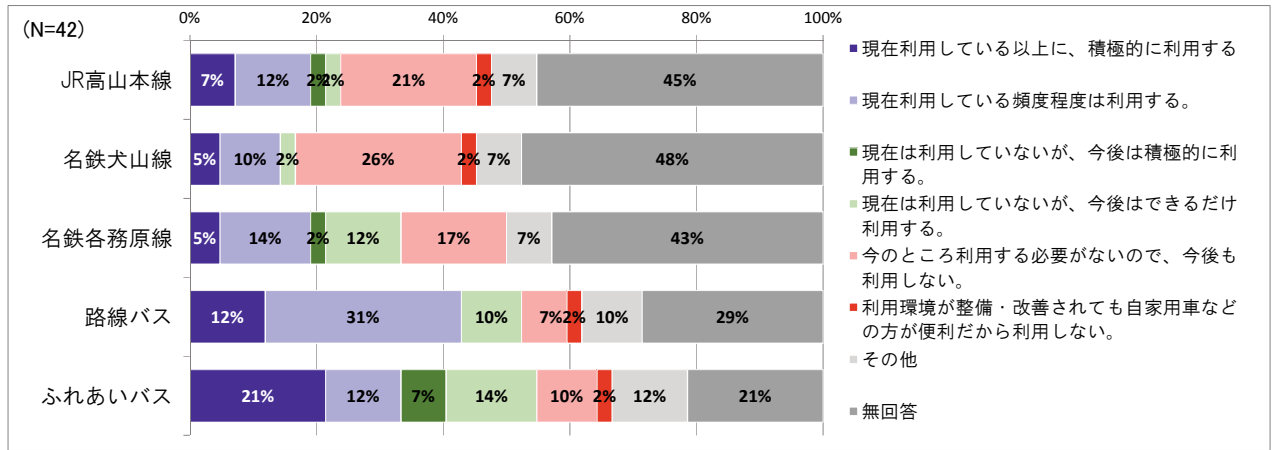


図 今後の利用頻度【各務、八木山小学校区】

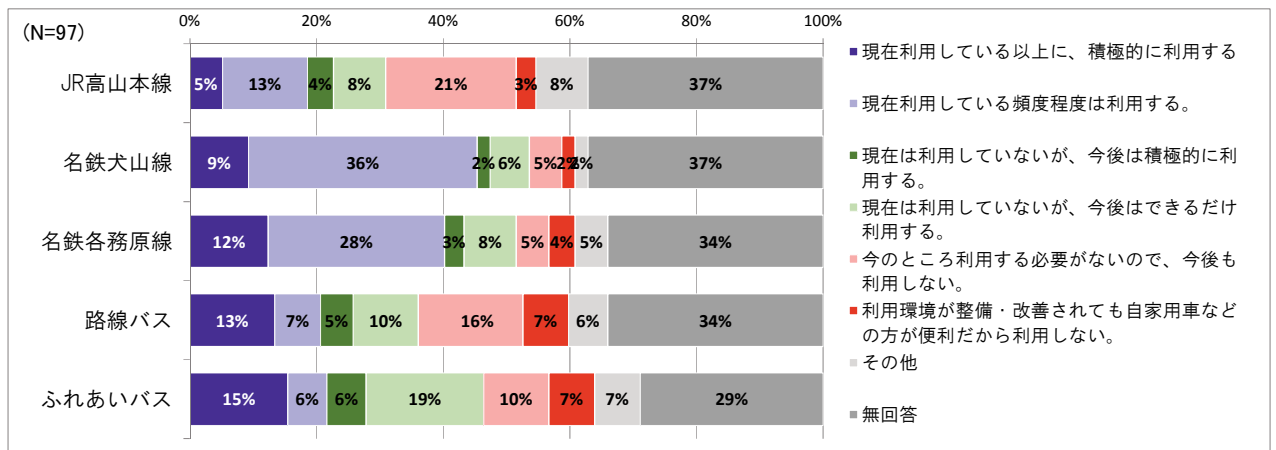
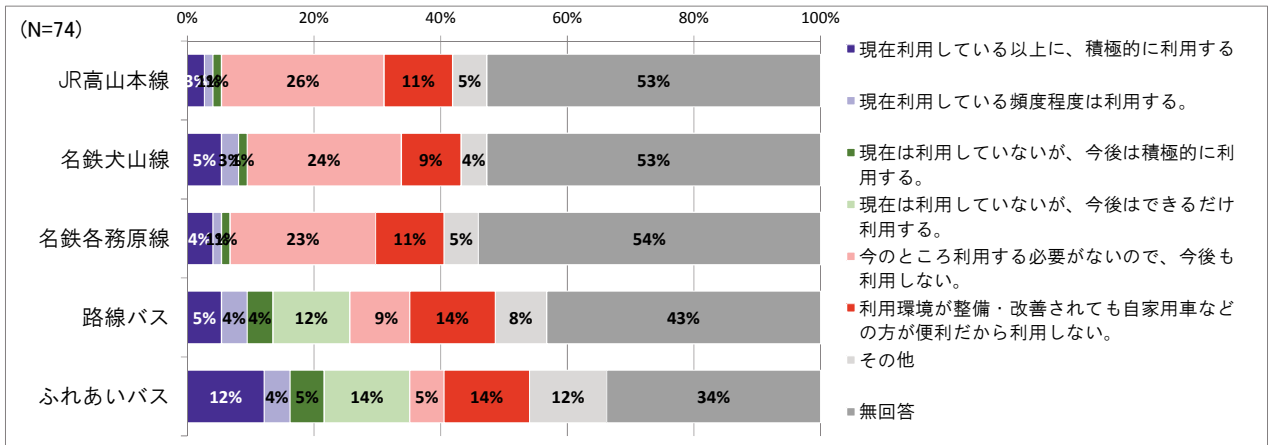


図 今後の利用頻度【川島小学校区】



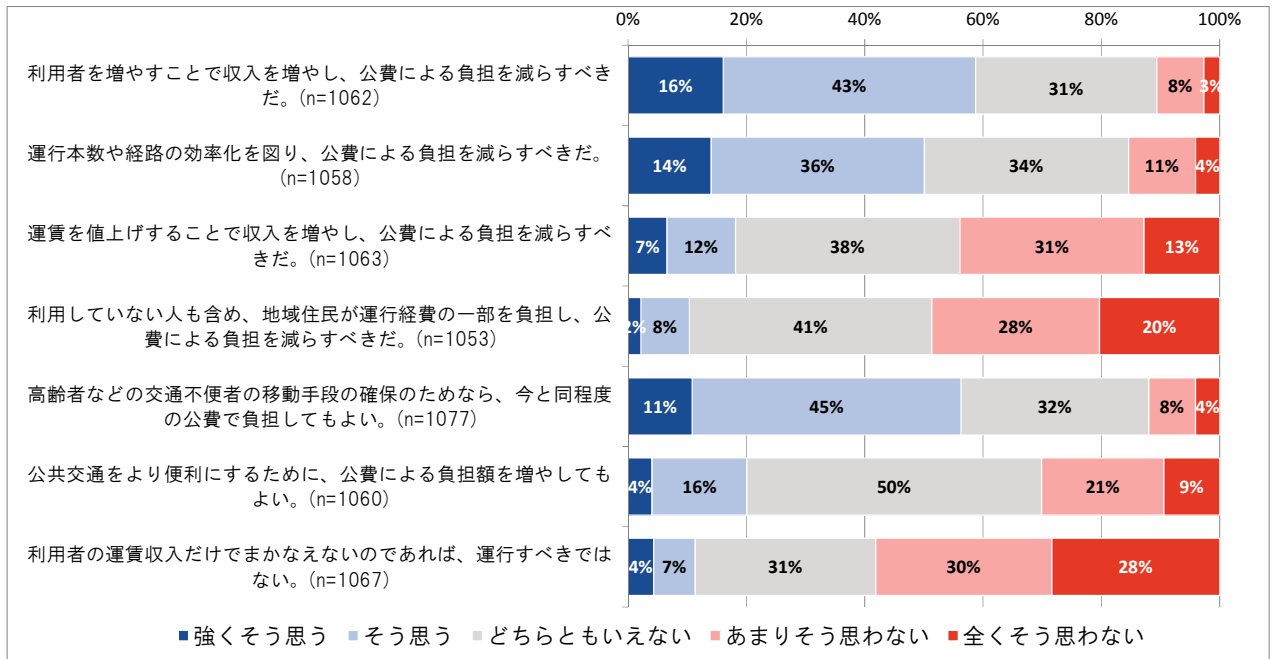
③-4. ふれあいバスのあり方（問4 4-①~④）

ア. 公費（税金）投入のあり方（問4 4-①）

● 1位：利用者増による負担軽減、2位：今と同程度の公費負担、3位：効率化による負担軽減

ふれあいバスの公費投入については、「利用者を増やすことで収入を増やし、公費による負担を減らすべきだ」が約59%と最も高く、次いで「高齢者などの交通不便者の移動手段の確保のためなら、今と同程度の公費で負担してもよい」が約56%、「運行本数や経路の効率化を図り、公費による負担を減らすべきだ」が約50%で、「強くそう思う」、「そう思う」の合計が50%以上となるのは、この3項目のみである。

図 ふれあいバスの公費投入について【全小学校区】



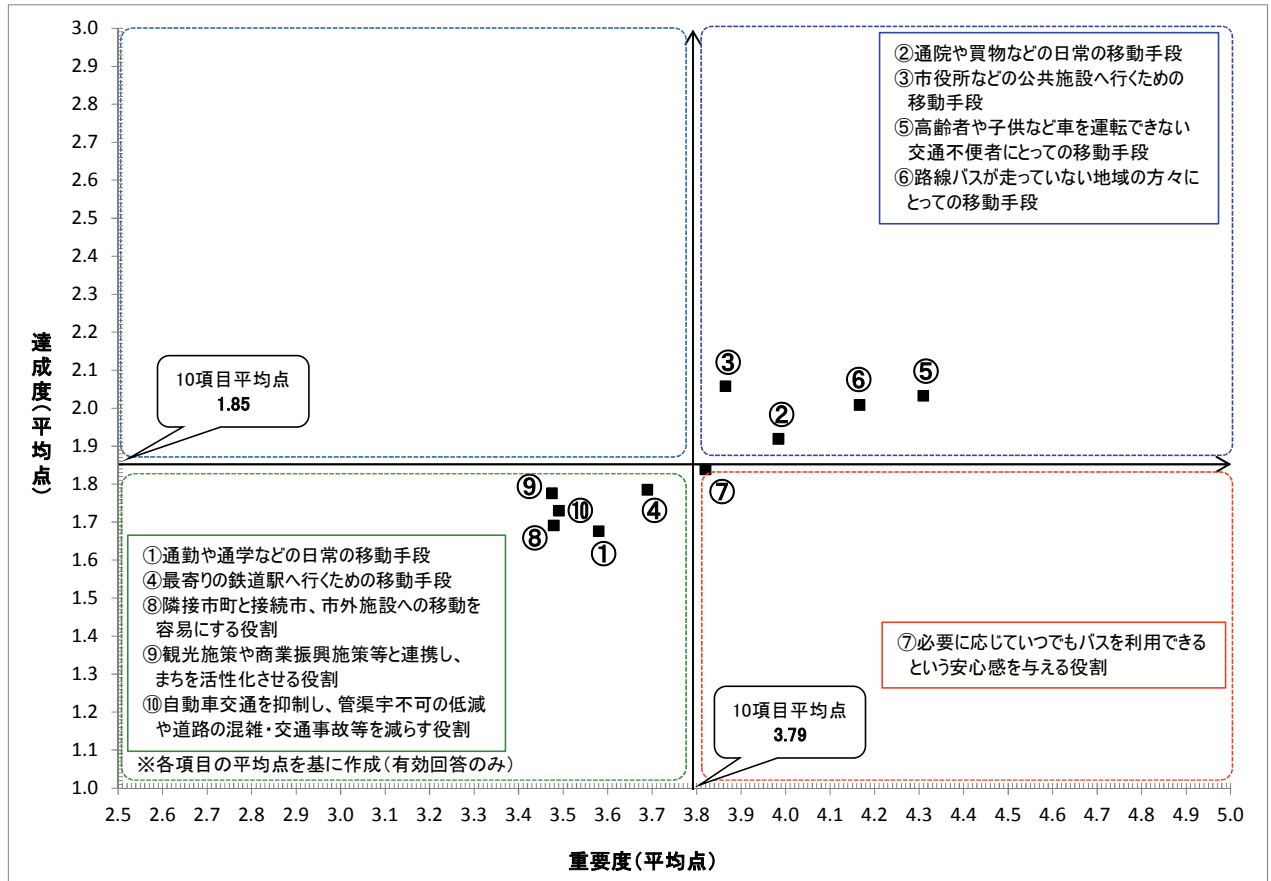
イ. 果たすべき役割の重要度と達成度（問4 4-②）

●未達成度、重要度ともに高い項目は、「必要に応じていつでもバスを利用できるという安心感を与える役割

未達成度、重要度ともに高い項目は、「必要に応じていつでもバスを利用できるという安心感を与える役割」となっている。

また、未達成度が一番高い項目は「通勤や通学などの日常の移動手段」である。

図 重要度と達成度の相関関係【全小学校区】



●ふれあいバスに期待する役割役割は、1位：交通不便者の移動手段、2位：路線バスのない地域の移動手段、3位：通院や買物などの日常の移動手段

ふれあいバスの果たすべき役割については、「高齢者や子供など車を運転できない交通不便者にとっての移動手段」が89%と最も高く、次いで、「路線バスが走っていない地域の方々にとっての移動手段」が約84%、「通院や買い物などの日常の移動手段」が約80%となっている。

●ふれあいバスが果たしていない役割は、1位：通勤・通学対応、2位：市外施設へのアクセス

ふれあいバスが果たすべき役割を果たしていないと回答された割合は、「通勤や通学などの日常の移動手段」が約45%と最も高く、次いで「隣接市町と接続し、市外施設への移動を容易にする役割」が約40%、「最寄りの鉄道駅へ行くための移動手段」が約38%となっている。

図 果たすべき役割の重要度【全小学校区】

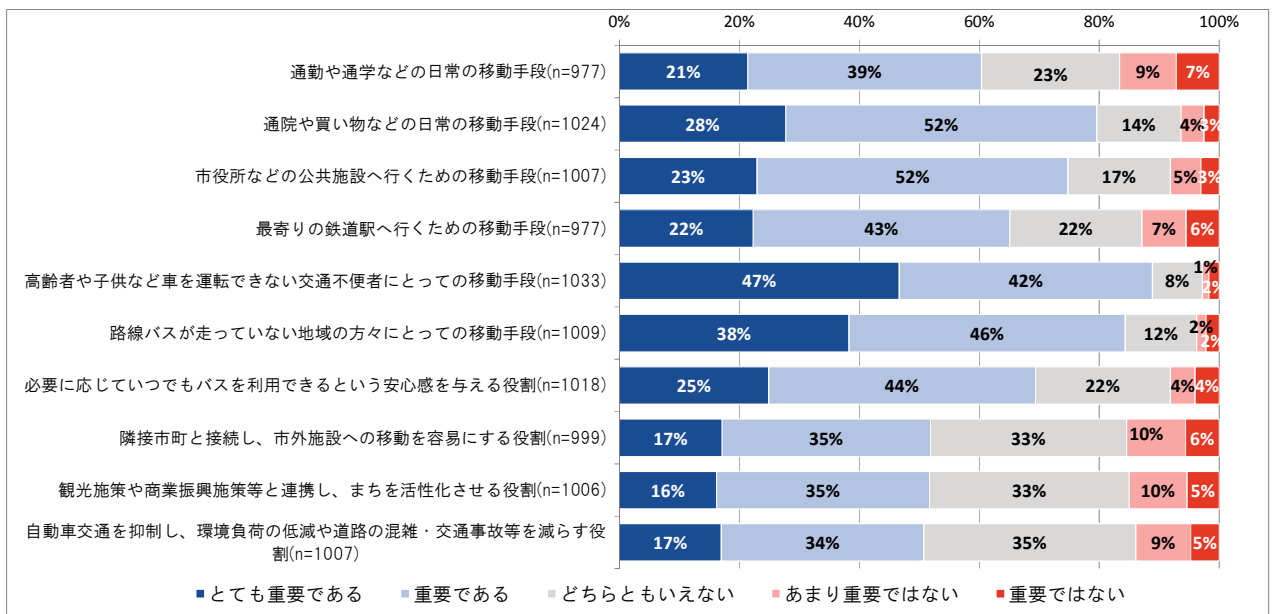
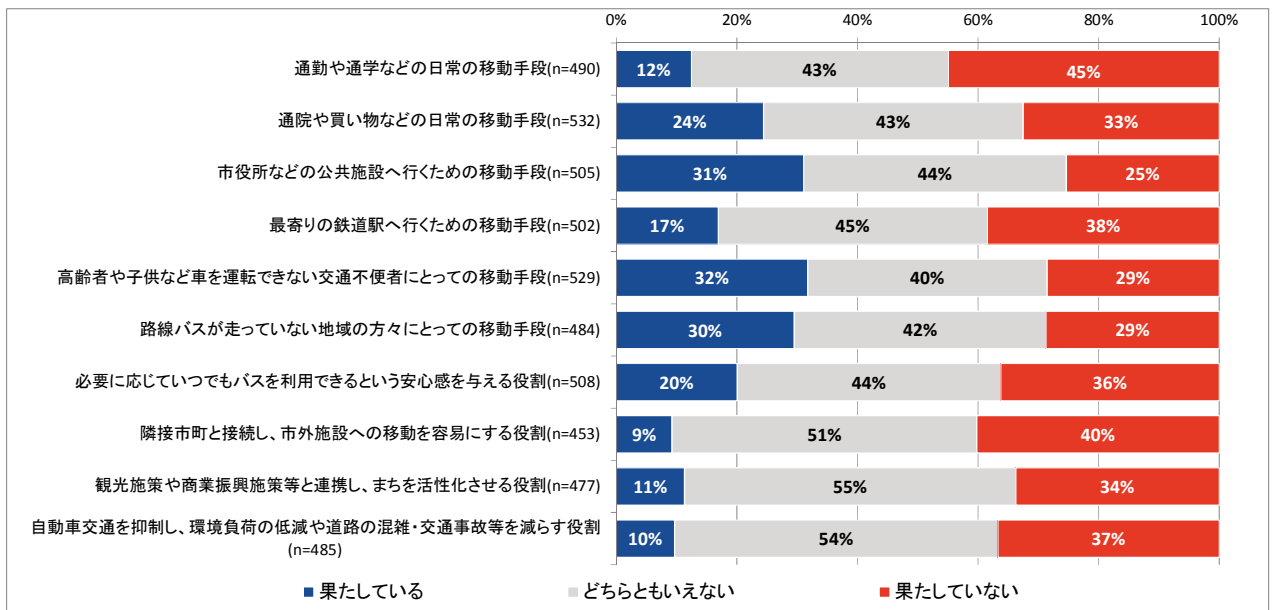


図 果たすべき役割の達成度【全小学校区】



ウ. 見直しの必要性（問4 4-③）

●運行日・運行時間帯及び運行本数については、変更の要望が多い

「今のままで良い」及び「変更すべき」と回答した割合は、運行日・運行時間帯（9%、14%）、運行本数（7%、18%）、運行ルート（14%、10%）、運行方法（24%、9%）、車両（36%、4%）となっている。

●利用者からはデマンド運行を望む声は少ない（利用者27%⇔非利用者42%）

図 運行日・運行時間帯の見直しの必要性

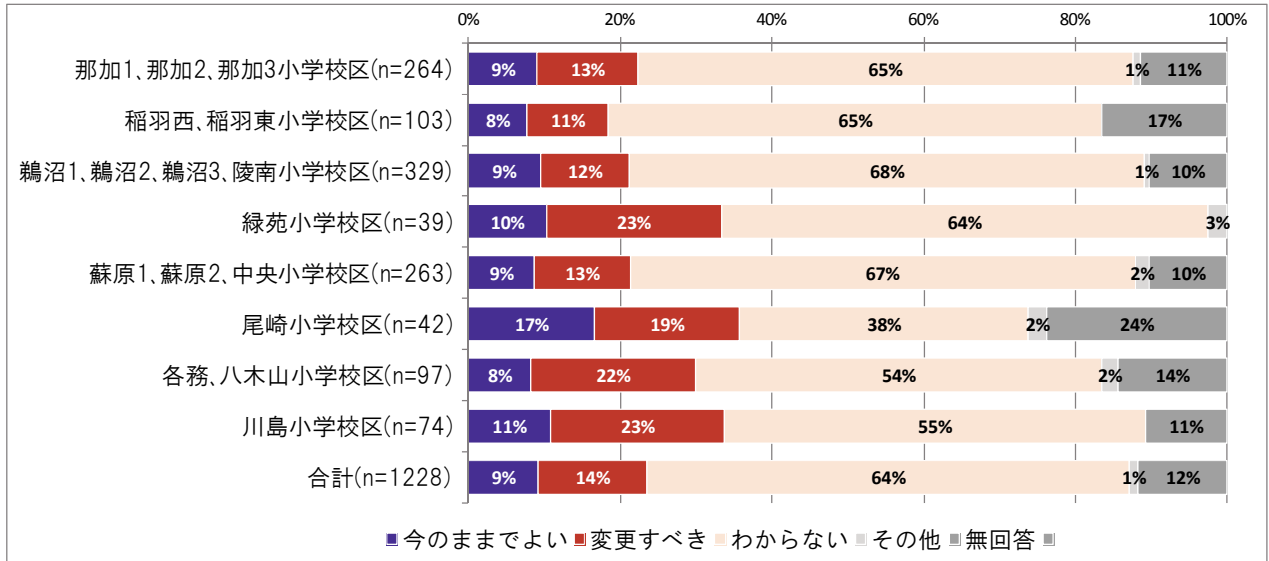


図 運行日・運行時間帯を変更すべき路線

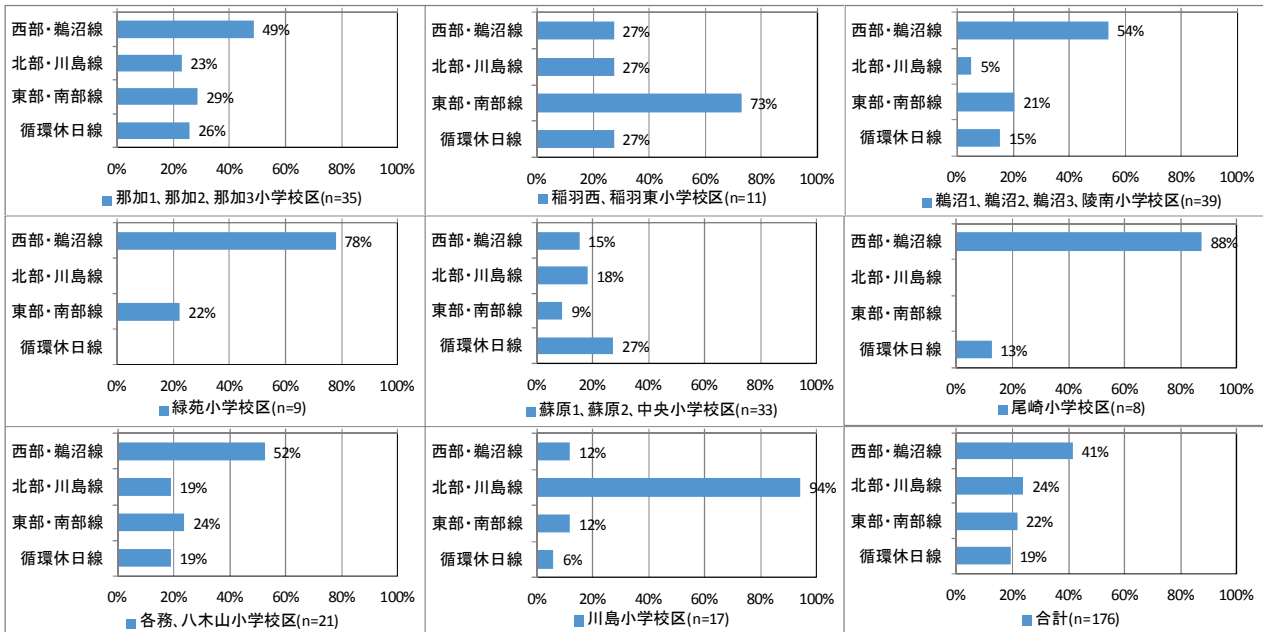


図 運行本数の見直しの必要性

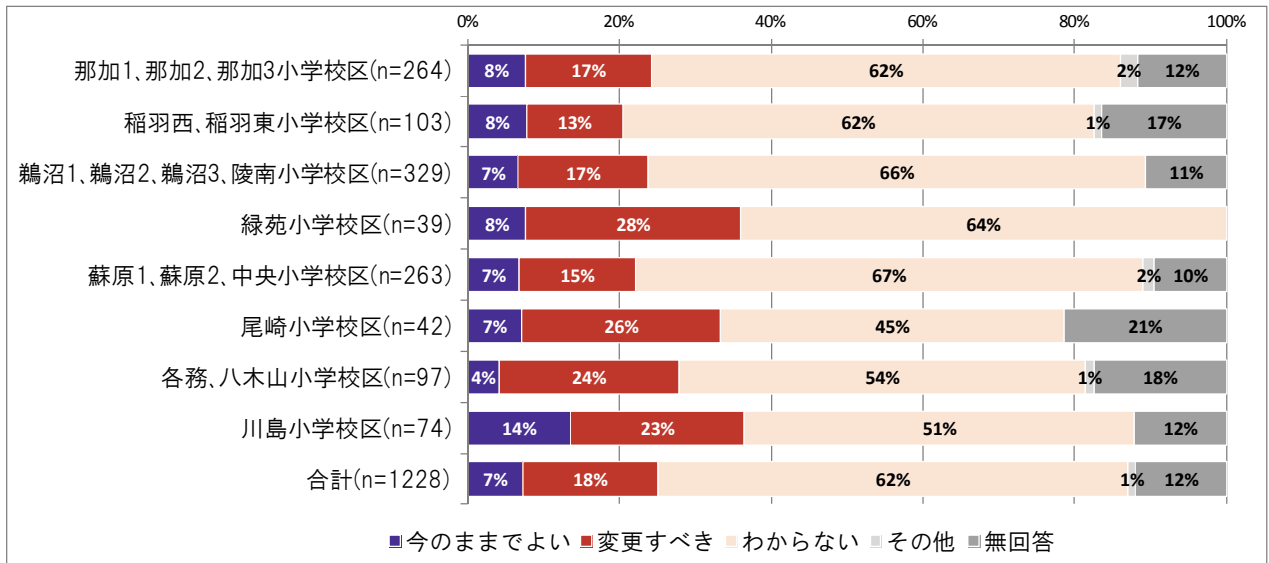


図 運行本数を変更すべき路線

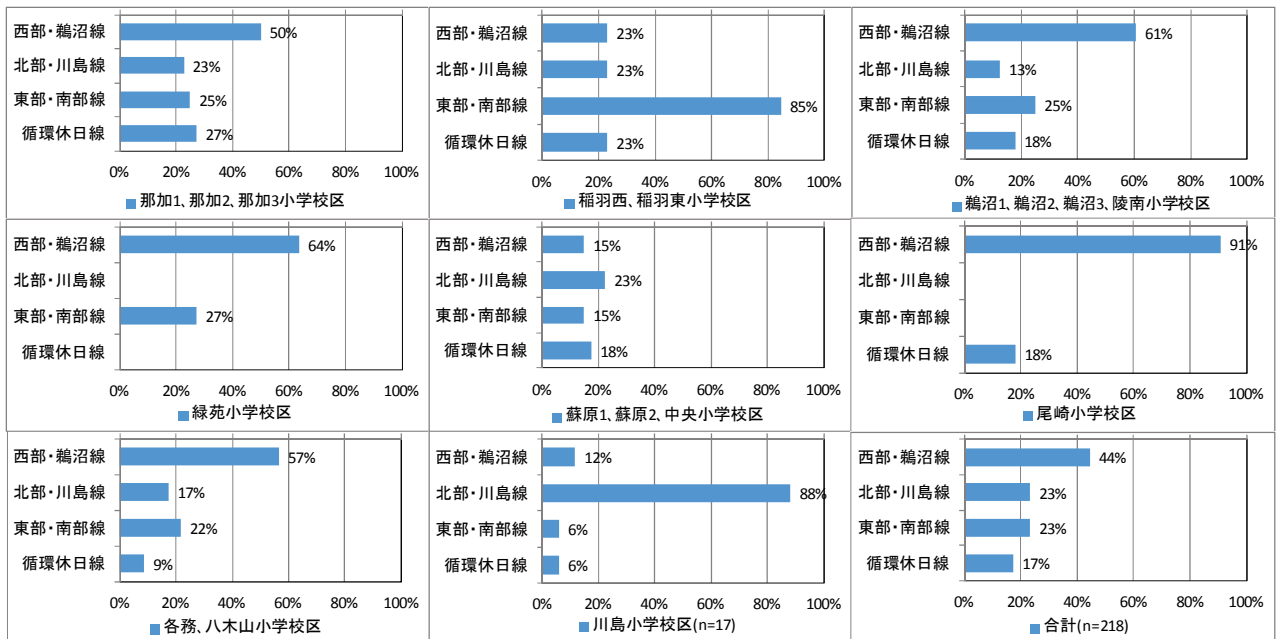


図 運行ルートの見直しの必要性

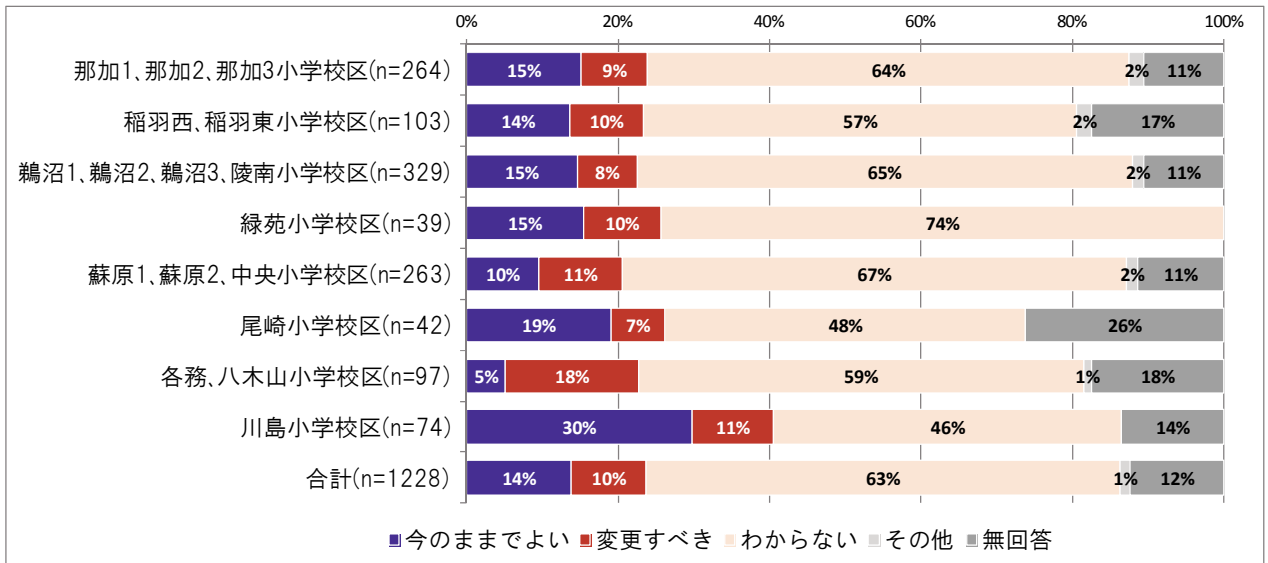


図 運行ルートを変更すべき路線

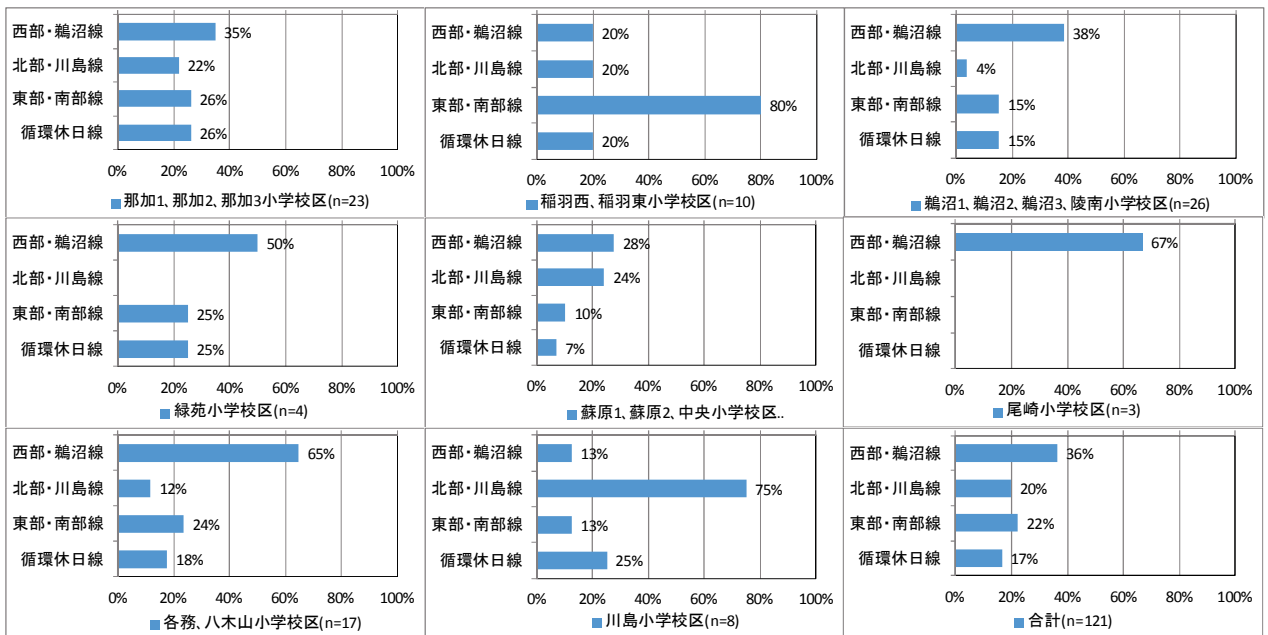


図 運行方式の見直しの必要性

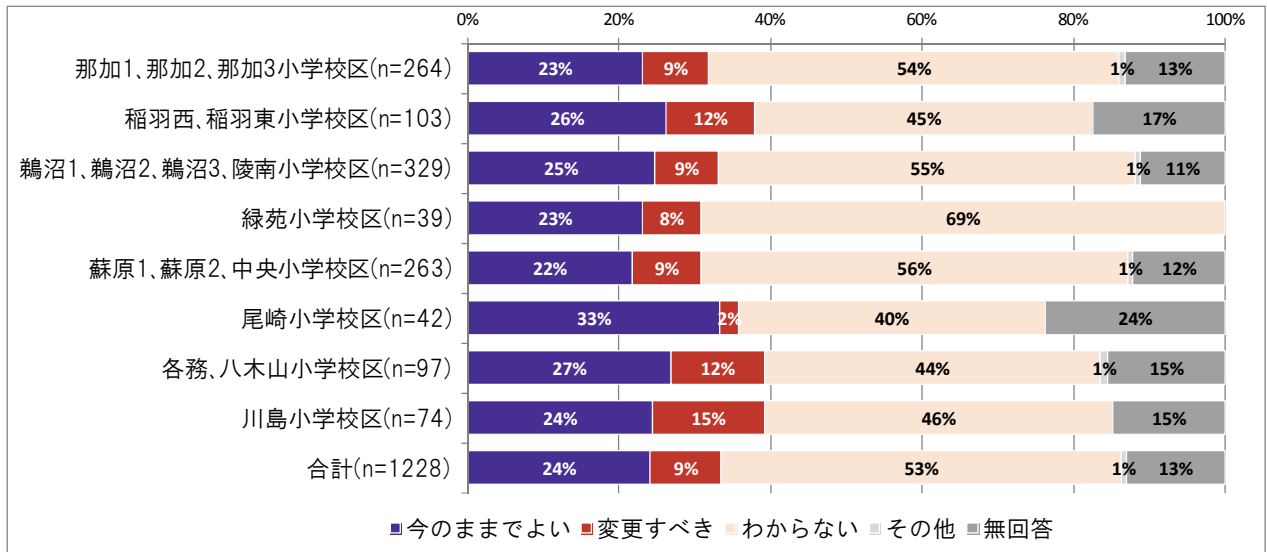


図 運行方式を変更すべき路線

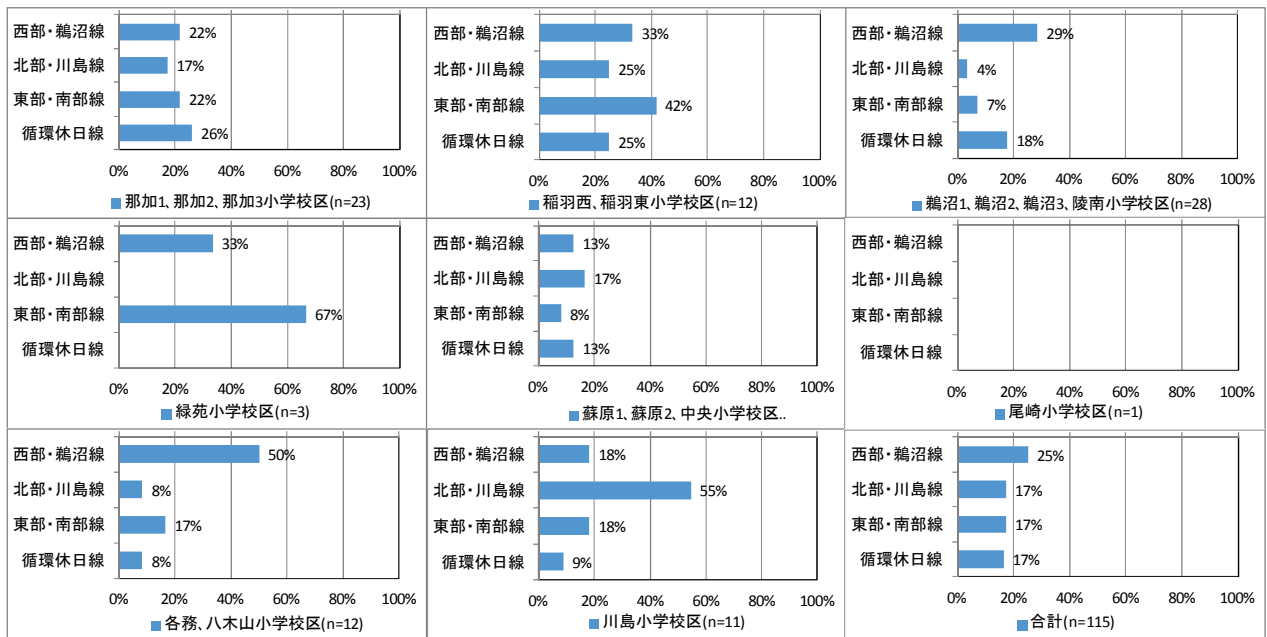


図 具体的変更内容【小学校区別】

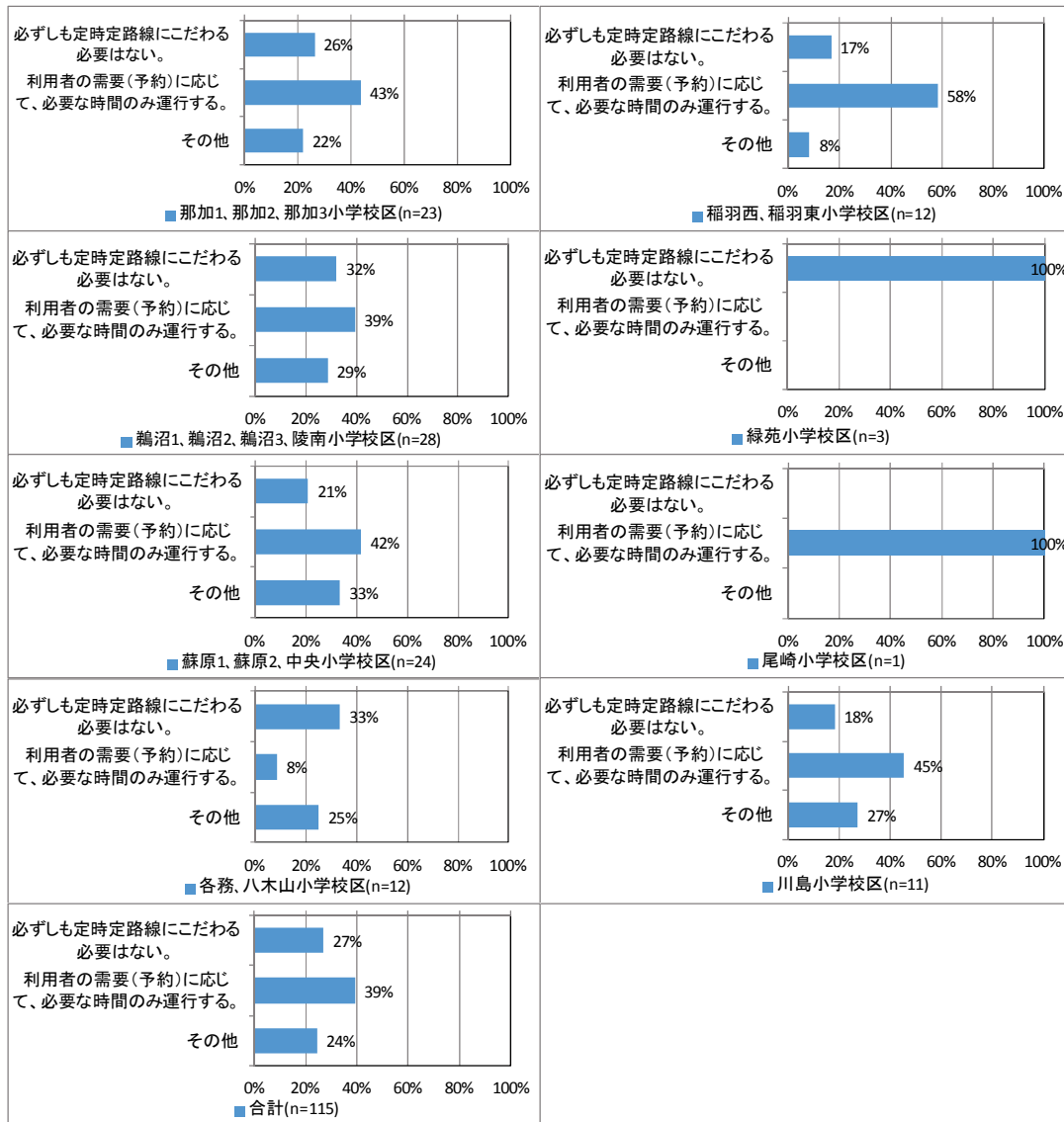


図 具体的変更内容【利用者・非利用者別】

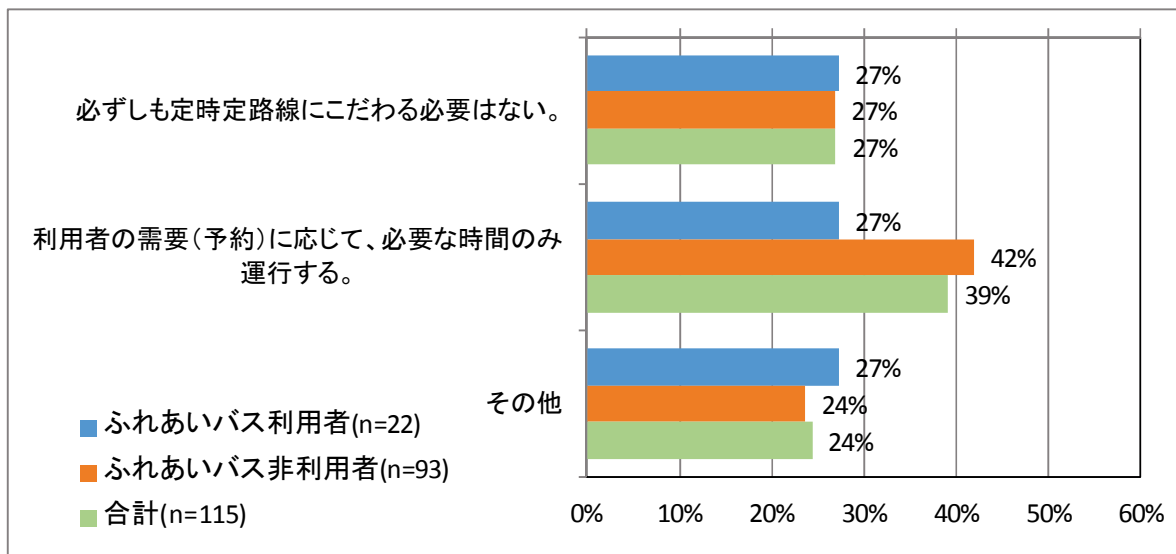
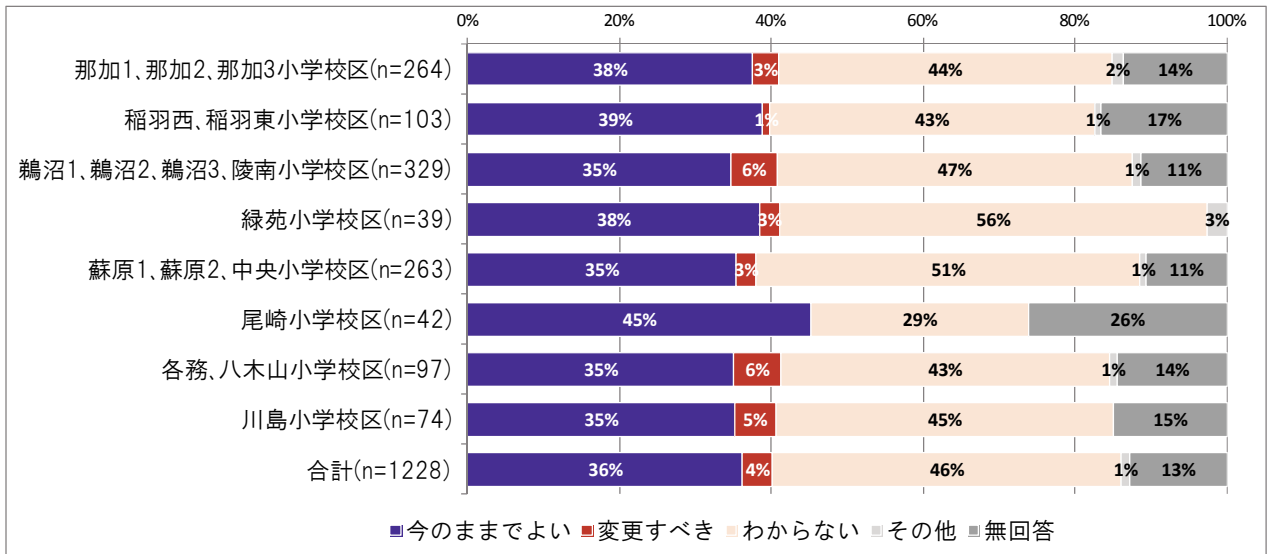


図 車両の見直しの必要性

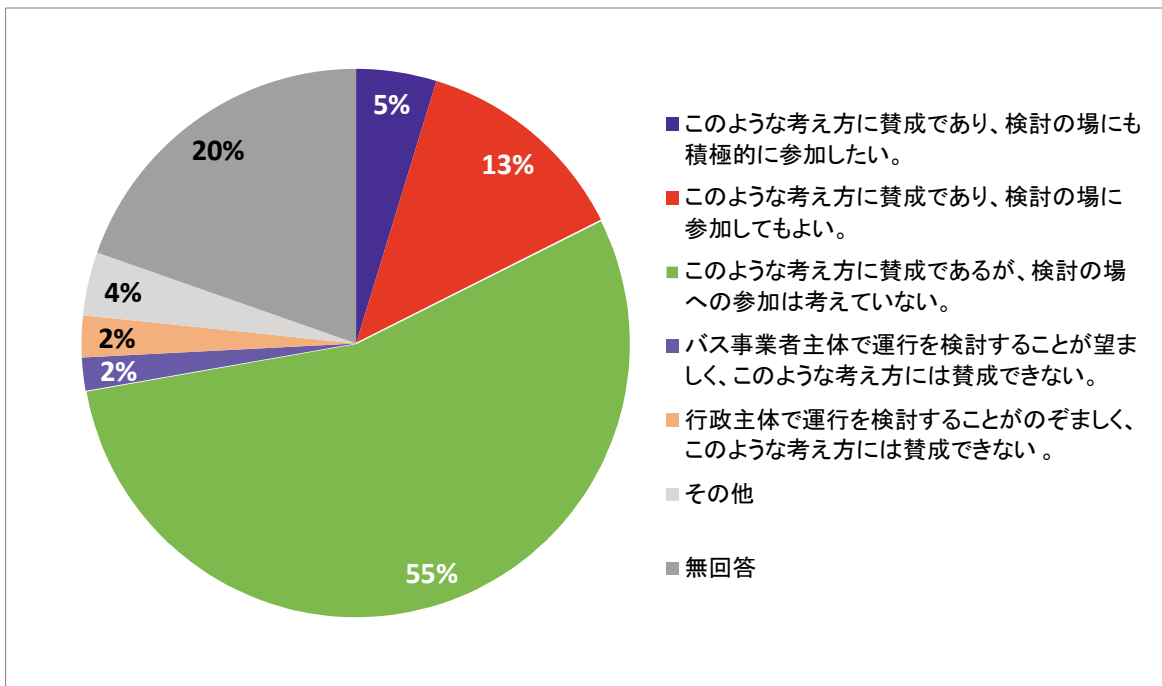


エ. 見直しに向けた住民参加（問4 4-④）

●バスの見直しを住民参加で行うべきとする人は約73%と高いが、検討の場への参加を検討する人は約18%

見直しに向けた住民参加については、「住民参加に賛成」の割合は約73%と高くなっているが、「検討の場への参加は考えていない」が約55%であり、検討の場へ参加を考えている人は約18%である。

図 見直しに向けた住民参加について



③-5. 高齢社会への対応 (問5 5-①~③)

●車の運転が難しくなる年齢は、70歳以上が約57%、その場合、免許を返上する人は約53%

車の運転が難しくなる年齢は、「70歳」が最も高く21%となっており、65歳から70歳にかけて車の運転が難しくなると考えている人が3倍に増えている。70歳以上の合計は約57%となっており、運転が難しくなった場合に、約53%の方が「免許証の返上する」と回答している。

図 車の運転が難しくなる年齢

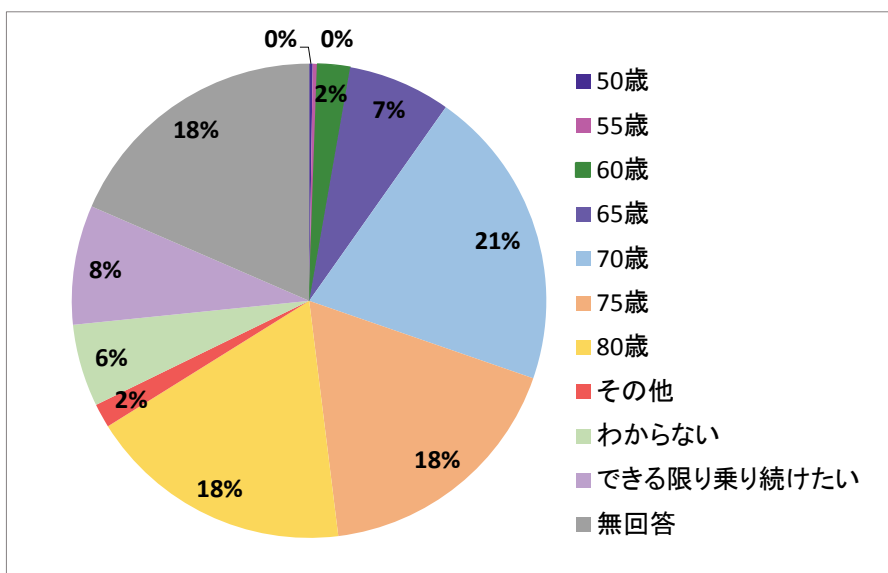
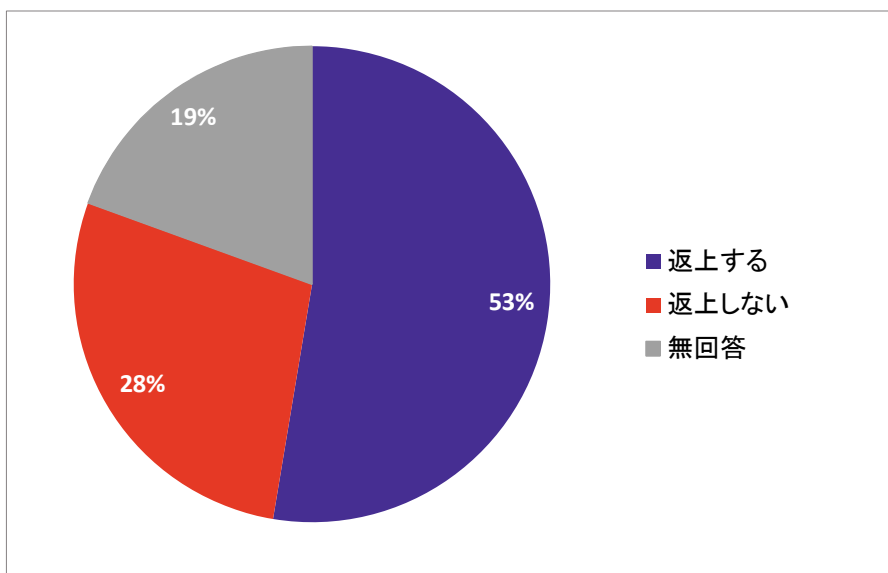


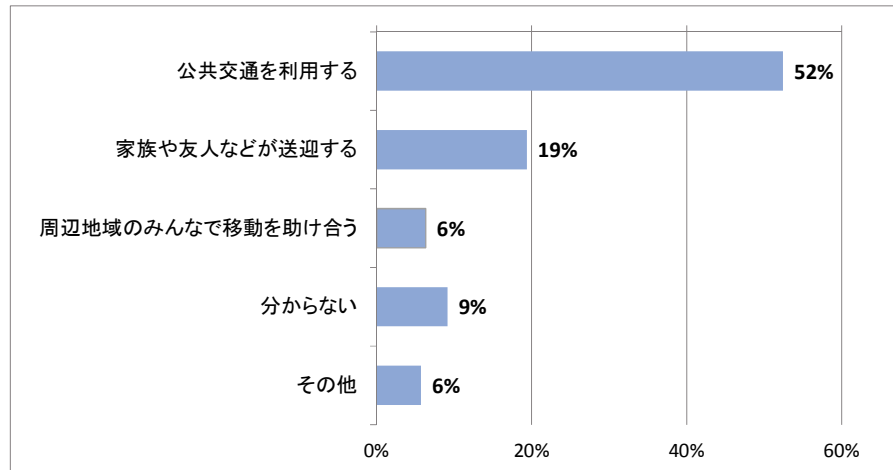
図 免許証の返上



●公共交通を利用する方が約52%

高齢者の移動環境について、「公共交通を利用する」と回答した方は約52%と最も多く、次いで「家族や友人などが送迎する」が約19%となっている。

図 高齢者の移動環境



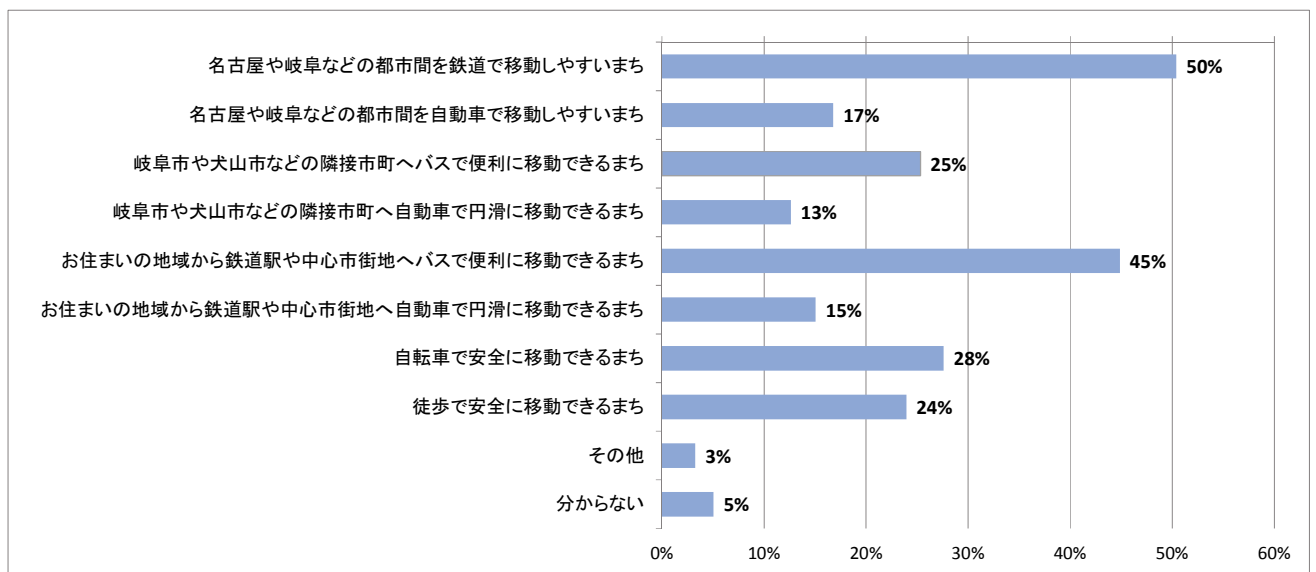
③-6. 高齢社会への対応 (問5 5-④)

●都市間を鉄道で移動しやすいまち 約50%

●鉄道駅や中心市街地へバスで便利に移動できるまち 約45%

各務原市の交通将来像については、「名古屋や岐阜などの都市間を鉄道で移動しやすいまち」が約50%と最も高く、次いで「お住まいの地域から鉄道駅や中心市街地へバスで便利に移動できるまち」が約45%となっている。

図 各務原市の交通将来像



アンケート調査のまとめ

【属性：問1-①～⑤】

- 男性が約31%、女性が約45%
- 「鶯沼1、鶯沼2、鶯沼3、陵南小学校区」約27%
- 65歳以上が約38%
- 勤めが人約28%、主婦・無職が約46%
- 免許保有率 約80%、自家用車保有率 約74%
- 緑苑小学校区は JR 鶯沼駅・名鉄新鶯沼駅を最寄り駅とする人が約115%、岐阜バス・名鉄バスが約87%、稲羽西、稲羽東小学校区ではふれあいバスが約59%
- 鉄道駅・バス停まで500m以内とする人が緑苑小学校区では約92%、尾崎小学校区では約79%

【日常の交通行動：問2】

①鉄道：問2-①

- 鉄道の利用頻度は、緑苑小学校区が高い
- 「行きたい場所に行けない」、「時間がかかりすぎる」、「駅までの交通手段がない」ため、鉄道を利用していない
- 各校区とも、「買物」「飲食・娯楽」目的の利用が多い
- 各校区とも、「名古屋市」「岐阜市」を目的地としている
- JR 那加駅、名鉄新那加駅、名鉄各務原市役所前駅、名鉄六軒駅、名鉄新鶯沼駅等が最寄り駅として利用されている
- 駅までの交通手段は、全体では、自動車、自転車、徒歩が多い
- 鉄道利用のピークは、行きは9時(22%)、帰りは17時(14%)

②バス：問2-②

- バスの利用頻度は、「年に数回」及び「利用しない」が大半を占める
- 「行きたい時間にバスがない」ため、バスを利用していない
- 各校区とも、「通院・検診」「買物」「飲食・娯楽」目的の利用が多い
- 全体では、「名古屋市」「岐阜市」を目的地とした利用が多い
- 日頃利用するバスは、全体ではふれあいバス 約17%、路線バス 約11%
- バス停までの交通手段は、全体では徒歩が約81%
- バス停の主な乗り継ぎ先は、全体では名鉄新鶯沼駅
- バス利用のピークは、行きは10時(8%)、帰りは17時(14%)

③自動車：問2-③

- 週に3～4日以上自動車を利用する人は、全体では約72%
- 各校区とも、「通勤」、「通院・検診」「買物」「飲食・娯楽」目的の利用が多い
- 全体では、「那加地区」「岐阜市」を目的地とした利用が多い

【生活用品や食料品の買物状況：問2-④】

- 買物の頻度は、全体では週に3～4日以上及び週に1～2日がそれぞれ約30%
- 買物先は、全体では、那加地区が約46%、蘇原地区が約37%、鶯沼地区が約36%
- 買物の交通手段は、全体では自動車が約86%
- よく買物に出かける時間帯は、平日は朝10時～11時頃及び夕方5時以降、休日は朝10時～11時頃
- 宅配・通販サービスの利用は、65歳未満ではよく利用する、時々利用する、あわせて約53%、65歳以上では約38%
- 日頃の買物で困った点や不便な点で最も多いのは、自動車でしか買物にいけないこと
- 最も利用したい買物サービスは、65歳未満、65歳以上ともに、「電話・インターネット等で注文すると、品物を直接自宅まで届けてくれる」サービス

【日頃の通院状況：問2-⑤】

- 通院に出かける頻度は、病気になったときのみが約50%、月に1日が約21%
- 通院先は、全体では、蘇原地区が約30%、鶯沼地区が約29%、那加地区及び岐阜市が約22%
- 通院の交通手段は、全体では自動車が約85%
- よく通院に出かける時間帯は、平日 休日ともに朝10時～11時頃

【公共交通手段の満足度・重要度：問3-①】

①鉄道

- JR高山本線：不満度、重要度ともに高い項目は、運行本数、自宅から駅までの利便性、時刻表や乗り継ぎの情報案内
- 名鉄犬山線：不満度、重要度ともに高い項目は、自宅から駅までの利便性、駅の自動車駐車場、運賃
- 名鉄各務原線：不満度、重要度ともに高い項目は、自宅から駅までの利便性、運賃、時刻表や乗り継ぎの情報案内

②路線バス

- 不満度（不満＋やや不満）が満足度（満足＋やや満足）を上回る
- 不満度、重要度ともに高い項目は、運行本数、最終の時間、行きたい方向とバスルートの整合性、乗り継ぎの利便性、運賃

③ふれあいバス

- 不満度（不満＋やや不満）が満足度（満足＋やや満足）を上回る
- 不満度、重要度ともに高い項目は、運行本数、行きたい方向とバスルートの整合性、乗り継ぎの利便性

【今後の公共交通手段の利用頻度：問3-②】

- ふれあいバスは、改善に伴う新規利用意向が多い（21%）

【ふれあいバスのあり方：問4】

①公費（税金）投入のあり方：問4-①

- 1位：利用者増による負担軽減、2位：今と同程度の公費負担、3位：効率化による負担軽減

②果たすべき役割の重要度と達成度：問4-②

- 未達成度、重要度ともに高い項目は、必要に応じていつでもバスを利用できるという安心感を与える役割
- ふれあいバスに期待する役割は、1位：交通不便者の移動手段、2位：路線バスのない地域の移動手段、3位：通院や買物などの日常の移動手段
- ふれあいバスが果たしていない役割は、1位：通勤・通学対応、2位：市外施設へのアクセス

③見直しの必要性：問4-③

- 運行日・運行時間帯及び運行本数については、変更の要望が多い
- 利用者からはデマンド運行を望む声は少ない（利用者 27%⇔非利用者 42%）

④見直しに向けた住民参加：問4-④

- バスの見直しを住民参加で行うべきとする人は約 73%と高いが、検討の場への参加を検討する人は約 18%

【高齢社会への対応：問5】

- 車の運転が難しくなる年齢は、70歳以上が約 57%、その場合、免許を返上する人は約 53%
- 公共交通を利用する方が約 52%

【各務原市の交通将来像：問5】

- 都市間を鉄道で移動しやすいまち 約 50%
- 鉄道駅や中心市街地へバスで便利に移動できるまち 約 45%